

第七十五回帝國議會
衆議院

鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)
(砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)
(有機合成事業法案(政府提出)(第八三號))

會議

昭和十五年三月六日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事澤田 利吉君 理事中井川 浩君

理事松尾 三藏君 理事篠原 義政君

理事小山田義孝君 理事依光 好秋君

理事川俣 清吾君

山本 厚三君 手代木隆吉君

內藤 正剛君 高橋壽太郎君

小柳 牧衛君 伊藤 五郎君

匹田 銳吉君 井阪 豐光君

木暮武太夫君 鶴 惣市君

川崎巳之太郎君 原口初太郎君

箸本 太吉君 東條 貞吉君

瀧澤 七郎君 朴 春琴君

小池 四郎君 長谷 長次君

武田德三郎君

同日委員岩瀬亮君辭任ニ付其ノ補闕トシテ

武田德三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 櫻内 幸雄君

商工大臣 藤原銀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

商工政務次官 加藤鑛五郎君

商工參與官 喜多壯一郎君

商工省鑛產局長 小金 義照君

商工省鐵鋼局長 塩谷狩野吉君

商工省化學局長 永田彦太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前

會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス——高橋壽

太郎君

○高橋委員 商工大臣、大藏大臣ニ伺ヒタ

イコトモゴザイマスガ、大臣方ノ御居デノ

時ニ更ニ質問ヲ御許ヲ願ヒマス、先日本會

議デ私ハ質問ヲ致シマシタノデリマスガ、

其ノ節政府委員ヨリノ御答辯ハ一應ハ諒解

致シマシタケレドモ、マダ諒解ノ行カナイ所

ガゴザイマスカラ、此ノ機會ニ重ネテ御尋

フ致シタイト思ヒマス、私最近ニ委員ヲ命

ゼラレマシタノデ、實ハ委員會ノ質問應答

ノ經過等ハ能ク存ジテ居リマスケレドモ、

速記録ニ依ツテ第一回カラ第四回マデノ委

員會ノ模様ハ承知致シマシタガ、其ノ後ノ

コトハ分リマセヌノデ、或ハ重複スル點ガ

アルカモ知レマセヌガ、其ノ點ハ委員長ニ

於テ御注意ヲ願ヒマス、第一ニ伺ヒタイコ

トハ、此ノ前ノ委員會ニ政府委員ヨリ試掘

鑛區ガ約二万、其ノ中稼行シテアルモノガ

一割二分ニ過ギナイノダ、斯ウ云フ御話デ

アリマシタガ、今度ノ試掘權ノ改正ノ結果、

是等ノ休眠鑛區ガ一齊ニ活動シ始メ半分ノ

一万位ノ試掘鑛區ガソレト探鑛ヲ開始ス

ル、然ル場合之ニ要スル資金、資材、勞力、

運搬ト云フモノハ莫大ナ數量ニ上ルト思フ

ノデアリマスガ、政府バソレ等ノコトヲ十

分ニ調辨ノ出來ルヤウニ御手配ガ願ヘルノ
デアリマスガ、其ノ點ノ關係ヲ御尋致シマ
ス

○小金政府委員 約二万ニ達スル試掘鑛區

ガ試掘ヲ開始シマス場合ニ要スル資材、勞

力、資金、技術者等ニ付テ、ドウ云フ計畫

ヲシテ居ルカト申上ゲマス、此ノ二万ニ

達スル試掘鑛區ノ中既ニ一割二分ハ大體試掘

ヲ行ツテ居リマス、其ノ外ノモノノ中デモ

當然試掘權ト爲シテ差支ナイヤウナモノモ

相當ゴザイマス、是ハ何割ヲ占メルカト云

フ計數ハハツキリ出マセヌガ、相當ナ數ニ

上ルモノト推定出來ルノデアリマス、殘餘

ノ試掘鑛區ニシテ所謂睡眠中デアルト云フ

ヤウナモノガ試掘ヲ開始シタ場合ニ於テ要

スル資材、勞力、或ハ資金ト云フヤウナモ

ノニ付キマシテハ、現下ノ鑛產物ノ重要性

ニ鑑ミマシテ、十分トハ行カナクモ、其

ノ活動ノ模様ニ依リマシテ、物資動員計畫

中ニ織込ム豫定デゴザイマス、唯此ノ試掘

ナルモノハヤリ方ガアリマシテ、相當大規

模ニヤラナケレバナラス部分モゴザイマス

ルガ、五人、十人ノ鑛夫ヲ使ツテ露頭ノ發

見、或ハ露頭ノ鑛押シ程度ノモノデアリマ

スレバ、是ハ各自ノ御奮發ニ依リマシテ、

或ハサウ長イ期間ヲ費サズシテ試掘ノ目的

ヲ完了シ得ルモノト考ヘマス、其ノ間ノ事

情ハ私共ノ方デハ十分デアルトハ考ヘマセ

ヌガ、何トカシテ試掘ヲシテ貫ヒタイノデ

アリマス、試掘ヲシテ早ク鑛物ノ存在竝ニ

其ノ賦存ノ有様ヲ明瞭ナラシメナイ限りハ、
段々デリ貧ニナツテ行ク虞ガアリマス、ソ
コデ四年間ト云フ年限ヲ切リマシテ試掘ヲ
促進スル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴ
ザイマス

○高橋委員 活動ニ移ツタ試掘鑛區ガ假令

一万アリト致シマシテ、諸テ試掘鑛區ノ探

鑛ハハシタ金デハ出來ナイノデアリマス、

假ニ各鑛區一万圓ヲ要スルト致シマシテモ

一億圓デアリマス、技術者ハ無論當分掛持

チニシテモ十分ニハ得ラレマス、勞力モ

ドウヤラ農閑期ノ勞力ヲ使ヘバ宜シト云フ

オ話モアツタヤウデアリマスガ、今日ノ農村ト

云フモノハ勞力不足デアリマシテ、昔ノヤウ

ナ農閑期ハアリマセヌ、農閑期ニハ木炭ヲ燒

クト云フノデアリマスカラ、唯鑛山本位デ農

閑期ノ勞力ガ利用サレルモノト考ヘラレル

ノハ私ハ間違デハナイカト思フノデアリマ

ス、ガソリンノ配給ガ十分デナケレバ三

倍、四倍ノ「トラック」賃ヲ出シマシテモ、物

ノ輸送ハ出來ナイト云フ現狀デゴザイマス、

今鑛產局長ハ物動計畫ニ織込シテ、サウ云

フコトハ出來ルダケ辨ジテヤルト仰セラレ

ルノデアリマスガ、サウナサルノハ當然デ

アリマスガ、何様現在ノ鑛業界ノ現狀ヲ見

テミマスルト、果シテサウ云フ風ニ手ガ廻

ルノデアルカドウカト云フコトニ多大ノ疑

問ヲ存シテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ程

度デ別ニ御答ハ要シマセヌガ、私共ガ試掘

權ノ制度ノ變革ニ對シテ、第一番ニ頭ニ浮

グコトハ、吾々ノ考デハ鑛業權者ハ何トカシテ山ヲ開發シテ行キタイノダケレドモ、事情ガ許サナイカラ寶ノ山ヲ持腐レニスルト云フ憾ミヲ抱イテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、政府當局ノ方ハサウデナク、試掘鑛區ノ休眠狀態ナルモノハ、概ネ一攫千金ヲ夢見ル怪シカラヌ「プロローグ」連ガ多イト云フヤウナ御觀察デアリマス、茲ニ少カラザル認識ノ相違ガアルト思ヒマス、申ニハサウ云フモノモアリマセウ、外ノ山ガ開發サレテ、自分ノ近所マデ來テ、自然ニ山ノ値上リガ出ルノヲ待ツテ居ル者モナイデハアリマセスガ、併シ多クノ鑛業權者ト云フモノハ、サウデハナイト思フ、隨テ試掘鑛制度ノ變革ハ善意ナ鑛業權者ヲ苦シメルト云フ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、試掘鑛制度ノ變革ニ依ツテ試掘鑛ヲ強制スル、ソレガ重要鑛物増産計畫ノ基礎的材料ニナルノダ、テレヲ今ヤラシテ置クト云フ考ハ御尤モデアリマスガ、併シサウ強制スルヨリモ、モウ少シ仕事ガ出來ルヤウナ風ニ仕向ケタラドウカ、私共厚ツボツタイ外套ハ春風ガ吹ケバ脱グ、寒イ間外套ハ脱ダナイノデアリマスルガ、ドウカ試掘ガ四年デ完成スルト云フコトノ本當ニ出來易イヤウニ仕向ケテ戴ク、可能ナルコトヲセシメルノダ、不可能ナルコトヲ強ヒルノデナイ、斯様ナコトガ明ニ分ルヤウニ特別ナル御配慮ヲ煩シタイノデアリマス、此ノ點ニ關シテ簡單ナル御説明ヲ御願シマス

○小金政府委員 試掘鑛區ノ中所謂轉賣ヲ目的トスルモノモ相當ゴザイマス、是ハ鑛物ノ値上リ或ハ今例トシテ御舉ゲニナリマシタ隣鑛區ノ開發ニ依ツテ自分ノ鑛區ノ價

値ヲ高メテ、其ノ際ニ賣ルト云フノデ何等鑛山ヲ開發スル意思ナクシテ鑛區ヲ擁シテ居ラレル向キモ相當アルモノト認定致シマス、ソレハ悖テ措キ、眞ニ試掘セントスル熱意ヲ有スル者ニ對シテ其ノ試掘ガ實行出來ルヤウナ具體的ノ方法ヲ取レト云フ御言葉ハ、洵ニ御尤モデゴザイマシテ、技術者ノ不足トカ、勞力ノ不足トカ、或ハ「ガソリン」、「カーバイド」鋼材、護謄足袋ト云フヤウナ、サウ云フ資材ノ配給ニ付キマシテモ、現ニ特別ノ措置ヲ執リツツアリマス、尙ホ是モ不十分デハアリマスルガ、併シナガラ技術者ガ足ラナイ、勞力ガ足ラナイト云フヤウナコトカラ、若シ試掘ガ行ハレナイト云フヤウナ現狀ニ儘デ放置シタラバ、是ハ由々シイ問題ヲ惹起スル、斯ウ云フコトモ亦考ヘラレルノデアリマス、ソコデ私共ハ正直ニ申上ゲマス、眞ニ試掘ヲスルノダ、金ガナイ、物資ガナイ、是レノ資材ガ足ラナイト云フコトヲ御申出ニナリマシタ際ニハ、是ハ極力、出來得ルコトナラバ、官廳ヲ動員シテ此ノ方ニ御協力ヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、併シナガラ是モマダ十分デハゴザイマセヌノデ、今回ノ豫算ニ於キマシテ、鑛山監督局ノ職員モ増シマス、ソレカラ又産金關係ノ豫算デアリマスル所ノ探鑛獎勵金ノ補助モ、昭和十四年度以來從來ノ百八十万圓ヲ三百萬圓ニ致シマシテ、ソレカラ又選鑛場、製鍊場ノ建設助成金ノ豫算モ百六十二萬圓ヲ百八十八萬圓ニ増シ、更ニ五百十萬圓ニ昭和十四年度ハ殖エテ居リマスガ、是モ昭和十五年度ニハ五百四十萬圓ノ豫算ヲ計上シテ居リマス、其ノ他金山現場係員ノ養成、色々ナ施設ヲ併セ行ヒマシテ、其ノ方面カラモ試掘或ハ採掘

ニ對シテ御協力ヲ申上ゲル、其ノ外ニ機械ノ貸與トカ色々ノコトモゴザイマスガ、眞ニ試掘ヲシタイト云フ御熱意ノアル向ニ對シマシテハ、マダ會社ノ營業振リニ付テ兎角ノ批評ハ免レ得ナイト存ジマスガ、日本産金振興株式會社或ハ帝國鑛業開發株式會社ノ内容ノ充實及ビ其ノ執務振リニ付キマシテモ、改善ヲ加ヘテ併行シテヤツテ行キタイト存ズルノデアリマス

○高橋委員 只今鑛山關係ノ豫算ガ飛躍的ニ膨脹シタト云フ御説明デアリマス、正ニ其ノ通りデアリマス、私共初メテ鑛業關係ニ興味ヲ持チ始メタ當時ハ、探鑛獎勵金ガ僅カ五萬圓シカナカツタノデアリマス、一躍シテ百萬圓トナリ、年々増加シテ今御述ベニナリマシタヤウナ莫大ナ數字ニ達シタコトハ事實デアリマス、殆ド無ヨリ有ヲ生ジタト云ヒマスカ、鑛山監督局ノ技術官其ノ他ニ於テモ、皆無ノ狀態カラ今マデノ陣容ヲ整ヘラレタコトニ關シテハ、鑛產局長以下各位ノ非常ナ努力ニ對シテ洵ニ敬意ヲ表スルモノデアリマス、唯ソレハ比較的ニ見ルトサウデアリマスガ、絕對量ノ見地カラ見マスルト、洵ニ豫算ガ少イ、今日百三億ノ豫算ガアリ、其ノ内ノ何レ七割六割ハ物資デアリマス、物資ノ中ノ主ナ物ハ鑛產物デアアル、ソレガ物動計畫ノ基礎ヲ成シ、今日ノ聖戰遂行、國民生活ノ確保、サウ云フコトニ至大ノ關係ノアル時代ニハ、千萬元ニ千萬ノ豫算ハ目藥ト言ツテモ宜シイ、是デ以テ物動計畫ノ大事ナ部分ヲ擔任サレルコトニ對シテハ、寧ロ大膽過ギル豫算デハナイカト思フノデアリマス、是ハ商工大臣ニ申上ゲル筈デアツタノデアリマスガ、此ノ機會ニ申述ベテ置イタガ宜カラウト思ヒマ

スカラ申上ゲマスガ、數年前ニ小川郷太郎氏ノ商工大臣時代ト思ヒマス、丁度液體燃料ノ問題ガ起キタ時ニ、海軍省ガ非常ニ肩ヲ入レタノデアリマス、サウシテ數億圓ノ豫算ヲ編成サレタ、其ノ時分ニ商工當局ノ考ハ億ト云フ數ナドハ夢ニモ考ヘテ居ラレナカツタラシイノデアリマス、兎角陸海軍ノ豫算ハ單位ガ大キイモノデアリマスカラ、隨テ豫算ノ數字モ大キイ、ソレガ可ナリ商工當局ヲ鞭撻スルヤウナ意味ニナツテ、アア云フ豫算ガ出來上ツタト云フコトヲ其ノ當時海軍當局カラ承ツテ居ル、是ハ私共モ會テ軍事豫算ヲ扱ツタゴトガアリマスガ、其ノ眼カラ見マス、鑛山關係ノ豫算ナドハ、マダノ數倍ノ飛躍ヲ爲サナケレバ急需ニ應ジラレナイ、私共モ其ノ必要ノ前ニハソレ等ノ經費ヲ御協賛申スコトニ決シテ客デハナイノデアリマス、ドウカ今マデノ歴史カラ何倍カノ膨脹ダトカ幾何級數デ上ツテ來タト云フコトバカリ御考ヘナラナイデ、モツト大局カラ善處セラレンコトヲ特ニ希望スル次第デアリマス

次ハ鑛業法ノ中ニ死文デハナイカ、餘リ活用セラレナイデヤナイカト思フヤウナ法文ガ二三アルノデアリマス、ソレニ對シテ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、鑛業法ノ第二十四條ニ「試掘出願地採掘ニ適スルモノト認メタル時ハ採掘ノ出願ヲ命スヘシ」トアルノデアリマスガ、ソレニ關聯シタ條文中ニ「採掘出願地仍試掘ヲ要スルモノト認メタル場合ニ之ヲ準用ス」トアリマスガ、是ハドウ云フ場合ニ此ノ法文ガ適用サレルノデアリマスカ

○小金政府委員 只今私ガ豫算ニ關シマシテ計數ヲ申上ゲタノデアリマス、所

ガ少シ不用意ナ點ガゴザイマシタノデ
訂正サシテ戴キタイト思ヒマス、豫算
ノ絕對計數ニ於テマダ極メテ不十分デア
ルト云フ高橋サシノ御警告ニ對シマシテ
ハ、十分留意致シマス、私共モ是デ十分デ
アルトハ毛頭考ヘテ居ラヌノデアリマス、
唯急激ニ豫算ヲ膨脹致シマシテモ、技術者
其ノ他ノ關係デ弊害ヲ生ズル虞ナシトモ斷
ジ得ラレマセヌノデ、漸ヲ逐ウテ多クシテ
御趣旨ニ副ヒタイト存ジマス、只今申上ゲ
マシタノハ金ダケノ獎勵金或ハ補助金デゴ
ザイマシテ、此ノ外ニ重要礦物即チ銅、鉛、
亞鉛、錫其ノ他ノ礦物ヲ目的トシタ重要礦
物ノ採掘獎勵金ガ從來百七十八萬圓デアリ
マシタガ、ソレヲ昭和十五年度ハ百五十萬
圓ニ殖シマシテ、又新ニ是等ノ礦物ノ選礦
場ヲ立テル向ニ對シマシテ、其ノ設置補助
或ハ助成ト云フ意味ニ於キマシテ、新ニ百
二十萬圓ヲ加ヘマシタ、其ノ外鐵ニ付キマ
シテハ、鐵礦石ニ付テハ國策會社ヲシテ
其ノ開發ニ當ラシメ、石炭ニ付キマシテハ、
別途又計畫ガゴザイマスノデ、金及ビ銅、
鉛、亞鉛、錫其ノ他ノ重要礦物、斯ウ云フ關
係ニ於キマシテ、今申上ゲマシタヤウナ數
字ニナルノデゴザイマス、是ハ今後モ十分
御言葉ニ從ヒマシテ、萬全ノ策ヲ講ジタイ
ト存ジマス

ヲ出シタ其ノ日時ヲ後カラ出シタ出願ニ與
ヘル、斯ウ云フ取扱デゴザイマス
○高橋委員 今礦山局長ノ御話ノ前段ノコ
ト、礦山局長ガ屢、繰返サレテ居リマス國家
機關並ニ國家的機關上云フ御言葉ノ中ノ、國
家の機關デアル特殊社會ニ付テノ質問ノ際
ニ申上ゲタイト思ヒマス

礦山ノ採掘出願地デモ試掘ヲ要スルカ
ラ、ソレニ試掘サセルノダト云フダケノコト
デアリマスレバ、私ノ質問ハサツパリ意味
ヲ成サナイノデアリマスガ、私ノ伺ヒタイ
ノハ、此ノ際出願者ノ礦業權ハドウナルカ、
例ヘバ委員會盛ニ論議サレマシタ保護礦
區、豫備礦區、サウ云フモノガ採掘ニシヨ
ウト思ツテ出願スル、所ガ何レサウ云フ
モノハマダ試掘モ不十分デアリマシテ、尙
ネ試掘ヲ要スルモノト認メラルベキ條件ヲ
備ヘテ居ルト思フ、サウ云フ際ニ是ガ適用サ
レタノデハ、保護礦區モ豫備礦區モ設定ス
ル譯ニ行カナイ、斯ウナルノデアリマスガ、
此ノ關係ハドウナリマスカ

○小金政府委員 此ノ條項ハ採掘出願ガア
アリテ、眞ニマダ礦物ノ試掘ヲ必要トスル
ト云フ場合デアリマシテ、保護礦區或ハ豫
備礦區ト云フヤウナ名前デ呼バレテ居リマ
ス礦區ニ付キマシテハ、尙ホ試掘ヲ要スル
モノト認メルカ、或ハ採掘ニ適スルモノト
認メルカハ、實地調査、其ノ他、サンプル・マッ
プ、或ハ現場ノ具體的ノ狀況ニ依リマシテ、
認定スルノデアリマシテ、所謂保護礦區或
ハ豫備礦區ト言ハレルモノノ中ニハ、試掘
礦區ト採掘礦區ガ相當アルコトト存ジマス、
ソレヲ今回ノ改正ニ依リマシテ、四年間ハ
試掘礦區デ其ノ儘宜シイノデアリマスガ、
四年ノ間ニ試掘ヲシテ貰ツテ、其ノ礦物ノ

大體ノ狀況ヲ調べ貰フ、サウスレバ其ノ
豫備礦區ト云フヤウナモノハ礦物ノ大體ノ
狀態ガ分ツテ居ル豫備礦區デアリマスカラ、
眞ニ豫備礦區ノ働キヲ爲ス、斯ウ云フ風ニ
考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 此ノ三十七條ノ、試掘礦區採
掘ニ適スルト認メタ時ハ採掘ノ出願ヲシロ、
言フコトヲ聽カナケレバ礦業權ヲ取消ス、
今度ノ改正デサウ云フ意味ニ讀マレルヤウ
デアリマスガ、之ヲ轉願命令ト礦產局長ハ
説明シテ居ラレマシタガ、此ノ轉願命令ガ
アリマスレバ、之ヲ活用サヘスレバ試掘權
制度ノ變革ヲ行ハナクテモ所期ノ目的ガ達
セラレノデハナイカ、折角斯ウ云フ風ニ改
正サレナガラ、之ヲ活用シナイデ、自動的
ニ四年經テバ試掘權ガ消滅スルト云ツタヤ
ウナコトヲ企テラレル如キコトハ、何ダカ矛
盾ガアリハシナイカ、諒解ニ苦シムノデア
リマスガ、是ハドウ云フ目的ヲ以テ此ノ法
文ヲ設ケラレマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ
○小金政府委員 第三十七條ハ、從來試掘
礦區ヲ持ツテ居ラレル方ガ、其ノ期限ガ切
レタトカ、或ハ廢業シテ直チニ其ノ土地ニ
付テ試掘願ヲ御出シニナル場合、試掘願デ
アル間ニ採掘礦區ニ適スルト認メタ場合ニ
採掘願ニセヨト云フ所謂轉願命令ナルモノ
ガ出ルノデアリマス、今回改正致シマシタ
點ハ、試掘礦區デアリマシテマダ現在試掘
權ガ存續シテ居ル間ニ於テ、實地調査トカ、
或ハ他ノ方法ニ依リマシテ、其ノ試掘礦區
ガ採掘礦區トスルニ適スルト云フコトヲ認
定シタ場合ニ、期間ガ切レテ、次ノ出願ガ
出ルノヲ俟タズシテ採掘願ヲ出スコトヲ命
ジ得ルヤウニ今度ハ改正致シタノデアリマ
ス、是ガアレバ睡眠礦區ガ一應無クナル筈

デアルヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併
シナガラ現在ノ試掘礦區ニ礦山監督局ノ技
術者其ノ他ガ入ツテ參リマシテ、是ハ採掘
ニ適スル、或ハ採掘ノ價值アリト云フ認定
ヲ爲スト云フコトハ、是ハ事實上殆ド不可
能ニ近イト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマ
ス、ソコデドウシテモ試掘礦區ノ試掘ヲ試
掘權者ニ依ツテシナケレバナラス法律ノ建
前カラシテ、試掘權ヲ與ヘラレタ試掘權者
ハ試掘ヲシナケレバナラスト云フコトニナ
ルノデアリマス、試掘礦區ヲ各自ガ保有シ
テ居ツテ、ソレヲ試掘ニ適スルモノト官廳
ガ認メルヤウナ方法ヲ執ルト云フコトハ事
實上不可能ニ近イ部分ガ澤山アルト思ヒマ
ス、ソコデ試掘權ハドウシテモ何等カノ方
法ニ依ツテ試掘ヲ爲サシメルト云フ風ニ仕
向ケナケレバナラス、斯ノ如ク解スルノデ
アリマス

○櫻井委員長 高橋君ニ一寸申上ゲマス
ガ、大藏大臣ガ稅ノ委員會中ヲ無理ニコチ
ラヘ御願シタノデスカラ、此ノ場合大藏大
臣ニ對スル質疑ヲ先ニセラレルヤウニ願ヒ
マス

○高橋委員 大藏大臣ニオ出デラ願ヒマシ
タカラ、一寸伺ヒタイノデアリマスガ、日
本產金振興會社ハ、大藏省ト商工省ノ共管
事項ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ事ハ
本會議デモ御尋シタノデアリマスガ、ドウ
ヤラ資本金ノ五千萬圓ノ半額ヲ出シ、年々
補助金ヲ出シテアルカラ、ソレデ共管ヲス
ルノダ、丁度持參金ヲ持タシテヤリ、年々
仕送りヲシテ居ルノデアアルカラ、嫁入先ノ
家政ニモ干涉シテ居ルノダト云フヤウナ論
法ダト思ハレマスガ、大藏省ガサウ云フコ
トヲナサレナクテモ、出タ金ハ產金法ニ依

ツテ大藏省へ集ツテ來ルノデアリマスカラ、
産金ノ方法手段技術の方面ノコトヲヤツテ
居ル日本産金振興會社へ所謂介入サレル必
要ハナカラウ、ヤハリ不介入方針行カレ
テ、餅屋が餅ヲ搗イタ其ノ餅ヲ御上リニナ
レバ宜イノデ、餅ヲ造ル所マデ進マレナク
テモ宜クハナイカト云フ感ジヲ持ツノデア
リマスカ、ドウ云フ關係デ共管ヲナサルノ
デアリマスカ、ソレヲ簡單ニ伺ヒタイノデ
アリマス

○櫻内國務大臣 大體ニ於キマシテ産金ノ
仕事ハ商工省ニ於テヤツテ居リマス、大藏
省ハ單ニ金融的關係ニ於テ主トシテ共管シ
テ居ルヤウナ次第デアリマス

○高橋委員 其ノ事ハ大シタ問題デモアリ
マセスカラ、此ノ程度デ打切りマスカ、數
年間ニ五千万圓ヲ産金増加ノ爲ニ金資金特
別會計ヨリ一般會計ニ繰入レルト云フノヲ
二億圓ト改メラレテ、其ノ案ハ今衆議中ノヤ
ウデアリマスカ、是ハ洵ニ結構ナコトト存
ジマス、斯ウ云フヤウニ産金獎勵ノ爲ニ金
ヲ出サレル方ハ大藏省共管ノ方都合ガ好
イヤウニモ感ゼラレマスカ、併シ何レニシ
テモ、産金振興會社ガ金融ヲスル、其ノ他
ノ關係デモ大藏省ニ一々許可ヲ仰ガナケレ
バナラスト云フコトモアリマス、相成ベク
ハ、金ヲ御出シニナツテモ、共管ノ方ヲ御
止メニナツタ方適當デハナイカト云フ感
ジガ致スノデアリマス、次ニ五千万圓ヲ四
倍ニシテ二億圓ト云フコトニサレテ御取計
ハ洵ニ時宜ニ適シタコトト存ズル、唯之ニ
伴フ商工省側ノ日本産金振興會社ニ對スル
政府補償ガ百五十一萬圓、何ダカ一千万圓
ノ金ヲ六箇年ニ亙ツテ平均百五十萬圓程度
ヲ出スノデハナイカト云フヤウニ見ラレ

ノデアリマスカ、是ナドモヤハリ大藏省ト
步調ヲ合セラレマシテ、一千万圓ノ豫算外
國庫負擔ナルベキ契約ヲ要スル件ノアリ
金ハ當然大藏省ナミニ行ケバ四千万圓ニ増
加セラレルベキモノダト云フヤウニ考ヘ
ルノデアリマス、是ハ別ニ大藏大臣ノ御答
辯ヲ求メマセス、私ノ大藏大臣ニ對スル質
問ハ是デ終リマス

○櫻内國務大臣 答辯ヲ求メヌト云フ話デ
アリマスカ、一寸申上ゲテ置キマス、二億圓
ヲ限度トシテヤツテ居リマシテ、一々大藏
省ガソレニ干渉シテドウスル譯デモナイノ
デアリマス、或ル範圍内ニ於テ會社ニ於テ
自由ニ出來ルヤウニナツテ居リマス

○櫻井委員長 一寸高橋君ニ申上ゲマス、
アナタノ發言中デスガ、川俣君ノ大藏大臣
ニ對スル留保ガアリマスカ此ノ場合一寸
御譲ヲ願ヒマス——川俣君

○川俣委員 大藏大臣ニ御尋致シタイノデ
アリマス、大藏大臣ハ多分本法ノ改正ガ如
何ナル點ニアルカト云フコトハ十分御存ジ
ダト思ヒマス、ソコデ私御尋致シタイノハ、
鑛區稅ノ問題ト獎勵金ノ問題デアリマス、
先ツ獎勵金ノ問題カラ御尋致シマス、新産
金増産計畫ニ基キマシテ、産金獎勵金ヲ出
シテ居リマス、特ニ其ノ内ニ割増金制度ト云
フモノガゴザイマス、之ニ對スル法律ノ缺
陥ガ業界ノ方面カラ擧ゲラレテ居リマスカ、
之ニ對スル缺陷ヲ認識シテ居ラレマスカ、
又如何ニ之ヲ改正サレヨウトシテ居ラレマ
スカ、其ノ點ヲ御尋致シマス

○櫻内國務大臣 産金獎勵ノ問題ハ極メテ
重大ナ問題デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシ
テハ、十分注意致シテ居リマスカ、今マデ
ハ要スルニ助成金制度ニ依リマシテ、其ノ
増産ヲ期シテ居リマス、ソレ以外ニ於キマ
シテハ、所謂設備ニ對スル所ノ助成、選鑛
ニ對スル所ノ助成、或ハ運搬ニ對スル所ノ
助成等ヲ致シマシテ、産金ノ増加ヲ圖ツテ
居ルノデアリマス、今御話ノ如ク増産金ニ
對シテ特別ノ助成ヲモ致スコトニ昨年ノ暮
デアリマシタカナツテ居ルト記憶致シテ居リ
マス、併シ今日當業者ノ方面カラ申シマス
ト、色々各鑛山ノ關係モゴザイマシテ、寧
ロ金ノ買上價格ヲ上ゲタラ宜イジヤナイカ
ト云フ說モ起ツテ居リマス、確ニソレモ一
ツノ方法ニハ相違ナイノデアリマス、併シ
御承知ノ如ク、今日ノ低物價政策ノ關係
カラ申シ又金ノ集中問題ト云フ關係モア
リ、從來ノ種々ナル關係モゴザイマスノデ、
單ニ金ノ價格ヲ上ゲルト云フコトヲ單純ニ
致スコト云フ事柄ハ到底不可能ナコトデアリ
マスノミナラズ、金ノ買上價格ヲ唯上ゲタ
カラト云ツテ、ソレデ増産ガ出來ルモノデ
ナク、或ハ勞働力トカ資材トカ云フモノノ
關係或ハ運搬力、電力ノ供給、斯ウ云フ問題
ニ對シマシテ力ヲ入レナケレバ増産ハ出來
ナイノデアリマス、故ニ今日ハサウ云フ方
面ノ助成ヲ主トシテヤツテ居リマスカ、是
等ニ付キマシテモ單ニ助成バカリデモイカ
スノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテ目
下適當ナル方策ヲ講ジナケレバナラスト
ト思ヒマス、是ハ商工當局トモ協議致シマ
シテ速ニ實際ノ増産ガ出來ルヤウニ適切ナ
ル方策ヲ講ジタイ、斯様ニ思ツテ研究致シ
テ居ルノデアリマス

○川俣委員 大臣ハ一般的な御答辯ヲナサ
イマシタケレドモ、金ノ割増金制度、助成
金制度、獎勵金制度ハ石炭ニモ關係シテ參
リマスノデ、先ツ此ノ産金ノ獎勵金制度及
ビ割増金制度ニ付テ十分ナル檢討ヲシナケ
レバナラスト時ニ相成ツテ居ル、少クトモ其
ノ缺陷或ハ長所ト云フモノヲ今日認識シナ
ケレバナラスト時期ダト思ヒマスガ、改メテ
産金割増金ニ付テノ缺陷ヲドレ程御認ニナ
リ、如何ナル長所ヲ御認ニナルカ、其ノ點
ヲモツト詳シク御尋シテ置キマス

○櫻内國務大臣 今ノ御話ハ増産金ニ對ス
ル助成ノ問題デアリマス、増産金ニ對スル
助成ノ問題ニ付キマシテハ、例ヘバ増産ノ
餘地ナキ鑛山ガ第一番ニ考ヘラレマス、ソ
レカラ私共ノ記憶スル所ニ依リマスト、増
産ヲ致スノニ從來ノ山カラ金ヲ掘ルノニ
ハ、今マデハ百間掘ツタ所デ掘ツテ居ル、
ソレガ本年ハ百十間ナリ百二十間ナリ奥
ヘ掘ツテ居ル、即チ費用ガ多ク掛リマス、
ソレカラ色々困難ガ古イ山ニ於テモ起ツ
テ來ルノデアリマス、殊ニ私ノ記憶スル所
ニ依リマスト、十三年度アタリカラ急ニ増
産計畫ヲ致シタ結果ト致シマシテ、可ナリ
無理ナ掘リ方——ト申シマスト語弊ガアリマ
スカ、掘ルコトニ急ニシテ、本坑道ノ切擴
ゲトカ、或ハ増産ニ對スル設備ニ不十分ナ
所ガアルトカ、種々ナル點ガアリマシテ、
サウ云フ山ハ新ニ増産ガ出來マセス、故ニ
増産金ニ對シマスト獎勵金ガ假ニ出マシテ
モ、從來ノ産金量ヲ維持スルニスラ困難ナ
場合ガアルノデアリマス、増産ノ獎勵金ヲ
狙フコトニナリマスト、今度ハ新タナ別ナ
山ヲ掘ツテ、折角從來開拓シタ山ハ放ツデ
置イタ方ガ宜イノデハナイカト云フ缺點モ
アリマス、ソレカラサウ云フ山ヲ經營スル
人々カラ申シマスト、大キナ金鑛山ハ別デ
アリマスカ、小サナ金鑛山ニハ相當ナ無理
ガアルノデアリマシテ、其ノ無理ノ上ニ更

ニ増産スルコトハ可ナリ困難ダト思ヒマス、ソレカラ今回ハ非常ニ規則ガ面倒臭クテ、聞ク所ニ依ルト、其ノ獎勵金ヲ貰フニハ相當ナ年月ヲ要スルノゾ、ソシテマドロコシイコトデハ實際ノ用ニ立タスト云フ不平モ耳ニシテ居リマス、隨ヒマシテ全般的ノ増産計畫ヲ立テマスノニハ、サウ云フヤウナコトヲ色々睨合セマシテ決定ヲ致サナケレバナラスト思ツテ居リマス

○川俣委員 大臣モ大體缺陷ノ大半ヲ御認メニナリ、隨テ其ノ御認メニナツタ結果、新シク御方針ヲ執ラルルコト存ジマスノデ、深クハ申シマセヌ、單ナル業者ノ其ノ場ノ御都合カラ出テ参リマスル實狀等ハ、参考ニハナリマスケレドモ、必ズシモサウデナイ場合ガ澤山出テ参ルノデアリマス、例ヘバ石炭ノ單價ノ問題ニ付キマシテモ、最初ハ獎勵金ヲ業者方面ガ希望スル、第二段トシテ、獎勵金ノ問題ガ可ナリ確實性ヲ持ツテ参リマス、今度ハ單價ノ値上ト云フヤウニ、業者方面ノ要求モ變化シテ参リマス、隨テ産金問題ニ付キマシテモ、業者方面ニ於キマシテハ最初ハ産金制度、割増金制度ニ付テハ、必ズシモ反對ガナク、助成金制度ニ付テモ必ズシモ反對ガナカッタ、併シ今日ハ段々反對ガ露骨ニナツテ來タ、ト同時ニ又弊害モ相當顯著ニ現ハレテ來テ居ルト思フノデアリマス、大臣ノ御述ベニナリマシタヤウニ、十三年度ヲ基準ト致シマシテ、今日マデ計算致シテ居ラレマシタ爲ニ、十三年度ニ於テハ新シク掘進スルヨリモ、採礦ニ努力致ス、詰リ十二年度ハ坑道ヲ延バス方面ニ力ヲ入レ、十三年ニハ出炭或ハ出礦ニ全力ヲ注イダ礦山ハ、不幸ニシテ十三年度ガ基準デアリマスルガ爲ニ、

十三年度ニハ多ク出タト云フコトデ、十四年度カラ割増金ヲ貰ヘナイト云フ結果ガ生ズル、或ハ甲乙丙ト云フヤウナ其ノ事業場異ニスル爲ニ、甲ト云フ事業場ト乙ト云フ事業場ト丙ト云フ事業場カラ参リマスル出礦ヲ、乙ヲ甲ニ代ヘ、甲ノ出礦ヲ多クシ、乙ノ出礦ヲ減ラスト云フ、實際上ノ採掘デナクシテ、机上ノ出礦量ヲ以テ割増金ニアリ付カウト云フ計畫モナサレルコトニナリマシテ、業界ノ必ズシモ完全ナ發展ニハ相成ツテ居ラナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ單ナル獎勵金トカ、補助金トカ云フモノハ、業者方面ノ一部ニ希望ガアルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ今日ノヤウナ狀態ニ於キマシテハ、多大ナ獎勵金ヤ助成金ノミニ依ツテ解決サレルト云フコトハ、非常ニ危険ナコトデハナカラウカ、寧ロ此ノ際ハ大藏當局ハ「コスト」ヲ引下ゲルヤウナ方向ニ向ツテ之ヲ指導シナケレバナラスノデハナカラウカト思フ、殊ニ石炭ノヤウナモノハ、資材モアリマセウケレドモ、石炭ノ生産費ノ主ナルモノハ勞働力デアリマス、隨テ斯ウ云フ勞働力ヲ得ル爲ニ、今日デハ石炭業者ハ一人ノ坑夫ヲ得ル爲ニ百圓内外、北海道アタリデハ百二十圓、九州方面デハ八九十圓、平均百圓位ノ募集費ヲ掛ケテ居リマス、二十萬人ノ坑夫ト致シマスレバ、二千萬圓ノ金ニナル、斯ル金ヲ徒ニ掛ケナケレバナラス、斯ル無益ナ費用ノ方ニ石炭業者モ苦心ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、隨テ生産費ヲ引下ゲルト云フ方面ニ大藏省ガ心ヲ用ヒナイデ、單ニ獎勵金及ビ助成金ニ依ツテノミ出炭量、出礦量ヲ増加ヲ圖ルコトニナリマスレバ、益々獎勵金ヲ出シ、益々補助金ヲ出サナケレバ、目的ガ達成サレナ

イヤウナ結果ニ相成ルノデハナカラウカト私共ハ頗ル憂ヘテ居ル、ソコデソレデハ生産費ヲ引下ゲルノハ何處カト云ヘバ、私ハ勞働賃銀ヨリ外ハナイト思フ、今日ノ勞働賃銀ヲ引下ゲテ勞働者ヲ得ラレルカト云ヘバ、上ゲテモ勞働者ヲ得ラレナイノデアリマスカラ、下ゲタナラバ尙ホ得ラレナイ、ソコドウスルカト云ヘバ、私ハサウ上ゲナイデモ勞働力ヲ得ラレルヤウナ行政上ノコト、及ビ國家ニ於テ此ノ勞働者ヲ待遇スルコトニ依ツテ、賃銀ヲ上ゲナイデ礦業ガ發展スルヤウナ方法ヲ考ヘナケレバナラナイ時期ニナツテ居ルノデハナカラウカ、殊ニ石炭礦業ノ如キハ、獎勵金ヲヤリマスルト、恐ラク私ハ勞働者ノ奪合ヒニナルガラウト思ヒマス、今日入レテ居リマス勞働者ノ七割位ハサウナルト思ヒマス、年々二十萬人カ二十三萬人ノ勞働者ガ新ニ入ツテ居ル、入替ヘニナル、隨テ此ノ勞働力ヲ保有スルニハ、相當ナ努力ヲ拂ツテ居ル、斯ル狀態ニ於キマシテ獎勵金ヲ出スト云フコトニナレバ、更ニ勞働者奪合ヒニナル、勿論賃銀ノ「ストップ」令モアリマス、或ハ職業紹介所モアリマスケレドモ、之ヲ以テハ押ヘ切レナイ、御承知ノ通り職業紹介所ニ依ツテ立派ニ勞働者ノ奪合ヒヲ禁止サレテ居ル、石炭礦業ニ於テハ、其ノ奪合ヒヲ禁止サレテ居リマス法律上ノ建前ハアリマスケレドモ、實際ハ礦山勞働者ノ約八割、炭礦業者ノ約九割ハ、自分ノ力ヲ以テ募集スル、職業紹介所ニ依リマスモノハ一割ニシカナラナイ、餘リノ九割、金山方面ニ於キマシテノ約八割ト云フモノハ自己募集デアリマス、隨テ獎勵金ヲ出セバ出ス程、勞働者ノ奪合ヒ、賃銀ノ昂騰ヲ來シマス、

私ハ獎勵金ヲ出サレタ所デ所期ノ出炭量、所期ノ産金量、所期ノ生産量ガ得ラレルトハ考ヘナイ、今日此ノ點ニ於テ大藏當局ハ斯ウ云フ低物價政策ヲ執ツテ居ラレマスガ、特ニ斯ウ云フ點ニ付テ考ヘナケレバナラス管デアルノニモ拘ラズ、マダ、獎勵金ヤ助成金ノミニ力ヲ入レテ居ルノハ、私共理解ガ出來ナイノデアリマス、此ノ點ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 助成金ノミニ依ツテ増産計畫ノ目的ノ遂行ガ出來ナイト云フコトハ、川俣君ト同感デアリマス、隨ヒマシテ今回モ此ノ資材及ビ勞力ノ點ニ付テ最モ力ヲ入レタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ今ノ一番初メニ御話ニナリマシタ所謂勞力ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ私モ能ク其ノ點ハ存ジテ居リマス、今日ハ僅カ十人カ二十人ノ坑夫ヲ持ツテ居ツテ、甲ノ山カラ乙ノ山ニ移シテ行ク、サウシマスト一人當リ百圓ツツ位ノ募集費ガアツテ、同ジ人間ヲアツチノ山カラコツチノ山ニ移セバ一人百圓ノ收入ニナル、斯ウ云フヤウナコトハ一面カラ言ヘバ礦山主ハ損害ヲ蒙リ能率ガ上ラナイ、サウ云フ譯デアリマスカラ、是ハ厚生省ノ管轄ニ屬シマスガ、此ノ勞働者ヲ一面ニ於テ雇主ガ十分ナル優遇ヲ致スト云フコトガ一ツノ方法デアリマスト同時ニ、此ノ勞働者ガ移動出來ナイヤウニ特別ノ措置ヲ講ズル事柄ハ、是ハ將來考究セラルベキモノデアラウト思ヒマス、今御話ノ如ク職業紹介所ヲ經テ行キマシタ者ハ、自ラ稍、サウ云フ風ニナツテ居リマスケレドモ、一般ノ緣故募集デアルトカ、或ハ公衆募集デアルトカ云フモノニ付キマシテハ、大イニ考ヘナケレバナラス點ガアルト

云フコトヲ私共認メテ居ルノデアリマス、
是ハ目下厚生省ニ於テ考究中ト思ヒマス、
單ニ勞働力ノ補給ノミナラズ、兎ニ角山ヲ
開發シテ増産ヲ圖ルノニハ、種々ナル點ニ
於テ所謂生産費ヲ安クスル點ヲ考慮致サナ
ケレバナラヌノデアリマシテ、例ヘテ言ハ
バ採掘ノ方法ニ付キマシテモ、或ハ製鍊ノ
關係ニ致シマシテモ、可ナリ考究致スベキ
點ガ澤山アルト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付
キマシテハ十分注意シテ考究致シタイト思
フノデアリマス

○櫻井委員長 川俣君、マダ大分オアリニ
ナリマスカ、大藏大臣ハ他ノ會議ノ答辯中
ヲ短時間ト云ツテオ居デ願ツタノデアリマ
スカラ……

○川俣委員 モウ少シデス、獎勵金ノ問題
ニ付テハ何レ石炭ノ問題ガ出マシタ時ニモ
ツト御尋シタイト思ヒマスカラ、其ノ點ハ今
日ハソレデ宜シウゴザイマスガ、之ニ關聯シ
テ今度ノ鑛業法ノ改正ノ點カラ見タ鑛區稅
ノ點ニ付テ御伺致シマス、本改正案ハ短期
間ノ間ニ地下資源ヲ開發シ、以テ國民經濟
ノ上ニ資シタイト云フノガ、此ノ改正ノ骨
子デアリマス、隨テ今日マデノ鑛區稅ト云
フモノハ相當徵稅ニ重點ヲ置イテ居ツタノデ
アリマスケレドモ、今日ノ改正案ハ色々業
者ノ間ニ於テ反對ガアルカモ知レナイガ、
寧ロ税金ヨリモ開發ニ力ヲ入レタ點ニ於テ
見レベキモノガアルト考ヘルノデアリマス、
而モ本法ノ舊法デアリマス、日本坑法時代
ニ於キマシテハ、鑛業稅ヲ借居稅ト致シマ
シテ、極ク僅カノ税金ヲ取ツテ居リマシタ、
是ガ所謂鑛山專有制ノ時代デアツタノデア
リマスガ、此ノ概念ハ政府ガ鑛山ヲ專有ス
ル、私法人ニ借スト云フ建前カラ出來タ名

稱デアルノデアリマス、是ガ本法ノ前身ノ
鑛業條例ニ變ツタ時代ニ於キマシテハ、試
掘權ニ對シテハ鑛區稅ヲ取ツテ居ナカツタ
ノデス、採掘稅ハ取ツテ居リマシタケレド
モ、期間ノ短イ試掘稅ニ付テハ徵稅致シテ
居ラナカツタ、寧ロ試掘ト云フモノヲ非常
ニ獎勵致シマシテ、日本全國ニ試掘權ガ設
定サレ、試掘ガ出來テ參リマスコトハ、鑛
業ノ發達ニナルト云フコトデ、税金ヲ取ラ
ナカツタ爲ニ、廣汎ナ地區ニ互ツテ試掘權
ト云フモノガ設定サレマシテ、日本ノ金銀
銅其ノ他ノ鑛石ノ所在ト云フモノガ大體明
ニナツタ、明ニナツタ點ハ非常ニ便利デア
ツタケレドモ、是ガ無稅デアリマシタ爲ニ
徒ニ獨占サレマシタ結果開發サレマセヌデ
シタ、是ハ恐ラク其ノ當時ノ議論ニモ現ハ
レマシタ通り、徒ナル獨占ガ横行スルカラ、
之ニ税金ヲ課シテ以テ其ノ弊害ヲ除去シヨ
ウト云フノガ、鑛區稅ノ設定サレタ最初ノ
觀念ノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、所
ガ今日ハ、今マデハ試掘ヲ放任シテ置イタ
ケレドモ、今度ハ試掘ハ放任出來ナイ、前
ニハ二年デ新シク切替ヘテ更新出來タケレ
ドモ、今度ハ二年ヲ四年ニシテ、四年以内
ニ必ズ開發セヨ、サウシテ日本ノ金銀ノ所
在ヲ明ニシヨウ、斯ウ云フ建前カラ改正ス
ルノデアリマス、私モ今ハ其ノ建前ハ必要
トシテ居ル時期デアルトハ考ヘマスケレド
モ、斯ウ云フ風ニ試掘權ト云フモノヲ非常
ニ制限スルト同時ニ、開發セヨト云フ所ノ
義務ヲ負ハセタ、制限ヲ加ヘ義務ヲ負ハセ
タノデアリマスカラ、是ハ私ハ税金ヲ引下
ゲルコトガ必要デハナカラウカト思ヒマス、
モウ一ツハ、發見ノ障礙ニナツテ居ルノハ、
四年ニシタ爲ニ新シク發見スル人ガナクナ

リハシナイカト云フ意見ガ各委員ノ間ニ出
テ居ル、是ハ一寸不安ナル點デアルト思
フ、サウ云フ不安ヲナクスル爲ニハ、税金
ヲ引下ゲテヤツテ、昔ノヤウニ發見サセヨ
ウト云フ建前ト、ソレカラ先程申上ゲマシ
タヤウニ、制限ヲ加ヘ義務ヲ負ハセタノデ
アルカラ、税金ヲ引下ゲルト云フ建前ト、ソ
レカラ生産費ヲ引下ゲテヤルト云フ建前、
此ノ三ツノ點カラ私ハ鑛區稅ハ非常ニ考慮
サルベキ點デヤナカラウカト思ヒマスガ、
之ニ對スル御答辯ヲ御願致シマス

○櫻井國務大臣 御話ノ如ク今日マデノ鑛
區ニ對スル所ノ觀念ハ、大體ニ於テ川俣君
ノ御話ノヤウニ考ヘラレタト思ヒマス、今
回ノ二年ノモノヲ四年ニ延バシタ、其
ノ代リ四年年後ハ更新ヲ許サナイノデア
ル、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、動トモスレ
バ二箇年毎二箇年毎ニ切替ヘテ先願權ガ其
ノ儘殘ルノデアリマスカラ、何時マデモ打
チャツテ置ク、サウ云フ國ノ寶ヲ唯徒ニ試
掘稅サヘ納メテ居レバ永遠ニ之ヲ保有シテ
置クト云フヤウナコトハ、之ヲ開發スル上
ニ於テ目的ヲ達シナイノデアリマス、二箇
年ト云フコトデハ無理デアアルガ、兎ニ角四
箇年ノ間ニハ當然著手シテ宜シイ譯デ、探
鑛ヲ爲シ得ル譯デアリマスカラ、四箇年ト延
バシタノデアリマス、其ノ四箇年ニ延バシタ
理由ニ付テハ川俣君モ御認ニナツテ居ルノ
デアリマスガ、ソレデハ何故鑛區稅ニ付テ考
ヘナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、是ハ
十分ニ研究致シテ居リマセヌカラ、事務當
局カラ申上ゲル方ガ間違ヒナイカト思ヒマ
ス、私ノ考ヲ申シマスレバ、是ハ二箇年毎
ノ場合ニ於キマシテハ、二箇年目ニ更ニ五
十圓ノ許可申請ヲ爲シ、ソレカラ更ニ登錄

ノ百圓ヲ納メルト云フコトニナツテ居ルト
思ヒマス、隨ヒマシテ四箇年繼續シテ是ガ
許可權ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマス
レバ、ソレダケハ減稅ニナル譯デアリマス、
唯四箇年間ニ必ズヤラナケレバナラヌト云
フ義務ハアリマスケレドモ、是ハ私ハ四年
間ノ間ニハヤルモノナラバ相當探鑛ヲヤリ
マス、今マデノ山ヲ實際ニ開發スル人々ノ
經驗カラ見マス、四年間アレバ大體ニ於
テ試掘ガ出來ルノデナカラウカ、斯ウ云フ
趣旨カラサウ云フ風ニ改正ヲ致シタノデア
リマシテ、料金ヲ下ゲテサウ云フ風ヲ補助
シタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナコト
ハ一ツノ御意見デアリマスケレドモ、政府
ニ於キマシテハ、此ノ程度デ宜クハナカラ
ウカト考ヘマシテ、ソレデ延長致シタノデ
アリマス

○川俣委員 私ハ其ノ趣旨ニハ贊成デアリ
マス、四年ニシテ地下埋藏物ヲ廣ク國民經
濟ノ上ニ必要ナ限度ニ於テ之ヲ開發スルト
云フコトハ、非常ニ必要ナコトデス、併シ
ナガラ必要デアリナガラ今日マデナザ放任
サレテ來タカ、鑛業法ノ第四十條ニ明ニ土
地所有權ト對立シタ所ノ鑛業權ヲ設定スル
カラニハ、當然ソレニ責任ヲ持タセ開發ヲ
條件トシテ居ナケレバナラヌ、併シナガラ
此ノ四十條ト云フモノヲ一度モ適用シタコ
トガナカツタ、鑛業法ノ本來カラ言フナラ
バ、開發ガ目的デアアル、目的デアルノニ拘
ラズ、此ノ四十條ト云フモノヲ適用シテ居
ナカツタ、鑛區稅ト云フモノヲ納メナケレ
バ鑛業權ハ取消シテ居リマスケレドモ、國
家目的タル鑛業權本來ノ開發目的ヲ達成シ
タクテモ此ノ四十條ハ適用サレナイデ、單
ニ税金ヲ納メナイト云フコトニ依ツテノミ

今マデ鑛業權ハ取消サレテ居ツタ、ダカラ鑛業本來カラ言フナラバ四十條ノ方ガ重クテ、鑛業稅ノ方ガ輕クナケレバナライノデアリマスガ、今日マデハソレハ多ク默過サレテ來タ、併シナガラ今日ノ改正ヲ要スルト云フ狀態ハ、之ヲ開發シナケレバナライト云フ所ニ力ガ入ツテ居ルノデアルカラ、鑛區稅ヨリモ寧ロ四十條ガ重キ勸キヲ爲スベキ時代デアリマスケレドモ、四十條ヲ適用サレルト云フコトニナリマスケレバ、非常ニ鑛業界ニ不安ヲ與ヘルデアラウト云フ考カラ、サウ云フコトモ加味サレマシテ、

カラ、僅カノ税金デアリマスケレドモ、ソレヲ寧ロ半減シテ、更ニ開發ニ努力サセルト云フヤウナ政府ノ建前ガ必要デハナイカト云フノデ、私ハ諄ク大藏大臣ニ御尋致シテ居ル次第デアリマス

害スルモノデハナイト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ、十分政府委員等カラモ御説明申上ゲテ御諒解ヲ得ルコトガ出來ルト、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス

トスル場合ニ於キマシテハ鑛業權者、即チ試掘權者或ハ探掘ヲ出願シテ居ル出願人ガ、自ラノ鑛物ノ存在スルコトヲ證明スベシト云フコトヲ法律ハ義務ヲ命ジテ居ルノデアリマス、是等ノ建前カラ行キマシテ、官廳ハ勿論協力スルコトハ當然デアリマスケレドモ、斯ウ云フ風ナ趣旨、ソレカラ現狀カラ考ヘマシテ、官廳ガ手ガ廻ラヌカラ民間モ廻ラヌノハ當然ダト云フヤウナコトデ鑛業法ヲ扱ツタナラバ、到底其ノ收拾ハ付カナイト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

恐ラク本法案ノ改正ニナツタと思フ、四十條ハ適用スレバ出來ルノデアリマスケレドモ、ソレハ適用スレバ餘ニモ多クノ不安ヲ與ヘルト云フノデ、寧ロ幾分ノ緩和ノ意味モ含ミマシテ、恐ラク本改正案ガ出來タト考ヘテ、吾々ハ非常ニ贊意ヲ表シテ居ルノデアリマスケレドモ、此ノ政府ノ考ヘ方ガ、開發ガ目的ナカ、ヤハリ税金ナラバ一寸デモ納メナケレバ鑛業權ヲ取消ス、開發シナケレバ默認シタ舊來ノ時代カラ、新シク開發シナケレバナライト云フコトニ今日モツト重點ヲ置イテ考ヘナケレバナライナデハナイカ、ソレニハ寧ロ生産費ヲ引下ゲル點モアリマスケレシ、又四年ニシテ一番弊害ノアリマスケルノハ、委員會デモ反對ノアリマシタ要點ハ、結局ハ新シク開發シ、新シク新山ヲ發見スルニ非常ニ不便ヲ來シハセヌカト云フコトガ、反對ノ主ナル理由デアリマス、寧ロ私ハ鑛區稅ヲ引下ゲルコトニ依ツテ其ノ不安ヲ除去シ、政府ノ目的デアル所ノ開發ヲモ期セラレルト云フコトニナレバ、兩々相立ツノデハナカラウカ、僅カノ地下埋藏物ヲ出スト云フノデアリマス

固ヨリデアリマスガ、今御話ノ如ク一面ニ之ヲ發見シタ人ニ對シマシテ、相當ノ期間ヲ認メルト云フコトガ、又適當ナコトデアラウト思ヒマシテ、斯ウ云フ風ニ改正致シタノデアリマスガ、其ノ期間ニ於テ鑛區稅等ヲ減少シテ、負擔ノ減少ヲ圖ルト云フコトガ宜イデハナイカト云フ御話デアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテ先刻申上ゲマシタ通り、一遍ノ切替ト云フコトデナシニ致スコトニ依ツテ多少緩和サレルノデゴザイマシテ、先ヅ此ノ程度ニ於テ實際ニ輕減サレルモノナラバ適當デヤナカラウカト思ツテ致シタヤウナ次第デアリマス

○櫻井委員長 高橋壽太郎君
○高橋委員 今大藏大臣ニ對スル質問應答ガ間ヘ入リマシタノデ、私ノ鑛產局長ニ對スル質問ハ腰ガ折レタヤウナコトデアリマシタガ、質問ヲ再興致シマス、鑛業法第三十七條ノコトデ伺ツタノデアリマスガ、政府ノ方デハ手ガ廻ラナイカラ探掘ニ適スルト認メタモノニ探掘願ヲ出セト云フヤウナ指令ハ實際上ヤレナイノデ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、政府ハ手ガ廻ラナイガ、民間ノ方ハ手ガ廻ツテ居ルノデ、試掘ガ出來ルノデ、斯ウ云フヤウナ皮肉モ言ヒタクナルノデアリマスガ、政府ノ力デスラモ手ガ廻ラナイノデ、民間ノ方ハ手ガ廻ルノデ、斯ウ云フコトハ何ダカ理屈ヲ捏ネルヤウデアリマスガ、少シ突掛ツテ見タイヤウナ氣分ガ致スノデアリマス、政府ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○小金政府委員 ソレハ鑛業法第二十三條ヲ一ツ十分御諒承願ヒタイノデアリマス、鑛業法第二十三條ニハ「探掘出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル鑛物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ、鑛業權者ガ試掘權ヲ持ツタ以上ハ、試掘スルト云フコトハ所有權ト離レタ排他的權利デアル以上當然デアリマスルノミナラズ、法ノ精神ハ官廳ガ自ら先シテ調査シテ此處ヲ掘レ、彼處ヲ掘レト云フコトハ到底ハ不可能デアリマス、サウ云フヤウナコトモ十分豫見シテ、鑛業權ノ内容トシテ、殊ニ是ガ探掘權ヲ設定セ

開發ガ目的ナカ、ヤハリ税金ナラバ一寸デモ納メナケレバ鑛業權ヲ取消ス、開發シナケレバ默認シタ舊來ノ時代カラ、新シク開發シナケレバナライト云フコトニ今日モツト重點ヲ置イテ考ヘナケレバナライナデハナイカ、ソレニハ寧ロ生産費ヲ引下ゲル點モアリマスケレシ、又四年ニシテ一番弊害ノアリマスケルノハ、委員會デモ反對ノアリマシタ要點ハ、結局ハ新シク開發シ、新シク新山ヲ發見スルニ非常ニ不便ヲ來シハセヌカト云フコトガ、反對ノ主ナル理由デアリマス、寧ロ私ハ鑛區稅ヲ引下ゲルコトニ依ツテ其ノ不安ヲ除去シ、政府ノ目的デアル所ノ開發ヲモ期セラレルト云フコトニナレバ、兩々相立ツノデハナカラウカ、僅カノ地下埋藏物ヲ出スト云フノデアリマス

○櫻井委員長 高橋壽太郎君
○高橋委員 今大藏大臣ニ對スル質問應答ガ間ヘ入リマシタノデ、私ノ鑛產局長ニ對スル質問ハ腰ガ折レタヤウナコトデアリマシタガ、質問ヲ再興致シマス、鑛業法第三十七條ノコトデ伺ツタノデアリマスガ、政府ノ方デハ手ガ廻ラナイカラ探掘ニ適スルト認メタモノニ探掘願ヲ出セト云フヤウナ指令ハ實際上ヤレナイノデ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、政府ハ手ガ廻ラナイガ、民間ノ方ハ手ガ廻ツテ居ルノデ、試掘ガ出來ルノデ、斯ウ云フヤウナ皮肉モ言ヒタクナルノデアリマスガ、政府ノ力デスラモ手ガ廻ラナイノデ、民間ノ方ハ手ガ廻ルノデ、斯ウ云フコトハ何ダカ理屈ヲ捏ネルヤウデアリマスガ、少シ突掛ツテ見タイヤウナ氣分ガ致スノデアリマス、政府ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○小金政府委員 ソレハ鑛業法第二十三條ヲ一ツ十分御諒承願ヒタイノデアリマス、鑛業法第二十三條ニハ「探掘出願人ハ出願地ニ其ノ探掘セムトスル鑛物ノ存在スルコトヲ證明スヘシ、鑛業權者ガ試掘權ヲ持ツタ以上ハ、試掘スルト云フコトハ所有權ト離レタ排他的權利デアル以上當然デアリマスルノミナラズ、法ノ精神ハ官廳ガ自ら先シテ調査シテ此處ヲ掘レ、彼處ヲ掘レト云フコトハ到底ハ不可能デアリマス、サウ云フヤウナコトモ十分豫見シテ、鑛業權ノ内容トシテ、殊ニ是ガ探掘權ヲ設定セ

トスル場合ニ於キマシテハ鑛業權者、即チ試掘權者或ハ探掘ヲ出願シテ居ル出願人ガ、自ラノ鑛物ノ存在スルコトヲ證明スベシト云フコトヲ法律ハ義務ヲ命ジテ居ルノデアリマス、是等ノ建前カラ行キマシテ、官廳ハ勿論協力スルコトハ當然デアリマスケレドモ、斯ウ云フ風ナ趣旨、ソレカラ現狀カラ考ヘマシテ、官廳ガ手ガ廻ラヌカラ民間モ廻ラヌノハ當然ダト云フヤウナコトデ鑛業法ヲ扱ツタナラバ、到底其ノ收拾ハ付カナイト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

○高橋委員 其ノ事ハ諒承致シマシタ、次ハ第四十條、只今モ是ガ問題ニナツタノデアリマスガ、ドウモ三十七條ノ今ノ政府委員ノ御説明デモ、法文ハアルノダケレドモ適用スル機會ハマア殆ドナイト云フヤウナ話、四十條ニモ嚴メシイ規定ガアツテ、條文ダケハ極メテ嚴肅ナモノデアリマス、即チ「鑛業權者正當ノ理由ナクシテ登錄ノ日より一箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上休業シタルトキハ主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」ト斯ウアルノデアリマ

是ハ大鑛業權者ニ取ツテハ重大ナコトナン
デアリマスガ、是ハ法文ノ上ニハツキリトサ
ウ云フコトノ便宜ヲ圖ツテヤルト云フコト
ガ出來ナイデ、單ナル行政官廳ノ見解ニ委
ネラレテ居ルト云フコトモ甚ダ私ハ不安ダ
ト思フ、何カ知りマセヌガ、必要ナモノハ
書イテナクテ、書イテアルモノハ一向使用
サレナイト云フノガ、鑛業法ノソコ、ココニ
散見サレルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、
政府ノ御所見ハドウデアリマスカ

○小金政府委員 此ノ四十條ノ適用ニ關シ
マシテ、左様ナ御希望ガ鑛業權者カラ澤山
アリマスレバ、ドン／＼取消スコトニ致シ
マス

ソレカラ唯私共ハ此ノ四十條ヲ迂濶ニ活
用致シマス、色々ナ弊害ガ生ジ、恐ラク
四十條ノ行政官廳ノ措置ガ正當ノ理由ヲ認
メルヤ否ヤト云フコトニ對シテ、澤山繫爭
事件トナルモノト心配致シマス、併シナガ
ラ多數ノ鑛業權者ノ要望デアラナラバ、又
其ノ方ガ鑛業開發ニ役ニ立ツト云フコトナ
ラバ、是ハ今後改メマシテ、此ノ施行方ニ
付テハ十分研究致シタイト考ヘマス

ソレカラ此ノ四十條ノ適用ハ昭和十二年
來研究シタ所ニ依リマス、之ヲ適用シテ
鑛業權ヲ取消スヨリモ、重要鑛物増産法ノ
ヤウナ規定ヲ設ケテ處理スル方ガ宜イ、又
試掘ニ關スル限りハ、試掘權ノ期限ヲ切ツ
テ、正當ノ理由ナクシテ試掘ヲシナイト云
フヤウナコトヲ成ベク減少セシメタイト云
フ趣旨デアリマス

○高橋委員 四十條ノ中ノ「登錄ノ日ヨリ一
箇年以内ニ事業ニ著手セス若ハ一箇年以上
休業シタルトキ」ト云フ法文ガアルノデアリ
マスガ、是ハ脫法的ニ時々一寸仕事ヲヤツ

テ止メルト云フヤウナコトガ出來ルノデハ
ナイカ、ソレデ此ノ法ノ適用ヲ中止サレル
ノデハナイカト解釋スル人ガアルノデス
ガ、サウ云フ點ハ心配ハナイノデアリマセ
ウカ

○小金政府委員 サウ云フ心配モナイコト
ハナイト存ジマス、唯一年以内ニ事業ニ一
寸著手シテ、又休ムト云フヤウナコトガ、
若シ各方面デ屢々行ハレルト云フコトナリ
マス、繼續シタ鑛業ノ開發ガ行ハレナイ
ト云フ缺陷モ生ズルノデ、此ノ四十條ノ取
扱ニ付キマシテハ、隨分苦心ヲシテ居ルノ
デゴザイマス

○櫻井委員 高橋君、商工大臣ガ見エラ
レマシタカラ、大臣ニ關スル質疑ヲ先ニ願
ヒタイト思ヒマス

○高橋委員 本會議ノ際ニ、鑛業法中改正
法律案ニ付テ商工大臣ニ質問ヲ申上ゲタノ
デアリマスガ、御臨席ガナカツタノデ、今
日又御伺スルノデアリマス、鑛業法ノ第十
條、第十一條ニハ、此ノ地域デハ鑛業ヲナ
スコトヲ得ズト云フ規定ガアリマス、是ハ
鑛業權ニ對スル一ツノ拘束デアリマス、所
ガ此ノ鑛業法ノ何處ヲ見マシテモ、鑛業權
ヲ保護スルト云フ意味ノ條文ガ缺ケテ居ル
ノデアリマス、最近水力電氣事業ノ發達ニ
伴ヒマシテ、可ナリ鑛區ノ中ニ水路、「トン
ネル」ヲ掘ルト云フ事態ガ頻發シテ居リマ
ス、地上ニ現ハレテ居ルモノナラマダ宜シ
イノデアリマスガ、「トンネル」ヲ鑛區ノ只中
ヘ掘ラレルト云フコトハ相當困ツタ事態デ
アリマス、鑛業法ノ命ズル所ニ依レバ、特別
ノ場合デナケレバ其ノ營造物ノ周圍、地上
地下共三十間以内ヲ掘ルコトガ出來ナイト
云フノデアリマス、殊ニ水路ノ如キハ、ウ

ツカリスルト水路ガ破レテ、水ガ坑道ノ中
ニ漏ルンデ來テ、人命ニモ係ハルコトデア
リマスカラ、是ハ三十間以内マデ掘採スル
譯ニハ行クマイト思フノデアリマス、固ヨ
リ初カラ水路ノアル所ニ鑛區ガ設定サレル
場合ハ宜イノデアリマスガ、鑛區ノアル所
ニサウ云フ水路ヲ掘ツテ來ル、此ノ頃ハ電
力國策ガ非常ニ鼻息ガ荒イノデアリマス、
ダカラ鑛業權者ガ抗議ヲ申込ミマシテモ、
自分等ハ電力國策デヤツテ居ル、唯デ坑道
ヲ掘ツテ探鑛シテヤルノデアアルカラ黙ツテ
居レト云フヤウナ次第デ、或ル半官半民ノ
大水力發電會社ノ如キハ、可ナリ所々ノ鑛
區ニ「トンネル」ヲ掘ツタケレドモ、未ダ賠
償ヲ拂ツタコトガナイト頑張ルノデアリマ
ス、其所デハ自分等ノ鑛區デ、今現ニ試
掘中ダ、サウ云フ所ニ「トンネル」ヲ掘ラレ
テハ困ルノダト言ツテモ、概ネ電力國策一
本調子デ、ソレヲ抑ヘ付ケテ居ルヤウデア
リマス、勿論產金國策、電力國策ハ兩立ヲ
圖ルベキモデアルガ、併シ兩立出來ナイ
時ニハ、ドツチガ讓ルカ、水路ノ方ハ迂曲
シテ行キマシテモ、落差ノ關係ガ變ラナケ
レバ、水路ノ用ヲナスノデアリマスガ、鑛
石ハ其ノ所在デ掘ラナケレバ、餘所ニ行ツ
テ其ノ鑛石ヲ掘ル譯ニハ行カナイ、是ハド
ウシテモ水路ノ方ガ、鑛業權ノ方ニ讓ラナ
ケレバナラスト私ハ考ヘテ居リマス、殊ニ
困ツタコトハ、斷リナシニ水路ヲ掘ツテ來
タ場合ニ、ソレニ抗議ヲ申込シテ、摺ツタ揉
ンダシテ居ル中ニ、概ネ「トンネル」ハ出來上
ツテシマフ、其ノ後ハドウナルカト云フト、
既成ノ事實デ、十一條ノ三十間以内ハ掘ルコ
トガ出來ナイト云フ條文ヲ逆ニ適用サレル、
斯ウ云フコトガ現實ニ起キテ居ル問題デアリ

マス、其ノ事柄ニ付キマシテ、本會議ニ於キ
マシテ質問申上ゲタ所ガ、ソレハ關係各省
ト緊密ナ連繫ヲ取ツテ、具體的事實ニ付テ
善處スルト仰シヤラレタノデアリマスガ、
事實サウ云フ風ニ旨ク運ブノデスカ、サウ
云フ手順デ鑛業權ガ保護サレルノデアリマ
スカ、其ノ點ニ付テ多大ノ疑問ヲ持ツテ居
ルノデアリマス、之ニ對スル大臣ノ御所見
ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 高橋君ノ御尋ハ御尤モデ
アリマスガ、是ハ既ニ鑛區トナツテ居リマ
ス所ノ土地ニ、他ノ公益事業、例ヘバ鐵道、
水力電氣等ノ「トンネル」又ハ水路ノ如キモ
ノヲ建設セントスル場合ニハ、是等ノ事業
ト鑛業トノ間ニ、即チ鑛區トナツテ居ル鑛
業トノ間ニ、相互ニ妨害ヲ生ズルト云フコ
トハ、只今御指摘ニナリマシタ通りニ、往
往其ノ事實ガアリマスルコトハ、政府ニ於
テモ認メテ居リマス、併シ斯ウ云フ場合ニ
於キマシテ、鑛業權者ガ、即チ鑛區ノ所有
主ノ方ガ、土地ノ掘鑿ニ付テ常ニヨリ優先
的ニ權利ヲ有スルモノデアルトモ斷定致シ
難ク、又水力電氣鐵道ガ、公益事業トシ
テ常ニ鑛業ニ優越スルモノデアルトモ斷定
出來ナイト云フノガ今日ノ狀態デゴザイマ
ス、鑛業モ、水力電氣モ、鐵道モ何レモ國
家ノ重要ノ産業デアリマスカラ、結局ハ其
ノ個々ノ具體的の場合ニ即シテ産業ノ調整
ヲ圖ルト云フコトシカ今日ノ所デハ致シ方
ガナイノデゴザイマス、隨デ此ノ點ニ關シ
マシテハ、ソレ／＼監督官廳ノ間ニ於キマ
シテ、緊密ナル連絡ヲ保ツテ、以テ其ノ問
題ノ發生防止並ニ解決ニ努メルコトニ致ス
ト云フコトヨリ外ニ致シ方ノナイヤウニ存
ジテ居ル次第デゴザイマス

○高橋委員 大臣ノ御答ハ先日本會議ニ於テ政府委員ヨリ御答辯下サレタモノト大同小異デアリマス、何等大臣ニ伺ツテ得ル所ガナカツタコトヲ遺憾ト致シマス、唯何レモ國家事業デ甲乙ガナイノダ、斯ウ仰セラレノデアリマスガ、ソレハ先ニ鑛區ヲ設定スルナリ、或ハ鑛道ヲ敷設スルナリノ既定ノ事實ニ基イテデナク、唯抽象的ニドレモ是モ大事ナンド、斯ウ云フ御話ナンド、モウ片方ノ方ガ仕事ヲ始メテ居ルノヲ、横カラ入ツテ來テ其ノ仕事ニ妨害ヲ與ヘテ、ソレデモ甲乙ガナイノダ、何レモ他ニ優越スベキモノデハナイノダ、私ハ斯ウ云フ風ニハ行クマイト思フノデアリマスガ、其ノ點ハドウ御解釋ニナリマスカ

○藤原國務大臣 只今御話ノヤウニ、既ニ坑道ガ出來テ居ルモノヲ、他ヨリソレニ妨害支障ヲ來スト云フヤウナコトハ常識カラ考ヘマシテアルベカラザルコト考ヘマスガ、サウ云フヤウナコトニ付キマシテハ、ヤハリ具體的ノ事實ニ付テ判定スルスト云フコトヨリ外ニ、御答辯申上ゲルコトハ困難デハナイカト考ヘテ居リマス

○高橋委員 色々ナコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、ドウ云フ被害ガアルカト云フコトヲ一寸申上ゲテ見タイト思ヒマス、長サ百間ノ鑛道ヲ掘ルトスル、其ノ周圍三十間以內ハ普通ニ鑛業ヲ爲スコトヲ禁ジラレテ居ルノデアリマス、サウ致シマス、長サ百間、直徑六十間ノ長イ圓筒形ト云ヒマスカ、ソレノ土石ハ、土石ノ比重ヲ三ト致シマシテ、十七万噸ノ計算ニナルノデアリマス、十七万噸ノ土石ノ中ニ百分ノ一鑛石ガアツタト致シマシテモ、千七百噸ノ鑛石デアリマス、之ニ十瓦平均ノ含金率デアツタ

ト致シマシテモ、一万七千瓦、十七噸ノ金ヲ含ムノデアリマス、其ノ價格ハ約一瓦三圓八十錢ト致シマシテ、六万五千圓位ニ達スル相當ノモノデアリマス、又ソレダケノ容積ガ掘レナイト云フバカリデハアリマセヌ、其處ニサウ云フ大キナ立入禁止區域ガ出來マス、鑛業上非常ナ障礙ヲ受ケマス、其ノ下ヲ潜ルカ、其ノ上ヲ這フカ、殊ニ大量ノ鑛石ヲ運ビ出ス時ニハ、豫想外ナ妨害ヲ受ケルト考ヘナケレバナラス、斯ウ云フコトヲサレルト云フコトハ、鑛業權者ニ取ツテハ非常ナ打撃ナンドデアリマス、今日ノ重要鑛物増産ノ見地カラシテ、是ハ其ノ場其ノ場デ事情ヲ見テヤルヨリ外ナイト云フ、一定ノ御方針モ立ツテ居ラズ、鑛業權保護ノ規定モナイト云フコトハ鑛業法改正ノ御趣意ニモ私ハ當ルマイト思フノデアリマス、次ニ憂ヘラレルコトハ、鑛業權ノ試掘ヲ採掘ニ直スカ、或ハ現行鑛業法ノ試掘權制度ニ於テ、更ニ再願ヲ許サレルト云フヤウナ場合ニ、必ズ此ノ鑛道ノ營造物ニ妨害ヲ與ヘナイヤウニセヨト云フ條件ガ附ケラレテ來ル、斯ウナツテ來マス、水力電氣業者ハ何モ構ハズニ鑛區ヲ蹂躪シテモ、一定ノ期間ヲ經過サヘスレバ自分等ガ勝ニナル、斯ウ云フ結論ニナツテ來ルノデス、鑛業法改正ノ趣旨ニ鑑ミテ、鑛業權ノ確保ト云フコトハ一段ノ御留意ヲ願ヒタイト思ヒマスカ

○藤原國務大臣 具體的ノ問題デゴザイマスノデ、政府委員カラ御答辯ヲ致シタイト思ヒマス

○小金政府委員 只今御指摘ニナリマシタ水力電氣ノ水路ト鑛區ノ關係、茲ニ其ノ含有鑛物トニ付テ、事實問題ノヤウナモノヲ御指摘ニナリマシタガ、是ガ幾ラアルカラ水路ト引換ヘテト云フ問題ニナリマスト、中々容易ナラス問題デアリマシテ、各具體的ノ場合ニ付テ解決スルヨリ外ナイト云フコトハ、只今大臣ガ御答辯ナサレマシタ通りニ私共モ考ヘテ居リマス、鑛業法ヲ改正致シマシテ、試掘權ヲ四年デ打切ル、四年經ツタ後ニ試掘權ヲ更メテ設定シタ場合ニ、水路ヲ持ツモノトカ、鑛道ヲ持ツモノガ強クナルト云フコトハ考ヘラレマセヌ、現在ニ於キマシテモ、二年デ試掘權ハ完全ニ打切ラレルノデアリマス、唯三十三條ノ二ガアルカラ、新ナル鑛業權ヲ發生セシムルケレドモ、其ノ他ノ出願權ガ認めラレルト云フコトダケデアリマシテ、鑛業權ノ性質ハ現在ニ於テ二年毎ニ完全ニ違フノデアリマスカラ、其ノ間ノ問題ハ現在ノ四年ニナツタ方ガ倍ダケ期間ガ長クナルト云フコトニ相成ルノデアリマス、又第十一條ノ規定ニ三十間以內ノ場所ニ於テハ云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ承諾ヲ得レバ鑛業ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマシテ、絕對禁止デハアリマセヌカラ、是等ノ事ニ付テ具體的ノ場合ニハ、鑛產關係ノ官廳ハ出來ルダケ其ノ場合ニ付キマシテ鑛業權者ヲ御支援——ト言フト語弊ガアリマスガ、鑛業ヲ開發スルト云フ立場カラ立向ツテ居ルノデアリマス、不幸ニシテ力ガ弱イ場合ガアルト云フコトヲ御認定ニナルコトガアルカモ知レマセヌガ、是ハ吾々トシテモ出來ルダケ今後モヤリ積リデアリマス

○櫻井委員長 高橋君、大臣ニ對スル質疑ガ御濟ミニナリマシタナラバ、依光君カラ大臣ニ對スル質疑ガアリマスカラ御譲リ願ヒマス

○高橋委員 モウ一寸——今三十間云々ト云フコトガアリマシタガ、水路ハ餘リコツチカラ切込デ行ツテハコツチガ危イカラ、餘リ距離ヲ詰メルコトハイケナイト思ヒマス、ソレカラ今鑛產局長カラ御話ノヤウニ、試掘權ハ二年乃至四年デ以テ新ニナルノダ、ダカラ次ノ採掘ニ移ル場合何カノ時ニ條件ヲ付ケラレテモ已ムヲ得ナイノダ、斯ウ云フヤウナ御話デハ、是ハモウ鑛業權ハ蹂躪シタツテ一向構ハナイコトニナツテ來ルノデス、ソレデ一體重要鑛物増産ノ目的ヲ達スルカ否カ、私ハ多大ナ疑問ヲ存スルト思ヒマス

次ニ伺ヒタイコトハ具體的ノ事實トシテ斯ウ云フ問題ガ起キタ時分ニハ、一體何處ヘドウ云フヤウナ筋道ヲ通ツテ御願スレバ鑛業權確保ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルモノデセウカ

○小金政府委員 是ハ鑛業權者ノ方カラハ鑛山監督局長ニ御申出ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シナガラ鑛業權者ト雖モ直接ニ鑛道、或ハ道路、運河、水路ト云フヤウナモノヲ管轄スル官廳ニ意思表示ヲ御願致シタイト思ヒマス、尙ホ私ハ鑛業權ヲ禁止シテ宜イト云フコトハ毛頭申シテ居リマセヌカラ、其ノ點ハハツキリ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○櫻井委員長 高橋君、大臣ニ對スル御質疑ヲ願ヒマス

○高橋委員 今度ハ大臣ニ對スル質問デス——今ノ件ハ實際問題トシテ諸所ニ見聞サレマスカラ、一ツ御研究ノ程ヲ御願シテ置キマス

更ニ大臣ニ伺ヒタイコトハ、先程一寸關

聯シタ問題デ鑛産局長マデ申上ゲテ置イタ
ノデアリマスガ、商工省ノ鑛産局ニ對スル
豫算ハ未ダ甚ダ不十分デアル、是ハ大臣ニ
篤ト御聽取リヲ願ヒタイト思ヒマス、ト申
シマスノハ、私が釋迦ニ説法スルマデモナ
ク、物動計畫ノ最モ重要ナ部分ハ金屬類デ
アリ、其ノ金屬類ノ生産ヲ國內デウント増
加スルコトガ極メテ必要ナデアリマス、
ソレニ對シテ千數百萬圓ノ鑛産關係ノ豫算
ハ餘リニ心細過ギル、物動計畫ノ重荷ヲ背
負フノハ此ノ柱ハ餘リニ小サ過ギルト私
共ハ考ヘマス、鑛産局長ハ過般ノ本委員會
ニ於テ、是デモ昔カラ見レバ大分豫算ガ殖
エタノダ、斯ウ仰セラレマシタ、ソレハ私
共モ能ク其ノ事情ヲ知ツテ居リマシテ、是
マデニ擴大強化シテ來ラレマシタ鑛産局長
其ノ他事務當局ノ御苦心ノ程ハ洵ニ敬意ヲ
表スルノデアリマス、併シ之ヲ國家的見地
カラ見レバ私ハ餘リニ心細イコトデハナイ
カ、斯ウ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、
軍部ノ豫算ハ一千万圓カ一億圓カガ單位ニ
ナツテ居ルカニ感ゼラレルノデアリマスガ、商
工省ノ豫算ハ恐ラク一萬圓カ十萬圓カガ「ユ
ニット」ニナツテ居リハセスカト感ゼラレ
ル、是ハドウモ貧乏時代ヲヤツテ來ラレマ
シタ鑛産局長ニハ兎角昔ノ思ヒ出ガ殘ツ
テ、昔ヲ忘レナイト云フ床シイ御心掛ガ
アルト思ヒマスケレドモ、今日ノ時代ニ處
スルニハ、スツカリ額ヲ洗ツテ出直サナケ
レバナラスト考ヘマス、此ノ點ハ一ツ商工
大臣ニ能ク御含ミヲ願ヒタイト存ジマス、
ソレニ付テ今度ノ鑛業法ノ改正ニ伴ツテ私
共ノ不滿ニ感ズルノハ、民間ト協力シテ何
トカ重要鑛物増産計畫ノ基礎的數字ヲ發見
シタイトマデカシンデ居ラレルケレドモ、法

文ノ上ニハサウ云フコトガ見エデモ、今申
シマシタヤウナ貧弱ナ豫算デハ、ドウモ名
實相伴ハナイヤウナ嫌ヒガアリマス、先程
モ大藏大臣ニ申上ゲマシタガ、大藏省ハ産
金獎勵ノ爲ニ今マデ數箇年ニ互ツテ五千萬
圓ヲ限度トシテ、金資金特別會計カラ支出
スルコトニナツテ居ル、ソレヲ今度二億圓
ニ増額サレタノデアリマスガ、商工省ノ豫
算ニハサウ云フヤウナ飛躍的ナ數字ハ認め
ラレナイノデアリマス、私ノ全ク遺憾トス
ル所デアリマス、殊ニ政府當局ハ口ヲ開ケ
バ國家機關、或ハ國家的機關ト言ハレル、詰
リ日本産金振興會社トカ帝國鑛業開發會社
ヲ指サレルノダト思ヒマスガ、是等ノ機關モ
ドウモ極メテ不十分デアル、鑛産局長ハ常
ニ之ヲ避難所トシテ此處へ逃込マレルヤウ
デアリマスケレドモ、其ノ正體ヲ洗ツテ見
マスト、其ノ金額モ甚ダ小サイ、一方資本金五
千万圓、一方ハ三千万圓而モ之ニ對スル政
府ノ損失補償額ハ日本産金振興會社ニ對シ
テハ十五年度豫算ニ於テ百五十一萬圓、此
ノ補償ハ何カト申シマス、日本産金振興
會社ノ營業目的、即チ日本産金振興會社定
款ノ第三十二條ニ六項目バカリ項目ガ擧ゲ
テアルノデアリマスガ、其ノ中ノ僅ニ一項
目ダケニ限ラレテ補償シテ居ラレル、即チ
日本産金振興會社ガ直營シテ居ル金ノ製鍊
業ニ對スル補償デアリマス、探鑛、選鑛ハ
勿論其他ノ各營業項目ニ對シテハ政府ノ
補償ガナイ、而モ日本産金振興會社法ノ第
二十五條ヲ見マスト、「政府ハ日本産金振興
株式會社ノ業務ニ關シ監督上又ハ産金事業
ノ振興上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得、前
項ノ規定ニ依リ産金事業ノ振興上必要ナル
命令ヲ爲シタルトキハ政府ハ勅令ノ定ムル

所ニ依リ之ニ因リ、生ジタル損失ヲ補償ス」
斯ウ云フヤウナ廣義ニ解釋スレバ幾ラデモ
大キク解釋セラレルヤウナ法ノ條文ガアル
ニ拘ラズ、政府ハ何ヲ好シデカ其ノ一局部
ダケノ補償シカシテ居ラレナイノデアリマ
ス、私は是デハ増産ノ目的ヲ達スル譯ニ行
カナイ、私共ガ政府當局ニ御願スルコトハ、
紙幣束デ以テ金ヲ掘レト云フコトデアリマ
ス、是ハ實業家出デアラレル商工大臣モ御
共鳴下サルコトト思フノデアリマスガ、其
ノ趣意ガ未ダニ徹底シナイノデス、殊ニ日
本産金振興會社法ナドハ事變前ニ立案サレ
タモノナノデアリマスカラ、是ハモウ出直
サナレケバナラスト時期ニ達シテ居ルニ拘ラ
ズ、舊態依然、之ニコビリ付イテ居ラレル
形ガアル、殊ニ帝國鑛業開發會社ノ如キ
ハ、資本金ガ少イカラ、鐵ト石炭ハ暫ク除
外シヨウ、朝鮮、臺灣ノヤウナ外地ハ問題
外ニシヨウト云フヤウナ、極メテ縮小シナ
ケレバナラストヤウナ形ニナツテ來タノデア
リマス、今日ノ時代ニ於テ、ソナコトガ
許サレルカ許サレナイカ、ソレハ鐵飢饉、
石炭飢饉ヲ痛切ニ體驗セラレマシタ商工大
臣ハ、私ノ説ニ御共鳴下サルコトト思ヒマ
ス、ドウシテモ是等ノ特殊會社ヲ擴大強化
シテ大イニ重要鑛物ノ増産ヲ圖ラナケレバ
ナラヌノデアリマス、モウ一ツノ點ハ、是
等ノ會社ハ片方ハ産金ヲ主トシ、片方ハ金
以外ノ鑛物ヲ主トシテ居ルノデアリマスガ、
ドンナ金鑛石ト雖モ、大抵ハ外ノ金屬ヲ混
ヘテ居リマス、金バカリ掘ルト云フ譯ニハ
イカヌノデアリマス、謂ハハ不可分ナノデ
アリマス、早イ話ガ乾式製鍊ニ依リ銅ノ製
鍊所カラ最モ多量ノ金ヲ產出スルノデアリ
マス、不可分ナモノヲ二ツノ會社ニシテ別

居サシテ置クト云フコトハ、私ハ策ノ得タ
ルモノデハナイト思フノデアリマス、此ノ
際兩會社ヲ合併シテ、二億三億ノ大會社ヲ
設立シテ、今日ノ重要鑛物増産ヲ企圖セラ
レルト云フコトハ、恐ラク鑛業法改正ノ御
趣旨ニ副フノデハナイカト思フ、此ノ點ヲ
篤ト大臣カラ承リタイノデアリマス
○藤原國務大臣 高橋君ノ御述ニナリマシ
タ第一ノ點ハ、商工省ハ色々今日ノ時勢ニ
伴ツテ鑛山ニ對スル施設ガ非常ニ多イニモ
拘ラズ、其ノ豫算ヲ眺メテ見レバ舊態依然
トシテ居ル、是デハ此ノ時勢ニ相應シクナ
イデハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデア
リマシタ、其ノ御趣旨ニ付テハ御尤モト存
ジテ居リマスルカラ、是ハ他ノ一般ノ諸政
策ト睨ミ合セマシテ、成ベク御希望ニ副フ
ヤウニ致シタイト存ジテ居リマス
其ノ次ニハ日本産金振興株式會社及帝國
鑛業開發株式會社ノ如キモノモ折角拵ヘタ
ケレドモ、マダ十分ニ活動シテ居ラナイ、今
日ノ時勢ニ相應ハシイ活躍シテ居ラヌデ
ハナイカ、是モ亦如何ニモ御尤モノコトト存
ジマス、色々ナ事情ノ爲ニ只今御指摘ニナツ
タヤウナ狀態ニ居ルコトハ政府ニ於テモ遺
憾ト考ヘテハ居リマスガ、兎モ角モ是ハ最初
ノ創立ノ目的ニ副フヤウニ色々ノ方面カラ
之ヲ擴大強化シテ、サウシテ兩會社共ニモ
ウ少シ活躍シテ、會社設立ノ目的ヲ達スル
ヤウニ努力致シタイト存ジテ居リマス、唯
今日ノ儘デ、政府ハ之ヲ眺メテ打棄ツテ、
自然ノ成行ニ任セテ居ルト云フヤウナ積リ
ハ毛頭ナイノデアリマスケレドモ、併シ又
一方カラ御考ニナレバ、マダ少シ物足りヌ
ヤウニ思フカラ、モウ少シ力ヲ入レテヤツ
タラドウカ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデアリ

マスガ、其ノ點ニ付テハ全ク御考ノ通りデアリマスカラ、精々鞭撻シテ、又工夫ヲ凝ラシテ、サウシテ擴充強化スルコトニ相努メマスル積リデ居リマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ兩會社ヲ合併スルト云フコトハドウダト云フ御話デアリマシタ、是ハ一應御尤モデアリマスカ、合併スレバ直チニ非常ニ好成績ヲ擧ゲルモノカドウカ、或ハ合併シナイデモモウ少シ努力ノ仕様ニ依ツテハ目付達スルコトガ出來ルデハナイカトモ考ヘラレルシ、旁々未ダ今日ノ所デハ政府ニ於テハ之ヲ合併スルト云フ考ニハナツテ居リマセスカラ、今後ノ問題トシテ研究致シタイト思ツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○高橋委員 次ハ鐵ノ關係デアリマス、今日ノ日本ノ製鐵事業ハ殆ド原料ヲ外國ニ依存シテ居リマス、是ガ銅ヤ錫鉛ノヤウナ目方ニシテモ知レタモノナラバ宜シイノデアリマスカレドモ、數百萬噸ト云フ大重量ノモノデアリマス、隨テ戰時ニナツテ來マスト云フト船腹ノ關係ハ固ヨリ、是ガ遙々ト海ヲ越エテ、殊ニ北九州ノアノ潛水艦ノ活動スルノニ極メテ適シテ居ルヤウナ海面ヲ通ツテ製鐵所マデ運ビ込マレカドウカト云フコトヲ考ヘマスト、日本ノ戰時ニ於ケル急所弱點ハソコニアルト申シテモ私ハ過言デハナイト思フ、然ルニ我國ノ製鐵會社ハ——是ハ色々ノ關係モアリマセウガ——多量ニ同種目ノ鐵石ヲ廉價ニ入レルト云フヤウナ計算ヲ主トシテ之ヲ海外ニ仰ギ、チツトモ内地ノ鐵礦山ヲ開發スルト云フコトニ努力ヲシナイノデアリマス、固ヨリ内地ニハサウ有望ナ大キナ鐵山ハアリマセス、アリマセスガ貧瘠ヲ處理致シマスレバ、或

砂鐵ノ製鍊ヲ十分ニ仕上ゲマスレバ、私ハ戰時非常ノ場合ニ處スルコトモ出來ルト思フ、日本ニ備ヘガアレバ外國モ敢テ日本ノ急所ヲ衝カウトハスマイト思フノデアリマス、備ヘガナケレバコソ經濟封鎖ト云フコトニ脅エルノデアリマス、ソレハ製鐵所ニハ何百萬噸ノ積置ハアリマセウケレドモ、サウ云フモノハイザトナレバ忽チニシテ消耗シ盡スノデアリマス、此ノ際ニ内地ノ鐵山ヲ開發シテ、所謂今度企圖セラレマス重要礦物増産ノ基礎ノ條件ヲ調ベ置クト云フ點カラ申シマシテモ、内地ノ鐵山ヲ開發シ、或ハ貧瘠ノ處理ヲ研究スルト云フコトガ、我國製鐵事業ノ根本デハナカラウカト思フノデアリマス、然ルニ從來日本製鐵會社ノヤリ方ヲ見マスト、殆ドサウ云フ所ニハ重キヲ置カナイ、内地ニアル鐵山ナドヲ紹介シテモ、ソシテ小サナモノハ日鐵ノ目標ニハナラナイト云フノデ、之ヲ無下ニ撥付ケル、併シ茲ニ一千噸ノ鐵石ガアルトスレバ、價額二億圓、金デソレガ支拂ハレルト云フノデアラナラバ、是ハ爲替對策ノ上ニモ容易ナラザルモノデアリマス、私ハ日鐵會社ノ幹部ト云フモノハ、對外爲替ノ關係ガドウナツテ居ルカト云フヤウナコトニ對シテハ、殆ド考慮ニ入レテ居ナイノデハナイカト思フ、此ノ點ニ付テ一先ヅ大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○藤原國務大臣 鐵ヲ米國ニ依存シテ、今日ノ如ク大量ノ「スクラップ」ヲ日本ニ輸入シナケレバ日本ノ製鐵會社間ニ合ハナイト云フヤウナ狀況ノ儘デ推移シテ行クト云フコトハ、洵ニ遺憾ナコトデアリマス、尙又成ベク我が日本ノ内地、又ハ外地、滿洲、支那ト云フヤウナ方面ニ於キマシテ、假令比

較的品質ノ劣等ナ、品位ノ低イ鐵石ト雖モ、サウ云フモノガアリマスカラバ、サウ云フモノニ依ツテ我國ノ製鐵事業ノ獨立ヲ圖ルト云フコトノ必要ナコトハ、高橋君ノ只今御述ベニナリマシタ通りデアリマス、ドウシテモ前途ニ於テハサウ云フ方針ヲ確立シテ行カケレバナルマイルト存ジテ居リマスガ、今日ノ現狀ニ於キマシテモ、漸次サウ云フ方針ニ向ツテハ居ルノデアリマシテ、政府モサウ云フ方針ニ努メテ居ルノデモアリマス、又日本製鐵會社ニ於キマシテモ、サウ云フヤウナ方針ヲ以テ進ンデ居ルノデアリマスカレドモ、未ダ高橋君ノ御満足ニナルヤウナ所マデ其ノ方針ガ遂行シテ居ラレナイ現狀デアルト存ジマス、ソレニ付キマシテハ色々ナ問題ガ重ツテ居リマスカラ、今直チニ何ト云フコトヲ茲ニ明確ニ御答ハ出來兼ネマスガ、兎ニ角大體ノ見當ハソコニ置イテ、國內ノ最も重要ナ政策デアリマスカラ、サウ云フ方針ニ進ミツツアル、又サウ云フコトニ努力ヲシテ居ルノデアルケレドモ、實際ニ於テハマダ御満足ノ行クヤウニハナツテ居ラナイガ、併シ其ノ方針デハアルト云フコトヲドウゾ御諒察ヲ願ヒタイト存ジマス

○高橋委員 今大臣ノ御答辯ノ中ニ「スクラップ」ダケノ御話デアリマシタガ、「スクラップ」ノ何倍カノ大量ナ鐵礦石ガ來ルコトヲ御落シニナツタカト思ヒマス、ソレカラ研究ト云フコトハ、八幡製鐵所時代ニハ非常ニ能クヤツテ居ラレタ、石炭液化ノ研究マデヤツテ居ラレタ、是ハ要スルニ製鐵事業ガ化學工業ノ基礎デアルト云フ意味カラ、私ハソコマデ政府事業タル時代ニハ研究サレタト思フノデス、而モ昭和八年デアリマ

シタカ、日鐵會社法ガ議會ニ提案サレマシタ時分ニ、政府委員ハ、今マデヨリモモツト研究スルノダ、試験研究ハ十分ニヤルノダト言明サレタニ拘ラズ、日鐵會社ガ出來マシテカラ、殆ド實驗研究ト云フモノヲ度外視シテ居リマス、先日政府委員カラ御提出ニナリマシタ、日鐵會社ガ出來テ以來、ドレ位ノ實驗研究ヲシタカト云フ資料ヲ拜見シマシタガ、ソレニ依ツテ見ルト、合計六七十万圓シカ使ツテ居ナイヤウニ見エル、ソレハ十倍ノ六百萬圓ニシタ所ガ、年額彼此一億萬圓モ純益ガアラウト云フ會社ガ、ソシテ實驗、研究ニ冷淡ナコトデハ、國策會社タル實ヲ擧ゲルコトハ出來マイルト私ハ思フ、貧瘠處理法ノ如キ、之ヲ態々高イ「バデント」デ買ツテ獨逸カラ輸入シナケレバナラヌト云フコトモ、是ハ日鐵會社ノ名譽デハアリマセス、私ハ毎年ノ議會デ此ノコトヲ政府當局ニ申上ゲルノデスカレドモ、一向御探上ゲガナイ、昨年議會ニ於テ帝國鐵業開發會社法案審議ノ際委員長ノ本會議ニ於ケル報告ニハ、國策會社ニシテ其ノ責ヲ果サザルモノ、例ヘバ日本製鐵會社ノ如キアルトマデ報告ニナツタノデアリマスカレドモ、ドウモ一向反應ガナイ、是ハ一ツハ恐ラクハ此處ニ居ラルル鐵鋼局長ガ彼處ノ監理官デアラレルト思ヒマスガ、ドウモ政府ノ睨ミガア云フ大會社ニナツテ來ルト一向利カヌノデハナイカ、其ノ一ツハ、彼處ノ重役ヲシテ居ラレル方ガ先輩デアリ、或ハ同僚デアル、サウ云フヤウナ關係カラ、ドウモ言ヒタイコトモ言ヘズニ濟マスト云フヤウナコトモ多分ニアルノデハナイカト思フ、是ガ、監督官廳ノ官吏タリシ人が營利會社ノ重役ニ

ナルコトハ宜シクナイト云フ議會ノ意思表示モ多分ハ茲ニ存在スルト思フノデアリマス、今日日本ハ鐵ニ乏シイト申シマシテモ、昨年はハ鑛産局長ニ實驗研究ヲ御願シテアツタノデアリマスルガ、磁硫鐵鑛ノ如キハ東北地方ニハ何千萬噸アルカ分ラナイ、是ナドノ使用法モ、研究サレタナラバ、有事ノ際ニ經濟封鎖ヲ喰ツテモ或ル時期マデ持コタヘルコトガ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ實驗研究ヲ政府ハ日鐵ニ從價シ、イケナカツタラ會社法ノ中ニアリマスル第九條ヲ適用シテ之ヲ強制スル、例ヘバ先達テ此ノ委員會デアリマシタカ、鐵鋼局長カラ、今ハ鐵鋼鑛一應ノ鐵デモ早く出サナケレバナラスノダカラ、今時分道草ヲ喰ツテソナ實驗研究ハ出來スト言ハレタノデアリマス、儲カル時分ニハ皆サウ云フ、儲カラナイ時分ニハ金ガナイト云フ、ドノ途理窟ハ付ク、是デハ私ハ日本製鐵會社ガ數億ノ資金ヲ擁シテ、國策會社シテ天下ニ君臨スル意味ヲ爲サナイト思フ、吾々ハ率直ニ申シマスガ、アノ日本製鐵會社ヲ盛立テタノハ、政府モ議會モ共ニ其ノ責ヲ負ハナケレバナラスト思フ、私ハ先年八田商工大臣ニ、日鐵會社ヲ作ツタコトヲ宜イト思ヒマスカ、惡イト思ヒマスカト詰寄リマシタ所ガ、答辯ハ出來ナイト云フ御話デアリマシタガ、何レニシロ會社法ノ本來ノ目的ヲ達成スルニハ、政府ハ餘程之ヲ督勵鞭撻サレナケレバナラナイト存ジマスガ、商工大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○藤原國務大臣 日鐵會社ニ付テノ高橋君ノ御意見ハ御尤モト存ジマス、サウ云フ憾ミモアルト存ジマス、唯此ノ日鐵會社ヲシテ益、奮勵シテ今後我國ノ國策ニ順應スルヤ

ウニ、大イニ奮發シテ大イニ飛躍ノ發展ヲ遂ゲサセルコトハ必要デアルシ、又日鐵會社モ恐ラクサウ云フ方針ヲ以テ進シデ參ルコトト存ジマス、又今日ノ時局ニ於テハ假令是ガ國策會社ダナクトモ、個人ノ會社デアツテモ、サウ云フ方針ヲ進マナクチャナラナイノデアリマスカラ、況ヤ國策會社トシテ政府ノ多大ノ庇護ヲ受ケテ今日ニ至ツテ居ル會社デアリマスルカラ、一層其ノ方面ニ努力ヲシナケバレナラナイコトト存ジマス、又政府ニ於テモ努力セシメナケレバナラスト存ジマス、就キマシテハ既ニアレダケノ大會社ヲ設立シテ、大組織ヲ持つテ參リマシタモノデアリマスカラ、之ヲ巧ク運用シテ、サウシテ巧ク發展セシメマシタナラバ、非常ニ國家ノ爲ニナルコトト信ジテ居リマスルカラ、斯ウ云フコトヲ斯ウ云フ工合ニスルト云フコトヲ明確ニ申上ゲルコトハ出來兼ネマスケレドモ、併シ出來ルダケ先ヅ努力ヲ致シテ御希望ニ副フヤウニスルト云フコトヲ御答スルヨリ外ニ御答ノ仕樣ガアリマセスカラ、ソレドウゾ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○櫻井委員長 商工大臣、研究ガ足リナイト云フ高橋君ノ指摘ガアリマシタガ、ソレニ對スル御答ヲ願ヒマス

○藤原國務大臣 政府委員ヨリ御答辯申上ゲマス

○塩谷政府委員 研究ガ大切デアルト云フコトハ、是ハ只今御話ノ通りデゴザイマス、之ニ付キマシテハ事實ヲ申上ゲマス、日本製鐵ハ八幡ニ研究所ヲ持つテ居ルノデアリマス、八幡ノ研究所ハ日鐵ニナリマシテカラ、此ノ十五年ノ九月、今年ノ秋マデニ大體四百萬圓近イモノヲ使ヒ終ルコトニナ

ツテ居リマス、研究中ノ事項ノ中先ニ資料トシテ差上ゲマシタノハ、是ハ其ノ中ノ主ナ目星イモノデアリマシテ、其ノ他ニザツト見マシテモ約四五十件ノモノガ研究項目トナツテ研究所デ研究ヲサレテ居リマス、サウシテ更ニ今後研究スベキモノトシテハ、此ノ資料ノ中ニモ書イテアリマス耐火爐材ノ製造研究デゴザイマスガ、是ハ相當金ヲ食フ研究デアリマスガ、近クソレニ著手スルコトニナツテ居リマス、今申上ゲマシタ四百萬圓近クノ研究費ト云フモノハ、是ハ唯純粹ノ研究、ドツチカト云フト學問的ノ本當ノ研究デアリマス、ソレヲ更ニ實際ニ當嵌メテ一種ノ中間試驗的ノコトニナリマスルト、會社トシマシテハ別段中間試驗工場ト云フモノヲ特ニ持つテ居リマセヌノデ、平生ノ仕事ヲシテ居ル作業場ニ於テ普通ノ仕事ヲシナガラ試驗ヲ續ケテ居ルヤウナ譯デアリマス、デアリマスカラ是ノ費用ハ一體ドノ位掛ツテ居ルカト云フコトハ現在ニ於テ區別シテ申上ゲルコトガ出來ヌヤウナ譯デアリマス、一般作業費ト一緒ニナツテ居リマス、更ニ會社トシマシテハ、研究ノ非常ニ大切デアルト云フコトヲ認メテ居リマシテ、前期ノ決算ニ於キマシテ二百萬圓ノ研究費積立金ヲ計上致シマシタ、是ハ年々毎期是ダケヅツヲ經費ノ許ス限リ積立テ行カウト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ更ニ某博士ニ委嘱シマシテ、八幡ノ研究所ダケデハ足ラヌノデ、中央研究所ヲ一ツ大キナモノヲ造ラウト云フコトデ、其ノ建設計畫、其ノ仕事ノ計畫等ヲ今頻リト作ツテ居リマス、デアリマスカラ其ノ計畫ガ完成シマシテ、愈々仕事ニ著手スルコトニナリマスレバ今ヨリモ遙ニ研究ガ行

ハレルモノト期待サレテ居リマス、更ニ——是ハ速記ヲ一寸……

○櫻井委員長 一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○櫻井委員長 デハ速記ヲ始めマス

○塩谷政府委員 尙ホ監理官トシテ——鐵鋼局長トシテ現在私自身が其ノ仕事ヲシテ居リマスガ、睨ミガ足ラヌト云フヤウナ御話デアリマスガ、私自身ノ己惚カモ知レマセヌガ、十分睨ンデ居ル積リデアリマス

〔笑聲〕ドウゾ其ノ點ハ御諒承願ヒタウゴザイマス

○櫻井委員長 一寸此ノ場合、私モ多少經驗ガアリマスカラ附加ヘテ申上ゲマスガ、大キナ組織ガ長ク續キマス、ソコニハ一ツノ個性ガ出來マス、ドチラカト云ヘバ舊慣ヲ守ツテ行キタイト云フ個性ガ出來ルヤウニ思ヒマス、私ハ八幡ノ製鐵所ニ付キマシテモ、多少サウ云フ個性ヲ出シハシナイカ、一ツ國策トシテ決ツテ、或ハ茂山ナラ茂山ノ鐵鑛ヲ開發シタイト云フ國策ニ向イテ居ルノニ、製鐵所ノ立場カラ考ヘテ不利益ダト考ヘル所ニ故障ヲ申立デルト云フヤウナコトデ、其ノ國策ガ遅延スル、會テ製鐵事業ノ合同問題ノ時ニ、茂山ノ開發ヲ早くシナケレバ有時ノ場合ニ間ニ合ハナイト云フ議論モ出タノデアリマスガ、不幸ニシテ其ノ點ガ認メラレナイデソレモ餘程遅レタヤウニ思フノデアリマス、是ハ一ツ商工大臣ハ八幡ノ製鐵所ヲ御覽ニナツテ居ルカドウカ知リマセヌガ、能ク御覽ニナリマシテ、今日ハ弊害ハナイカモ知レマセヌ、併シナガラ今高橋君ノ憂ヘラレルヤウナ點ハ確ニ注意スベキ點ダト思ヒマスカラ、十分ニ腹力ヲ以テ統制サレンコトヲ要望シタイ

ト思ヒマス

○藤原國務大臣 委員長ノ御指摘ニナリマシタコトハ私モ頗ル同感ニ存シテ居リマス、委員長ハ恐ラク其ノ言外ニ色々マダ澤山意味ヲ含シテ御話ニナツテ居ルコトト存ジマスガ、商工大臣ト致シマシテハ實ハマダハ幅ノ製鐵所ヲ見タコトモアリマセヌシ、就任勿々モアリマシテ研究致シタコトモゴザイマセヌガ、此ノ製鐵國策ニ對シテハ、ドウシテモ貧鐵ヲ處理スルト云フヤウナコト、及ビ其ノ他ノ色々ナ手段ヲ以テ他ノ外國ニ依存シナイデ、今後五年ナリ十年ナリヲ期シテ日本デ自給自足ノ域ニ達スルト云フコトダケハ是非完成致サナケレバナラナイ刻下ノ重要政策トシテ考ヘテ居ル譯デアリマスルカラ、旁、サウ云フ風ナ大局ノ上カラ今ノ御趣意ノヤウナコトヲ十分ニ研究致シタコト存ジマス、尙ホ高橋君ノ御指摘ニナリマシタ研究ニ對スルコトモ無論同時ニ色々研究致シマシテ、出來ルダケ一ツ善處ヲ致シテ見タイト存ジマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○櫻井委員長 依光好秋君

○依光委員 私人御質問申上ゲントスルコトハ只今高橋委員カラ仰シヤツタコトト略、同一デゴザイマス、主トシテ日鐵ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ見タイト思フノデゴザイマス、簡單ニ質問致シマスガ、私共

ハ昨年帝國鐵業開發會社設立ノ委員會ニ於キマシテ、先程高橋君ガ言ハレマシタル通り、委員長ノ報告ニモ附帶決議ヲ致シマシテ、日鐵會社ガ非常ニ消極的デアリ、不活潑デアツテ國策ノ線ニ沿ウテ居ナイ、今後ハ大イニ商工大臣ハ之ヲ督勵シテ國策ノ線ニ沿フベク、モウ少シ大膽ニ、放膽ニ、積極的ニ事業ヲ經營シテ貰ヒタイト云フコトヲ十分申述ベタノデゴザイマスルガ、其ノ後一年ヲ閱シタ今日、日鐵會社ノ事業成績ヲ見マスルト、私共ノ希望期待ニ副ハナイモノガ多々アルノデアリマス、先ヅ私ハ、商工大臣ハ最近御就任ナサツタノデゴザイマスカラ當時ノ事情ヲ能ク御承知ナイカモ知レナイガ、當時八田商工大臣ハ私共ノ前ニハツキリ申サレタノデアリマス、御希望ニ副フヤウニ十分ニ日鐵會社ヲ督勵スル、サウシテ積極的ニ仕事ヲサス、斯ウ云フコトヲ仰シヤツタノデゴザイマスガ、其ノ後ノ日鐵ノ狀態ヲ見テミマスルト、舊態依然タルモノガアル、只今鐵鋼局長ハ十分ノ暇ミヲ利カシテ居ル、斯ウ仰シヤツタノデアリマスガ、其ノ暇ミヲ利カシタコト云フガ、ドンナ暇ミヲ一體利カシタノデアリマスカ、ソレヲ私ハ一寸參考マデニ先ヅ伺ツテ置キタイ、一ツモ暇ミハ利イテ居ナイヤウニ思ヒマス、此ノ點ハ鐵鋼局長カラデ宜シウゴザイマス

○塩谷政府委員 私人過去六七箇月日鐵ノ監理官ヲシテ居リマスガ、相當其ノ間ニ日鐵ノ擴張事業モ順調ニ進行シテ居ル、勿論資材其ノ他ニ因ツテ制限モサレテ居リマスガ、比較的順調ニ進行シテ居ルト考ヘテ居リマス、現在出テ居リマスル製品モ可ナリ原料、動力其ノ他ニ因ツテ、鐵會社トシテハ困ツテ居ル點モアリマスガ、大體他ノ他ノト申シテハ、工合ガ悪いノデアリマスガ、大體ニ於テ今日日本ノ軍其ノ他デ利用スル所ノ鐵ノ先ヅ大部分ハ此ノ日鐵ガ現實ニ供給シテ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、相當成績ヲ擧ゲツツアル、斯ウ考ヘテ居リマス、勿論ハ理想ヲ言ヘバ限リノナイコトデアリマスガ、御承知ノヤウナ今ノ資材原料動力等ニ付テ何カト不便ノアル時代デアリマスカラ、必ズシモ私自身ニ取ツテモ理想通りニハ參ツテ居リマセヌケレドモ、先ヅ今ノ此ノ調子デ會社ガ努力スレバ、皆様ノ御期待ニ漸次ニ副ウテ行クダラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○依光委員 私人ソナコトデハ大シタ暇ミデハナイト思フ、私共ガ暇ミヲ要求スル所ノモノハ、先程高橋委員カラモ仰シヤラレマシタヤウニ、日本ニハ國策會社トシテ日本產金會社ト帝國鐵業開發會社ト二ツアルノデアアルガ、是ハ一方ハ金ノミニ依存シテ居ル、一方ノ鐵業開發會社ノ方ハ鐵ノ方ハ暫ク取扱ハヌト、斯ウ言ツタ狀態デアアル、然ラバ日本ノ鐵礦ノ開發ハ一ニ懸ツテ日鐵ノ私ハ大使命ニアルト思フ、其ノ日鐵ガ内地ノ鐵礦ニ對シテ全く無關心デアルト云フコトノ事例ヲ私ハ澤山持ツテ居ル、私ノ暇ミト云フノハ自分ノ物ヲ自分ノ手デ造ル、是ガ日鐵ノ大使命デハナイカト思フ、即チ内地ニ鐵礦ガ無いノナラバ仕方ガナイ、ソレハ印度カラ買ツテモ、露西亞カラ買ツテモ宜シイガ、内地ニハ豐富ナ鐵礦ガ澤山アルノデアリマス、ソレハ幾分カ貧鐵デアルカモ知レナイケレドモ、十分處理ノ出來ル所ノ澤山ノ鐵礦ヲ持ツテ居ルノデアアル、所ガ日鐵ハ此ノ大使命デアアル自分ノモノヲ自分デ開發スル、自分デ造ルト云フコトヲシテ居ナイ、他カラ鐵ヲ買込シテ、サウシテ外國カラ品物ヲ買フコトニばかり汲々トシテ居ル、自分ノモノヲ自分デ開發スルト云フ意思ガナイノデアアル、私ハ其ノ一例ヲ申上ゲテ見タイト思フ、私ノ郷里ハ高知縣デアアルガ、高知縣ナカニハ今マデ交通ノ關係カラ申シマシテ非常ニ不便ナ點カラ言ツテ鐵山開發ノ熱ガナカツタ、最近ニナツテ色々調査シテ見マスルト、モウ既ニ鐵鋼局長モ御承知デアラウト思ヒマスガ、非常ニ豐富ナ鐵礦脈ガアルノデアアル一昨年デゴザイマシタカ、私ハ縣ト協力シマシテ日鐵ニ向ツテ高知ノ鐵礦ヲ調査セシメタ、早速技師ガ來テ之ヲ調査シマシタ結果、相當ノ品位ノ良質ナ白鐵礦、磁鐵礦ガアルコトヲ證明サレタ、其ノ當時若シ日鐵ガ其ノ大使命ヲ痛感スルナラバ、マダ其ノ時ハ試掘權モ何モ掛ツテ居ナイ時デアリマスカラ、是ハ良イ鐵區デアルト、斯ウ感じタナラバ、直チニ日鐵自體ガ出願ヲシテ何十鐵區デモ取レタノデアリマス、所ガ歸ツテカラノ報告ニ依ルト、其ノ調査シタ技師ハ非常ニ有利ナ報告ヲシタニ拘ラズ、金持喧嘩セズト云フヤウナ態度ヲ執ツテ、日鐵ハ之ニ對シテ非常ニ無關心ナ態度デアツタ、冷淡デアツタ鐵量ガ果シテドレダケアルカ、品位ガドレダケアルカト云フ見込ガ十分ニ付カナイト言ツテ手ヲ拱イテ居ル間ニ、裏カラ廻ツテ神戶製鐵ガ其ノ場所ヲスツカリ買収シテシマツテ、サウシテ三十何鐵區ト云フ廣大ナル地域ヲ出願シタ事實ガアル、此ノ鐵脈ハ御承知ノ通り石槌山脈ニ連綿トシテ連ツテ居ル所ノ一大鐵礦脈デアリマス、最近ニナツテ私ハ軍部方面カラ承リマス、軍ノ方デモ此ノ石槌山

鑛脈ニ付テハ非常ナ食指ヲ動カシテ居ル、非常ニ期待ヲ掛ケテ居ラレニモ拘ラズ、日鐵ハ一鑛區モ出願ヲシテ居ナイ、是ハ確ナ事實デアリマス、サウシテ他ノ民間會社ニ斯ウ云ツタ豐富ナ鑛地ノ地域ヲ全部出願サレテシマツタ、是ハ一體何ヲ物語ルモノデアラウカ、私ハ積極的ナ態度ニ出テ居ナイ、ノミナラズ良イ意味カラ申シマスルト、穩健主義、形式主義デアリマスルガ、私共ニ言ハセレバ是ハ怠慢、放漫主義デアアル、勇氣ノナイヤリ方ヲ始終繰返シテ居ラレノデアリマス、只今商工大臣ノ御答ノ中ニ、外國ニ依存セズシテ自給自足ノ途ヲ圖ツテ行キタイ、ソレニハ日鐵ヲ大イニ督勵スルト云フコトヲ仰シヤツタガ、全ク其ノ通りデアアル、其ノ通りナラバ、何故ニ日鐵ヲシテ内地ノ鑛鑛開發ニ當ラシメナイノデアアルカ、所謂睨ミヲ何故ソコニ利カサヌノデアアルカ、是ガ私ハ非常ニ商工省當局ハ怠慢デアルト思フノデアリマス、研究ハ澤山ナサツテ居ルニ違ヒナイ、併シナガラ幾等研究ヲシテモ、物ヲ外國カラ買フ研究デハ私共ハ満足ガ出來ナイノデアアル、研究ヲスル傍、此ノ研究ニハ是ダケノ鑛石ヲ要スル、此ノ鑛石ハ何處カラ求メルト云フコトノ成算ガナクテハ、其ノ研究ハ役立たヌノデアアル、内地ノ中ニ澤山ノ鑛鑛ノ豐富ナモノガアルニ拘ラズ、日鐵ハ之ニ手ヲ著ケテ居ナイ、此ノ點ニ付テ商工大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居ルカサウ云フ憾ミガアルト思フト仰シヤルノデアアルガ、アルト思フノデハ困ルノデアアル、アルナラバ何故其ノ憾ミヲ匡サナイノデアアルカ、何故一日モ早く此ノ時局ノ波ニ乗ツテ、日鐵ヲシテサウ云ツタ國策ノ線ニ沿ウタ積極的ナ仕事ニ

掛ラセヌノデアアルカ、當然是ハ政府ハ獎勵監督シテ、此ノ會社ノ大使命ヲ伸バサナケレバナラス時局ニ到達シテ居ルニ拘ラズ其ノ事ガナイ、私ハ唯監督ノ睨ミナント云フコトデハ駄目ダ、斯ウ云フコトヲ何故ヤラヌカト言ツテ強ク出ルコトガ商工大臣ノ責任デアルト思フ、果シテ商工大臣ハ日鐵ニ對シテ強イ意味ノ督勵ヲナサツタ事實ガアルカドウカ、此ノ點ヲモウ一度御伺シタイノデアリマス。

○藤原國務大臣 依光君ノ御尋ハ御尤モデゴザイマスガ、此ノ我國ノ製鐵業ヲ外國ニ依存シナイデ今後絶對獨立ノ地位ニ置カナケレバナラナイト云フコトハ、諸般ノ外交政策ヲ變化ト伴ツテ、今日ニ於テハ痛切ニサウ云フ風ニ感ズルヤウニ相成ツタノデアリマス、是ハ對米ノ外交其ノ他ニ付テ斯ウ云フ工合ニナツテ參リマシタコトハ、依光君ニ於テモ能ク御承知ノ通りデアラウト存ジマス、當初外交問題ガ斯ノ如ク切迫シテ參リマセヌ時代ニ於テハ、從來ノヤウナ方針ヲ以テ各方面カラ材料ヲ取寄セテ、サウシテ我國ニ於テ製鐵事業ヲ獨立セシムルト云フコトデモ、マダ宜カツタノデアリマスガ、昨今ノ如キ外交狀態ニ相成リマシテハ、其ノ主義ヲ多少變更シテ參ラナケレバナラヌト云フコトニ相成ツタコトト存ジテ居リマス、ソレ故ニ製鐵事業ノ獨立ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ、今マデ日鐵ガ考ヘテ居ツタコトハ、今日ノ外交ノ狀態、世界ノ色々ナ情勢ヲ考ヘマス、製鐵事業ノ獨立ト云フモノニ付テハ、多少ノ意味ガ違ツテ居ルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ日鐵ノ方針モ段々ニ變化シテ、今マデノヤウニ海外ニ其ノ材料ヲ依存スルト云フヤウナコトノ考ヲナクシテ、

サウシテ極力國內ノ、若クハ圓「ブロック」ト申シマスカ、我ガ勢力範圍以內ニ於テ、其ノ材料ノ間ニ合フヤウナ狹義ノ獨立政策ト云フモノヲ執ラナケレバナラヌト云フノガ、今日ノ情勢デアアルノデアリマス、ソコデサウ云フ工合ニ變化シテ參リマシタカラ、今之ヲ眺メテ見ルト如何ニモ今日マデノ日鐵ノヤリ方ガマヌルイヤウニナツテ、

既往ヲ振返ツテ見ルト、如何ニモマヌルイヤウニ御感ジナルノハ御尤モデアリマス、日鐵トシテハ相當ニ勉強シテ居ルデセウケレドモ、ハタカラ御覽ニナレバマヌルイデハナイカ、斯ウ云フヤウニ御考ニナルコトハ御尤モデアツテ、詰リ今後ニ於テ大イニ新シイ國策ニ副ウテ、サウシテ日鐵ノ方針ヲ立直シテ、大イニ進ンデ行カナクチャナラナイ、サウナリマス今御指摘ニナリマシタ所ノ國內ノ鑛區ノ如キモノモ、大小ヲ問ハズ苟クモ國內ニ於テ生産スルコトガ出來ル鑛區ガアレバ、其ノ品質ガ多少貧乏デアツテモ是ハヤハリ大事ニシテ、其ノ原量ニ依ツテ製鐵ヲスルト云フヤウナ方針ニナツテ參ラナクテハナラヌト思ヒマスガ、所謂大男總身ニ知慧ガ廻リ兼ネト云フヤウナコトモアツテ、サウ云フ細カイ所ヘ屈カナカツタコトト存ジテ居リマスルカラ、今マデサウ云フ問題ニ付テ日鐵ニ對シテ商工省ガ睨ミヲ利カシテ、大イニ活動サセタト云フヤウナコトハ、或ハマダ其ノ睨ミノ利カセ方ガ足りナカツタカモ知レマセヌガ、今後ニ於キマシテハ、サウ云フ國際情勢ノ下ニ我國ノ絶對ノ國策ノ方針ガ變ツテ來タノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ第一鐵トカ石油トカ云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ將來ノ方針ニ付テハ餘程眞劍

ニ考直シテ行ク積リニナツテ居リマシテ、又著々實行シテ居ルノデアリマスルカラ、其ノ點モ能ク御承知ヲ願ヒマシテ、從來ノコトハ從來ノコト、今後ノコトハ今後ノコトト、斯ウ云フ工合ニシテ政府ニ於テモ非常ニ色々ナコトヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ御諒察ヲ願ヒタイト存ジマス。

○塩谷政府委員 只今御指摘ノアリマシタ四國ノ御話ハ私自身ハ細カク存ジマセヌケレドモ、斯ウ云フヤウナ話ハ能クアルコトデ、結局品位、特ニ其ノ鑛量ニ對スル見方ノ相違ガ今ノヤウナドウモ日鐵ハ怪シカラヌトカ、不熱心ダトカ、或ハ慾張ダトカ云フヤウナ評ヲ受ケルヤウナコトニナツタノダト思ヒマス、御承知ノ通り或ル一ツノ場所デ鑛山ヲ開クト致シマス、相當ソコニ設備ヲ要シマスルノデ、其ノ設備ヲスル場合ニ、如何ニ國策會社ト雖モ設備ヲシテ、其ノ設備ヲ銷却スルマデニドノ程度ノモノガ掘レルカト云フヤウナコトハ、十分ニ考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、ソコデ若シソレガ非常ニ引合フモノナラバ、自身ガ買ツテ設備ヲシテ掘ル、併シサウデナイ場合ニハ小規模デ別ノ者ニ掘ツテ賣ツテ、ソレヲ買取ル、自分デ經營スルカ買鑛スルカト云フ二ツノ途ガアルデアリマスガ、恐ラク當時日鐵トシテハ鑛量其ノ他ノ關係デ、是ハ自分ノ經營ニハ適シナイノダト云フコトニナツタコトト思ヒマスガ、之ニ對スル批評ハ各人各様デ必ズシモ一致シナイノデス、結局買ツテヤツテ見ナケレバ分ラヌト云フコトニ相成ルヤウナ譯デアリマス、更ニ其ノ日鐵ノ現在原料ニ對スル政策ハドウカト申シマス、昨年日鐵鑛業ト云フ傍系會社ヲ設立致シマシタ、之ヲ日鐵

ガ現在「コントロール」シテ居リマス、是ハ日本製鐵ガ使用シマス所ノ鑛石、石炭等ノ原料ヲ開發シテ行クト云フコトヲ目的トシテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デ元日本製鐵ノ持ツテ居リマシタ所ノ鑛山ヲ全部日鐵鑛業ヘ移シテシマヒマシタ、其ノ移シマシタ鑛區ノ中、釜石ノモノ、及ビ俱知安ノモノハ從來ヤツテ居タ以上ニ事業ヲ擴張シテヤツテ居リマス、更ニ新ニ新潟縣ノ赤谷、福島縣ノ庭坂、北海道ノ喜茂別ト云フヤウナモノハ新ニ其ノ開發ニ著手シテ居リマス、更ニ朝鮮ノ資源ニ付キマシテモ、去年ヤハリ茂山開發株式會社ヲ三菱系ノ資本ト合併致シマシテ作ツテ、現在其ノ開發ヲ急イデ居リマス、更ニ、國內ノ石ニ中心ヲ置ケバ宜イデヤナイカ、何モ外國カラ買ハナクテモ宜イデヤナイカト云フ議論ハ能ク聞キマスケレドモ、外國カラ輸入シテ居ル鑛石ガ一體如何ナル者ノ手デ掘ラレテ居ルカト云フコトモ、十分私共モ考慮シテ居リマスシ、日鐵ヲシテモ考慮サセテ居リマス、現在南洋方面カラ輸入シテ居ル大部分ハ日本人ノ企業ガ進出シマシテ、其處デ外國ノ鑛業權ヲ獲得シテ一生懸命ニヤツテ居ル其ノ鑛石ガ大部分デアリマス、ソレヲ輸入シマシテ、サウシテ之ヲ鐵トシテ作ツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、決シテ日鐵ガ日本全體ノ利益ヲ無視シテ居ルノダ、日本人ノ利益ハ無視シテ居ツテ、唯會社ノ營業成績ノ向上ノミ圖ツテ居ルノダト云フ譯デハナイト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○依光委員 最後ニ簡單デアリマスカラ……只今商工大臣並ニ鐵鋼局長カラノ御答辯モ承リマシタガ、ドウモ私ニハ腑ニ落チヌコト

トガアル、大男總身ニ智慧ガ廻リ兼ネ、總身ニ智慧ハナイカモ知レナイガ、日鐵ハ金ヲ持ツテ居ルノデアルカラ、智慧サヘ付ケバ其ノ金ヲ有效ニ使フコトガ出來ルノデアル、デスカラ、此ノ大男ニ智慧ヲ付ケル者ハ、即チアナタ方政府、商工省ノ責任デアアル、今鐵鋼局長ハ私ノ申上ダタ咄嗟ノ一例ヲ以テ見解ノ相違ト仰シタルケレドモ、是ハ一例ニ過ギナイ、斯ウ云フ例ハ私ハ澤山アルト思フ、ソレデハ同じ民間會社ノ神戸鐵鋼所ハ何故ニ率先シテ三十鑛區モ五十鑛區モ見込ノナイモノニ向ツテ金ヲ投ジタカ、ココニ民間會社ノ非常ナ敏捷サト、此ノ日鐵會社ノ非常ナ鈍サ加減ガ立證サレルト思フ、此ノ鑛山ハ勿論掘ツテ見ナケレバ確定量ト云フモノハ出ナイ、推定量デドウスルト云フコトハ危險カモ知レナイガ、冒險ト成功トハ隣リ合セデアアル、多少ノ危險ヲ犯サナケレバ成功ヲ期スルコトハ出來ナイ、神戸製鐵ガ裏カラ廻ツテ買ツツ山ガ無價値デアルトハ思ハナイ、ソレ程有價値ノモノデアラナラバ、ナゼ一鑛區デモ先ヅ手ニ入レテ見ナカッタカ、是ハ一例ニ過ギナイガ、私ハ全國ニ斯ウ云フ例ハ澤山アルト思フ、日鐵ノヤツテ居ルコトハ餘リニ穩健——怠慢主義ヲ執ツテ居ルノデアアル、是ハ私一人デヤナイ、此ノ委員ノ中ニモ澤山斯ウ云フ例ヲ持ツテ居ル人ガ居ルト思フ、而モ大男デ智慧ノナイ、金ノアルモノガヤルノダカラ、危險ニハ違ナイ、而モ危險ノ先ニハ成功ガアルノデスカラ、其ノ成功ヲ商工省ガ援ケレバ宜イノデアアル、而モ事變始ツテ三年、是カラ研究スルナドト云フコトハ——何故ニ今マデ一朝有事ノ時ノ研究ガ日鐵會社ニ出來テ居ラナカッタ

カ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ダタイ、何故ニ商工省ハ之ヲ督勵スルノニ一朝有事ノ一項ヲ加ヘテ居ナカッタカ、今頃カラ研究シテ斯ウ云フモノヲ拵ヘルノニ是ダケノ金ガ必要ダナドト云フコトハ、私共カラ言フト甚ダ片腹痛イ、餘リニ智慧ノナイヤリ方デアアル、日鐵ガ日本ヲ代表スル製鐵ノ大キナ會社デアル以上ハ、一朝有事ノ時ヲ見込シテ拵ヘタノデアアル、然ラバ斯ウ云フ研究ハモウ業ニ已ニ出來テ居ナケレバナラヌノデアアル、然ルニ事變ガ始マツテ三年ニ垂ントスル今頃カラ研究スル、而モ其ノ材料ニ付テハ確信ヲ持ツテ居ナイ、斯ウ云フコトデハ私ハ迎モ此ノ國策會社ノ使命ヲ全ウスルコトハ出來ナイト思フ、穩健主義ハ宜シイケレモ、其處ニ所謂大膽ト勇氣ヲ持ツタ國策會社デナイト、私ハ何ノ役ニモ立タヌト思フ、餘リニ算盤バカリ彈イテ、腕組バカリシテ居ツテハ、積極的ナ事業ガ成功スル譯ハナイノデアアル、見解ノ相違ト言ハレルケレドモ、此ノ點ニ顧ミマス、ドウ考ヘテモ日鐵ガ餘リニ幹部ノ方ガ引込思案デアツテ、官僚化シテ居ツテ、丁度一ツノ銀行トカ役所、斯ウ云フ態度ガドウシテモ拔切レナイ、民間化シナイ、茲ニ私ハ大キナ缺點ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是以上申上ダマセヌガ、只今藤原商工大臣ハ非常ニ此ノ點ニ付テ御諒解ヲ持ツテ居ラレルコトデゴザイマスガ、併シ大臣ガ何時マデモ此ノ席ニ居ラレルコトハ私ハ望マシイノアルガ、二月、三月ノ中ニ或ハ辭メラレルカモ知レナイ、其ノ時ニハ私共ハ何時マデモ藤原商工大臣ノ言質ヲ取ツテ之ヲ楯トシテ守ルコトハ出來ナイノデアアル、デスカラアナタニ眞ニ憂國至誠ノ志ガアルナラバ、此ノ際私共

ノ此ノ熱誠遊ル所ノ進言ヲ御聽下サツテ、此ノ怠慢ノ日鐵會社ヲ大イニ鞭撻サレ、私共ノ希望ノ達成ニ向ツテ一段ノ努力ヲ拂ハレンコトヲ切望シテ質問ヲ打切りマス

○櫻井委員長 尙ホ高橋君ノ質疑ガ繼續中デアリマス、又次ノ順位ノ小柳君ハマダ一回モ御發言ニナツテ居ラスノデアリマスガ、川俣君ヨリ商工大臣ニ是非ト云フ御希望デアリマスカラ、簡單ニ御願致シマス

○川俣委員 此ノ改正案ノ要點ハ大臣御承知デセウガ、地下資源ノ埋藏量ヲ計畫化シテ、以テ鑛業開發ヲ圖ルノガ本法改正ノ要點デアリマス、隨テ此ノ改正ノ要點ト鑛區稅ノ關係デアリマスガ、大藏大臣モ今御尋ラシテ大體諒承ヲ得、サウシテ御考慮ヲ願ツテ居ルノデアリマスガ、鑛物ノ生産費ヲ引下ゲル點カラト、此ノ鑛業法ノ沿革カラ見テ、又目下開發ニ重點ヲ置カレテ居ル點カラ、採掘鑛區稅及ビ試掘鑛區稅ヲ引下ゲテ所期ノ目的ヲ達成スルヤウニ致シタ方ガ適當デハナカラウカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○藤原國務大臣 只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、大藏省ト能ク協議ヲ致シマシテ、其ノ上ニ篇ト考慮致シタイト思ヒマス

○瀧澤委員 高橋君ニ諒解ヲ求メマシタノデ一寸關聯シテ……高橋君サナカラモ依光君サナカラモ十分言ウテ戴イテ居リマスカラ、ソレデ盡キテ居ルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ此ノ場合ニ私モソレニ關聯シテ申上ダ御伺シテ置キタイコトハ、日本製鐵會社ガ實際研究ヲ怠ツテ居ツタ、是ハ事實デス、今某博士ト仰シヤイマシタガ、去年カラ依博士ガ行ツテ居リマス、其ノ建言ニ依ツテ東

京ニ大ナル研究所ヲ拵ヘルト云フコトニナ
ツテ参リマシタノデ、アスコニ居ラレタ人
ハ隨分面目ヲ失シタト云フヤウナ話デアリ
マスガ、日鐵ハ急ツテ居ツタノデス、依博
士ハ前ニハ長イ間關係シテ居ツタガ、其ノ
後暫ク行カナイデ居ツタ、今度博士ニ鞭撻
サレテ去年初メテ研究所ヲ拵ヘルコトニナ
ツタ、商工省ノ睨ミガ利イテ出來タトハ私
信ジマセヌ、ソコデ私ニツニ考ヘテ見ルニ、
此ノ研究所ガ、試驗所ガ出來テモ、專ラ技
術的方面ノコトデアリマス、製鐵ノ技術的
方面モ外國ニ比ベテ劣ツテ居ルコトハ事實
デアリマシテ、此ノ方ノ商工省ノ睨ミハ利
イテ参リマセウ、又日鐵モ自ラサウ考ヘル
デアリマセウ、併シナガラモウ一ツ、經濟
的方面ニ關シテ、只今依光君カラ述ベラレ
タ通りデアリマスガ、何故イケナイカ、ア
ノ會社ハ自分ノ目ガ眩シデ、何千万圓モ損
スルコトヲ平氣デヤツテ居ル、釜石製鐵所
ヘ今マデ十萬圓十五萬圓シカ出サナイノヲ、
五十萬圓、百萬圓ノ計畫ニスルト云フノデ、
アノ山ニ只何千万圓拂ツテ居ル、是ハ明カ
ナコトデ、商工省ノ上ノ方ノ役人デ、釜石
鑛山ヘ只取ラレタト云フコトハ御認ニナツ
テ居ル、何千万圓只取ラレテ損ヲシテ居ル、
所ガ民間ニ斯ウ云フ山ガアツテ之ヲ開發シ
ナケレバナラスト云フ時ニ、助成シナイ、援
助シナイ、例ヘバ四國ノ山ニシテモ、成程是
ハ良イト思フカラ十分君等ヤツテ見ロ、吾
吾モ援助スル、斯ウ言ツテ開發探鑛ニ要スル
經費ヲ助成シテ呉レバ宜イガ、サウ云フ
時ニハ損スルカラト云ツテ腕ヲ拱イテ逃ゲ
テシマフ、他ノ山モサウデス、私ノ信ズル所
ニ依ツテモサウ云フ所ニハ立派ナ地質學者
ガ調査サレテ、立派ナ報告ヲ致シマシテモ、

ドウモ斯ウ云フモノニ金ヲ掛ケルノハ止メ
ヨウ、ソレキリ援助モシナケレバ指導モシ
ナイ、是ハ小金サシニ尋ネタラ今度ヤリマ
スト伺ヒマシタガ、商工大臣ハ御存ジナイ
デセウガ、鐵以外ノ金屬ニ對シテハ斯様ニ
金ヲ掛ケテ居ルガ、鐵ニ對シテハ直接民間ノ
人ニ金ヲ出シテ指導スルト云フ方針ガ決ツ
テ居リマセヌ、南洋カラ來ル鐵鑛石ハ六〇
%以上デ成程良イモノデス、殊ニ石原産業其
ノ他ノ人ガ持つテ來テヤツテ居ル、斯ウ云フ
時ニ日本内地ノ鐵ニ關スル鑛山ヲ開發スル
ノニ努力セラレナカツタ、露西亞カラ鉄鐵
ヲ三十萬噸買ハナケレバ日本ノ鐵工業ガ成
立タナイト云フアノ時代ヲ考ヘテ、吾々ハ
非常ニ心配シテ居ル當時ニ於テモ、日本ノ
鐵鑛山開發ト云フ時ニドレダケ日鐵ガ努力
致シマシタカ、少シモ努力シタ跡ハナイ
デヤアリマセヌカ、福島縣ノ山ハ昨年一昨年
ヤイノ言ハレタカラ、日本ノ内地モヤツ
テ居ルト云フ見本ノ爲ニ、アレバヤツタ、
其ノ他ニ民間ノ人達ノ奮闘シテ居ルノヲ日
鐵ガ援助シテ假令一塊デモ出シタ功績ガア
リマシタカ、斯ウ云フ風ニナツテ居ル事情
デアリマス、先程モ言ハレマシタガ既ニ私
共此ノ議會ヘ参リマシテカラモ、吉野大臣、
八田大臣、伍堂大臣、皆迭ツテシマフデセ
ウ、大臣ガ此處デ言明サレテモソソナコト
ハ後デ忘レテシマヒマスヨ、此處デ一番必
要ナコトハ俺ガ睨ミヲ利カセルゾト云フヤ
ウナ人ダケガ其ノ相手ニナレルノデ、其ノ相
手ニナツテ居ル人モ先輩ガ向フニ居ルカラ、
ドウモ一寸睨ミガ甘イデスナ、其ノ點ニ付
テハ本當ニ大臣ガ居ラレル間ニ方針ヲ確立
シテ、鐵鑛ニ對シテハ產金、非鐵金屬ト同
様助力ヲシテ、本當ニ開發スルヤウニナサ

ツタナラバ、日本ノ鐵山ト云フモノハ相當
アルト云フ確信ヲ持つテ居リマスカラ、大
臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス
○藤原國務大臣 段々御説ヲ承リマシテ私
モ非常ニ啓發サレル所ガ多イノデアリマス、
高橋君、依光君、瀧澤君、非常ニ熱心ニ現狀
ニ即シテ御話デアリマシテ、結局斯ウ云フ
コトデアリマセヌデセウカ、歷代ノ大臣ガ
何回言明シテモ功能ガナイ、ダカラシテ大
臣ノ言明ナド聽イテ見タ所ガドウモソレガ
大シテ睨ミガ利クヤウニモ思ハレヌ(アナ
タナラ利キマスヨ、アナタガヤリナサイ)
ト呼フ者アリ)尙ホ商工省ノ局長ガ睨シデ
モソソナ睨ミデヤドウモ少シ不十分ダ、斯
ウ云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、
商工省ノ方ニ於テハ十分ニ睨シデ居ル積リ
デモマダソソナ睨ミデヤ足ラナイ、斯ウ云
フヤウナ譯デアリマス、サウスルトココデ
考ヘテ見テ一番大切ナ睨ミハ、ヤハリアナ
タ方ノ議會ガ睨シデ(拍手)是デ以テウソ
睨シデ下サレバ、其ノ睨ミト云フモノハ一
番強イダラウト思フ(逆襲デスネ)ト呼ビ
笑聲起ル)ソレデアリマスカラドウゾ議會
ニ於テモ十分睨シデ戴イテ、商工省ノ方ニ
於キマシテモ其ノ睨ミヲ後ロニ背負ツテ、
後光ヲ翳シテ、サウシテ睨ンデ行キマシタ
ナラバ(名答)ト呼フ者アリ)私ノヤウナ
微力ナ商工大臣デアツテ、又四代迭ツテ來
テ居ルノデアツテモ、其ノ後ロノ後光ガ光
ルカラ、幾ラカ睨ミガ利クカト思ヒマスノ
デ、ドウゾ是デ一ツ商工大臣ヲ御信賴下サ
イマシテ、御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、
十分ニ後光ヲ背負ツテ睨ミマスカラ……
○櫻井委員長 小柳君、山本君、手代木君
ハ大臣ニ對スル御質疑ハ宜シウゴザイマス

カ——高橋壽太郎君
○高橋委員 政府委員ニ御尋シタイノデス
ガ、此ノ試掘期間中採掘ノ出願ヲスル、其
ノ採掘ガマダ許可ノ下リナイ内ニ試掘期限
ガ切レル、斯ウ云フ場合ニ鑛業ハ出來ルノ
デスカ、是ハドウ云フコトニナリマスカ
○小金政府委員 試掘期間中ニ採掘願ヲ出
シテ置カレマシテ、採掘ノ許可ガ出ル前ニ
鑛業權ガ切レタ場合ニ於キマシテハ、其ノ
鑛業權、即チ試掘權ノ終了ト共ニ、法律上
ノ鑛業權ニ基ク鑛業ヲ繼續スルコトハ出來
ナイ、斯ウ云フ法律上ノ建前ニナツテ居リ
マス
○高橋委員 ソレデハ採掘願ノ下リルマデ
手ヲ拱イテ待つテ居ル譯デゴザイマスカ、
ドウ云フコトニナリマスカ
○小金政府委員 現行法デモ其ノ點ハ一ツ
ノ問題ニナツテ居ルノデアリマスルガ、事
實上試掘權ヲ設定スル場合ニ於キマシテモ、
關係方面トモ打合セヲナシタ上試掘權ヲ設
定スルノデアリマシテ、サウ云フ「ギヤツ」
ガ生ジナイヤウニ、成ベク仕向ケテ居リマ
ス、唯理論上ハ只今ノヤウナ場合ニハ權利
ガナイト云フ狀態ガ生ズルノデアリマス
(委員長退席、澤田委員長代理著席)
○高橋委員 是ハ少カラズ重要鑛物増産ノ
上ニ影響ノアルコトダト思フノデアリマス、
唯單ニ是ハ採掘シテモ宜カリサウダカラ採
掘許可ノ下リルマデヤツテモ宜イト云フ默
認ノ形ニナルカ、或ハ官廳ノ御機嫌次第デ
イケナイト云フカ、ドウモ法規上イケナイ
ト云フ方ガ此ノ頃ノ準繩ヲ墨守スル才役人
氣質カラ云フト多イノデヤナイカ、此ノ過渡
的ノ規定ヲハツキリ決メラレナイト云フコ
トハ、是ハ少クモ今日ノ時勢ニ重要鑛物増

產ヲ圖ル目的ニハ合致シナイト思ヒマスガ、之ヲハツキリ一ツ御答ヲ願ヒタイ

○小金政府委員 權利ノナイ所デ鑛業ヲ營ムコトハドウ考ヘテモ出來ナイノデアリマス、ソコデ試掘權ノ存續期間中試掘ヲシテ採掘出願ヲ提出セラルヤウナ場合ニ於キマシテハ、相當ナ即チ法律第二十三條ノ規定ニアルヤウナ鑛物ノ存在ヲ證明サレ、サウシテ採掘權ヲ設定スルニ熟シテ居ルヤウナ場合ニ付キマシテハ、速ニ採掘權ヲ設定スルト云フ手續ヲ執ルヨリ外、鑛業權ナクシテ、即チ權利ト權利ノ間ニ「ギヤップ」ガ出來マシテ、其ノ「ギヤップ」ノ間ニ於テ尙ホ鑛業ヲ營ムト云フコトハ鑛業權ノ性質カラ見テ法理上ハ不可能ダト存ジマス

○高橋委員 サウ致シマス二十三條ノ關係ヲ御述ニナリマシテ、早く出願シロト言ヘバ、試掘ノ四年ガ更ニ採掘許可ヲ見越シテ行クト、二年カ一年ノ内ニ試掘ヲ終ラナケレバナラスト云フ結果ニナルノデヤナイデセウカ

○小金政府委員 ソレハ例ヘバ試掘期間満了直前ニ採掘出願ヲ御出シニナツタ場合ニ於キマシテハ、只今ノヤウナ採掘權設定マデノ間權利ノ存在セザル狀態ガ生ズルコトト存ジマス、其ノ間ニ處シテ其ノ權利ナクシテ採掘權設定ノ時期マデ作業ヲドウ云フ風ニシテ續ケルカト云フ問題ニ付キマシテハ、具體的ノ場合ニソレノ處置ヲ執ルヨリ外ナイト存ジマス、唯試掘權ハ四年アルガ、採掘權ヲ設定スルマデニ一年モ二年モ掛ルコトノミヲ前提トシテ此ノ問題ヲ解決スルト云フ譯ニハ行カヌダラウト思ツテ居リマス

○山本委員 一寸關聯シテ……先日ノ質問

ニ對スル御答辯ハ、四箇年ノ末期ニ採掘權ノ出願ヲスレバ出願ヲシタト云フコトデ期限ノ滿了ガアツテモ試掘權ヲ認メルヤウニナル、斯ウ云フ風ニ了解シタノデスガ、違ヒマスネ、サウスルト高橋君ノ御話ノヤウニ、ドンナニ少クテモ一年半前ニ採掘權ノ出願ヲシナイト、期限ガ一年半モアリマスカラ、御説明ノヤウニ六箇月位トシテモ八箇月カ一箇年前ニヤツタノデハ試掘權マデ失ツテシマフト云フ虞ガアル、例ヘバ斯ウ云フ場合ハドウナルノデスカ、三年四箇月位經ツテカラ採掘權ヲ出願シタ、所ガ色々運動シテ見テモ中々採掘權ノ許可ガナイ、ナイ内ニ試掘權ガ満期ニナレバ、御説ニ依ルトハ消滅シテシマフ、サウスルト其ノ翌日ニナツテ試掘權モ却下ニナツタ、斯ウナルト何モカモナクナツテシマツテ、他ノ先願者ニ取ラレテシマフコトニナルノデアリマスガ、ソレハドウナリマスカ

○小金政府委員 マア法律ノ建前カラ參リマス、權利ガ無ケレバ鑛業ガ出來ナイコトニナツテ居リマス、ソレデ今採掘出願ヲ試掘期間ノ存續中ニ御出シニナリマシテ、其ノ後採掘ノ價值無シト云フコトデ不許可ニナツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、採掘權モ得ラレナイシ、其ノ前ニ他ノ人ガ試掘出願ヲ出シテ置ケバ、其ノ方ガ優先ニナル、ソレデハ極メテ酷ナ結果ガ生ジマスノデ、採掘權ヲシテ於カレマスレバ、採掘ニ付キマシテハ、役所ノ方デハ出來ルダケ早ク調査ヲ致シマス、殊ニ現在ノ鑛業權試掘權トシテアルモノニ付キマシテハ、是ハ原則論ハ別デアリマスガ、出來ルダケ便法ヲ講ズル、便法ト申シマス語弊ガアリマスガ、優先的ニ調査ヲシナケレバナラスト

云フ建前デ參リマスガ、只今山本サンノ御指摘ニナリマシタヤウナ缺陷モアリマスノデ、其ノ際ニハ試掘出願ハ出シテアルガ、マダ採掘權ヲ設定スルニ不十分デアルカモ知レヌト云フヤウナ場合ガアルダラウ、其ノ場合ニハ同時ニ試掘期間満了ノ直後ニ同じク試掘出願ヲ御出シ願ツテ置ケバ、ヤハリ第一順位ト申シマスカ——或ハ零時零分ニ同時ニ澤山出レバ別デアリマスガ、其ノ試掘出願ニ依ツテ試掘ヲ繼續スルコトガ出來ルト云フコトヲ第三十四條ノ第二項ニ加ヘタノデゴザイマス

○山本委員 此ノ三十四條ノ第二項ト云フノハドウ云フコトデスカ

○小金政府委員 第三十四條ノ第二項ハ「前項本文ノ規定ハ採掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ試掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス」ト云フノデアリマシテ、其ノ第一項ノ本文ヲ申上ゲマス「試掘出願人同種ノ鑛物ニ付更ニ採掘ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ出願地重複スルトキハ其ノ重複スル部分ニ付テハ採掘ノ出願ハ試掘證書發送ノ日時ニ於テ試掘ノ出願ニ代リタルモノト看做ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノ第三十四條第二項ハ、元來ナラバ採掘出願ヲ出シテ置イテ更ニ試掘出願ヲ同一地區ニ付テ同一人ガ出スコトハ認メラレナイノデアリマスガ此ノ場合ニ於キマシテハ認メル、斯ウ云フコトデアリマス

○山本委員 サウスレバ先日アナタガ御答ニナツタト同ジデアリマシテ、法文上試掘期間四年ノ滿了後ト雖モ試掘權ガアルコトニナルデハアリマセヌカ、是ハ幾ラ條文ヲ讀ンデ見マシテモ、試掘權ガ消滅スルトナツタラ、私ノ前ニ舉ゲタ例ノ如クニ採掘權

ト兩方失フコトニナル、期間満了ノ翌日ニ試掘權ヲ再ビ出願ヲシテ、サウシテ採掘權ノ鑛區ト重複スル場合ガ無論アルデセウガ、其ノ場合ハ宜イコトニナルノデアリマセヌガ、實際問題ヲ御話ニナラスト分ラナイデスカ……

○小金政府委員 ソレハ實際問題トシテ一ツノ鑛區ニ付テ採掘出願ヲ出シタ、所ガ其ノ採掘出願ハ許可ニナルカドウカ非常ニ疑問トサレルヤウナ場合ガアリマシタラ、其ノ試掘期間ノ滿了直後ニ試掘出願ヲモウ一遍出セルノデス、本來ノ建前デ行キマス、即チ此ノ但書ガナイト、一遍採掘出願ヲ爲シテアル同一地區ノ同一鑛物ヲ目的トシタ試掘出願ハ却下サレルコトニナツテ居リマスガ、今度ハ却下致シマセヌカラ、採掘出願ガ不許可ニナリマシテモ、試掘出願ガ續イテ居ル、斯ウ云フ意味合デアリマス

○山本委員 ソレデハ此ノ間御答辯ニナツタト同ジコトニナルデアリマセヌカ

○小金政府委員 是ハマダ試掘出願ガ續イテ居ル場合デアリマス、高橋サンハ試掘權ニ付テ仰シヤツテ居ラレマスカラ……

○山本委員 サウスルト四年目ノ假ニ三月六日ノ零時零分ニ期間ガ滿了シテシマツタ、ソコヘ今度ハ其ノ前ニ試掘出願ヲ出シテ居ル者ガアルトスレバ、ソレガ零時零分ヨリ二時間デモ三時間デモ先デアツタ場合、ソレヲ先願ト云フコトニシナイデ、採掘權ノ出願人ニ試掘權ヲ與ヘルノデスカ

○小金政府委員 其ノ通りデゴザイマス、詰リ前ノ權利ガ終ル以前ニ出シタ他人ノ出願ハ不許可ニナル譯デス、最後ノ日ガ終ルマデニ出シタ他人ノ出願ハ他人ノ鑛區ニ對スル出願デアルカラ、ソレハ許可致シマセヌ

○山本委員 探掘出願中ダカラデスカ

○小金政府委員 探掘出願中デ、詰り他人ノ鑛區デアル場合ニ於テハ、サウ云フコトハゴザイマセス

○濫澤委員 一寸關聯シテ伺ヒタイデスカ、其ノ場合ニ於ケル税金デスカ、試掘權ハ四年デ切レテシマフノデセウ、サウスルト今度其ノ探掘ヲ出願シテアル、ソコヘ今度又試掘ノ出願ヲ致シマス、ソレハヤハリ四年續クヤウナ權利ヲ認メラレルコトニナルノデスカ

○小金政府委員 御質問ノ御趣旨ガ能ク分リマセヌガ、試掘權ガ存續シテ居ル間ノ他人ノ出願ハ一切之ヲ排除致シマスカラ、満了ノ日ノ翌日ノ零時零分ノ出願ガ一番早イコトニナリマス、零時零分以前ニ出タ他人ノ出願ハ皆排除サレマス、零時零分ノ出願ガ重ナレバ其ノ場合ノ處置ヲ執リマス、斯ウ云フコトニナリマス、鑛區稅ノ問題ハ鑛業權ガ設定サレナイ限りハ鑛區稅ハ課ケマセヌ

○山本委員 當局トシテハ前私ガ例ヲ擧ゲテ申シタヤウニ、零時零分ニ試掘出願ヲシタ、サウスルト其ノ後御調ベノ結果探掘ニ適セズトシテ却下ニナツタ、サウシタラ試掘權ノ方ハ御許シニナルノデスカ

○小金政府委員 許シマス

○山本委員 何箇年デスカ

○小金政府委員 四箇年デスカ

○濫澤委員 一寸關聯シテ……探掘ヲ願ツタ人ガ、零時零分ニ試掘ノ出願ヲスルト云フコトハ分リマシタガ、其ノ時ニ他ノ人ガ零時零分ニ出願シタラドウナリマス

○小金政府委員 篠原サンノ御尋ハ御尤モデアリマス、試掘權ノ期間満了後零時零分

ニ他人ガ出願シテ居リマスレバ、ソコデ所謂競願、出願競合シタ場合ノ措置ヲ執ルノデアリマス、同時刻デアツタ場合ニ於テハ抽籤ニナリマス、デスカラ他人ガ大勢出願スレバ、其ノ大勢ノ中カラ從來ノ試掘權者ヲ加ヘタモノデ抽籤ガ行ハレル譯デスカ

○濫澤委員 サウスルト今山本委員ガ聽カレタ問題ガアルノデスカ、私モ實際ハ知リマセヌガ、假ニ三人トカ五人トカ云フ出願ガ競合シタ場合ニハ、元ノ試掘權者ハ三分ノ一若クハ五分ノ一ノ可能性シカナイコトニナリマス

○小金政府委員 ソレハ篠原サンノ仰セノ通りデアリマシテ、外國ノ立法ノ如キハモウ一タビ試掘權ヲ持ツテ居ツテ、其ノ間ニ試掘ヲシナカッタトカ、其ノ儘權利ガ經過シタ場合ニ於テハ、其ノ出願ヲ認メナイ例ガ普通ノ立法例デアリマス、日本ハソレヲ隨分寬大ニシ過ギタト云フ非難モアリマスルケレドモ、色々ナ關係デ前ノ人ガドウ云フ原因デ期間満了マデ試掘ノ儘デ置イタカト云フコトヲ一々詮議スルノモドウカト思ヒマシテ、サウ云フ危險ハ——危險ト言ヒマスカ、外國ノ立法デハ試掘期間満了マデ試掘ノ儘デ放ツテ置イタラ、鑛業權者トシテ適格者デナイト云フヒドイ取扱ガ普通ノ立法デアリマス、此ノ法ハ大體サウ云フ建前デアリマス

○高橋委員 今各委員カラ御質問ガアリマシタガ、要スルニ折角試掘ヲシテ探掘ノ願ヲシテモ、試掘期限內ニ許可ガナイ場合ニハ、其ノ鑛區、今マデ手掛ケテ探掘ヲシヨウト努力ヲシタ鑛區ハ棄テナケレバナラヌコトニナルト云フデアリマス、ソレハ恐ラク鑛業法改正ノ趣意トハ正反對ニナル

トンデモナイ立法ダト思ヒマス、是ハドウシテモ斯ウ云フ意味ノ條文ヲ加ヘナケレバナラヌト思フ、試掘權者同一地區ニ於テ同一鑛物ノ探掘ヲ出願シタルトキハ他ノ試掘願ニ優先ス、サウデモシナケレバ試掘シテ探掘ニ移ラントシテ取上ゲラレシマツタナント云フコトデハ、手ノ付ケヤウガナカラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○小金政府委員 試掘權者ガ更ニ同一地區ニ於テ同一鑛物ニ付テ探掘ニ付テノ先願優先ヲ認メルナラバ、現行法ノ通りニナルノデアリマス、此ノ鑛業法ニ於キマシテハ試掘權者ガ試掘權存續期間中ニ探掘願ヲ出シタナラバ、最後ノ探掘願デアリマシテモソレニ優先權ヲ與ヘテ居リマス、即チ試掘權ノ四年ノ間ニ於テ、二年目ニ第三者ガ探掘願ヲ出シマシテ、三年目ニ其ノ試掘權者ガ探掘願ヲ出シタ場合ニ於テモ、一年モ前ノ先願者デアアル所ノ第三者ノ出願ハ之ヲ許可シナイ、試掘權者ヲ何處マデモ保護スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、ソコデ四年間ノ間ニ試掘權者ガ探掘願ヲシテ貰ヘバ、是ハ一番優先ニ處置サレル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○高橋委員 モウ一遍詳シク——是ハ大事ナコトデ、サウシテ中々混入ツテ分ラナイノデスカ、何方一ツ懇談ノ席上デデモソレニ付テ詳シク御説明ヲ願ヒタイ

○小金政府委員 誤解ガオアリニナルト困リマスガ、探掘權ノ設定ハ試掘權ノ存續期間タルコトハ毫モ要シナイ、極端ナ例ヲ申上ゲマスレバ、試掘權ノ四年ノ期間最終ノ日ニ探掘ノ願ヲ御出シニナリマシテモ、探掘ノ價值アリト云フコトニナツテ探掘權ガ設定サレル、他人ノ探掘願ニ優先シテ探掘

權ヲ設定セラレルノデアリマス

○手代木委員 一寸關聯シテ——私ハ其ノ點ニ付テ問ノ形ヲ變ヘテ伺ツタノデシタガ、探掘願ヲ出シテ居ル內ニ試掘期間ガ切レル、サウシタ場合ニハ其ノ探掘願ノ決定ニナルマデハ前ノ試掘權ガ存續スルノダ、サウ見ルノカト云フコトデ、隨テ此ノ試掘中ニ其ノ鑛物モ許可ヲ得レバ賣買モ出來ルカト云ツタラ、出來ルト云フ御答辯デアツタノデスカ、私ハ左様ニ諒解シテ居ツタ、即チ探掘願ヲ出シタ以上ハ是ハ許可ニナルカ不許可ニナルカ分リマセヌガ、其ノ間ハ前ノ試掘權ガ存續シテ居ル、サウシナケレバ、此ノ間ノ御話デハ探掘願ヲ出スト六箇月カ一年ノ内ニハ許可ニナルカナラヌカ決リマス

云フ御話ダツタガ、實際ノ例ヲ見ルト、平均三年位掛ツテ居ルノダト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、所ガ其ノ間ハ詰り試掘權者ハ探掘ノ可否ノ決定ニナルマデハ其ノ儘試掘權ガ存續シタモノト、斯ウ云フ意味ニ此ノ間ノ御答辯ヲ諒解シタノデスカ、サウデナイトスレバ、今外ノ方ノ間ハレタ通り全ク是ハ危險ナコトニナル、但シアナタノ方ノ御話デハ試掘權ガナクデモ、今度ハ他人ガ假ニ試掘權ヲ持ツテ居ツテモ、其ノ探掘權ガ許可ニナレバ、其ノ他人ノ第三者ノ持ツタ試掘權ヲ排除シテ、探掘權ヲ得ルノダト云フヤウナ御趣意ノヤウニ今拜承シタノデスカ、サウデセウカ

○小金政府委員 試掘權ト探掘權トノ二ツガ今同一地域ニアルコトハ全然ゴザイマセヌ、ソレデ今ノ御言葉ノ中ニ試掘權ヲ排除シテ探掘權ヲ許可スルト云フヤウナ——是ハ願ダト思ヒマスガ……

○手代木委員 願デス

○小金政府委員 ソレナラバ分リマシタ、ソコデ私ガ先般來申上ゲマシタノハ四年間ノ途中ニ於テ探掘願ヲ御出シナリマシタ場合ニ於テ、探掘願ヲ出シタカラ直チニ探掘ノ許可ガアルトハ限リマセヌ、ソコデ此ノ試掘ハ試掘權ニ基イテ試掘ヲスルノデアリマスカラ、四年間ダケハ試掘ヲスルコトガ出來ル、探掘願ヲ出シテ置カウガ、出サナイデ置カウガ、四年間ダケハ試掘ヲスルコトガ出來ル、サウシテ此ノ四年間ニ探掘願ヲ御出シナレバ、他人ガ探掘願ヲ其ノ土地ニ付テ出シテモ、探掘權ヲ設定スル場合ニ於テハ試掘權者タリシ探掘出願人ニ探掘ノ許可ヲスル、斯ウ云フコトデゴザイマス

○瀧澤委員 今ノ所ヲモウ一遍能ク……斯ウ云フコトヲ私共困ル場合ガアルノデス、試掘デ今四年ノ間探掘ヲシテ漸ク三年目ニ是ナラバモウ商賣ニナル、斯ウ云フ確信ヲ得テ探掘願ハ出ス譯デアリマス、ソコデサウヤツテ居ル間ニ期限ガ四年ヲ經テ試掘シタ礦物處分ヲ願出テ賣ツテ居リマスガ、ソコマデ行ツテコチカラ許可ノナイ場合ニハ、折角之ヲ掘出シテ來タノヲ——經濟的ニヤル場合ニハ實際ノ殆ド探掘ニ近イ試掘ヲヤツテ居ルノデアリマスガ、ソコヘ行ツテ仕事ガバツタリ出來ナクナツデシマフ、サウシテハハ當然コチラガ利益アリト認メテ掘ツテ行ケレドモ、ソコヘ行ツテ半年ナリ一年ナリ、モウソコデ商賣ヲ廢メテシマハナケレバナラス、其ノ間ノ御取扱方法ヲ何トカ御考置キヲ戴カナケレバ實際ニ即シナイ、法律ハドウデアツテモ實際ニ即シナイノダガ、其ノ場合ヲドウ云フ風ニ御取扱下サルカト云フコトガ一番心配ナコトナ

○小金政府委員 試掘ハ事實上試掘設計書ニ基イテアルノデアリマスカラ、ソレハモウ企業トシテ相當立派ナモノデアリマスレバ、ソレニ付キマシテハモウ協議ノ上探掘願ヲ早く出シテ貰フトカ、或ハ其ノ間ノ具體的ノ事務ノ處理ニ付キマシテハ、差支ガナイヤウニ致シタイト存ジマス

○瀧澤委員 ソコノ所ガ私共ノ一番必要ナル所デアアル、差支ナイヤウニ致シマス、ト是ガハツキリシテ居リサヘスレバソコデ問題ハアリマセヌ、實際掘ツテ居ラスノダカラ、ソコノ所ヲ此處デアナタノ、若クハ大臣ノ言明ダケデ、ソレガ先例トナツテ行クカ、ソレヲ法文ノ中ノ何處カニ、何トカ安心シテ仕事ヲヤツテ行クコトガ出來ルヤウニヤツテ戴カナイト、其ノ點ガ實際掘ツテ居ル者ハ重要ナ事柄ナノデスカラ……

○川俣委員 一寸關聯デスガ……、ドウモ局長ノ御答辯ハ暗ニ落チナイノデスガ、私共ノ解釋ニ依レバ、現在既ニ試掘權デアリナガラ、實際ハ探掘ニ類スルヤウナモノガ澤山アルト思フ、是ハ私ハ本來ハ試掘權デハナクテ、探掘權ガ設定サルベキモノデアツタノダト思フ、斯ウ云フモノハ當然探掘權ヲ設定シ、サウシテ監督シナケレバナラスモノダト思フノデスガ、ドウモサウ云フモノデモ、マダ——許可スルニ難儀ダト云フヤウナ御答辯デスガ、私共ノ點ハ誤解ヲ生ジ易イシ、又本來ノ鑛業權ノ趣旨ニ合ハナイモノダト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○小金政府委員 一般論、或ハ一般的立法論トシテ御答申上ゲマシタガ、事實上今瀧澤サンノ御舉ゲニナリマシタヤウナ例ニ付キマシテハ、正ニ川俣委員ノ仰シヤル通りデアリマスカラ、是ハ直ダ探掘權ノ設定ハ出來マス、殊ニ探掘サル場合ニ於キマシテハ、試掘設計書ガアリマスカラ、ソレニ基イテ、モウ探掘ト實際取扱ヲ變ヘル必要ガナイト云フヤウナモノニ付キマシテハ、今度ハ探掘願ヲ出セト云フコトガ出來マスカラ、其ノ點ハ處置出來ルト思ヒマス、是デ御疑問ハ晴レルカト思ヒマスガ……

○高橋委員 今ノ件ハ中々分リニクイヤウデアリマスカラ、暫ク之ヲ後廻シニ致シマシテ、試掘礦區ガ探掘スベキモノト認メラレテ、探掘ノ出願ヲセヨト命令サレタ場合ニ、探掘ノ出願書ヲ出ス、其ノ間ニ試掘期間ガ切レル、斯ウ云フモノハドウ云フ風ナ扱ヒニナツテ居リマスカ、又「試掘出願地探掘ニ適スルモノト認メタルトキハ探掘ノ出願ヲ命スヘシ」斯ウアリマスガ、サウ云フヤウナ命令ヲ受ケテ探掘願ヲ出ス、其ノ内ニ試掘權ガ切レテシマフ、サウスルト其ノ扱ヒハドウナルノデスカ

○小金政府委員 其ノ探掘願ガ到達セザル前ニ切レタ場合ハ、其ノ轉願ヲ命ズル場合ニ於テハ、幾日以内ニ探掘願ヲ出スト云フヤウニ日ヲ切リマスカラ、其ノ間ニ屆クヤウニナルト思ヒマス

○高橋委員 命令書到達ノ日ヨリ三十日以内ニ探掘ノ出願ヲ爲サザル時ハ、其ノ權利ヲ失フト云フコトニナルガラウト思フノデアリマスガ、其ノ期間内ニ出願シタトシテ其ノ探掘願ハドウナルノデスカ

○小金政府委員 鑛山監督局ノ方カラ探掘願ヲ出セト云フヤウナ所謂轉願命令ヲ出ス場合ニ於キマシテハ、書類ノ到達次第、是ハ處置出來ルト云フ見込出スノデアリマスカラ、サウ問題ハナイト思ヒマス

○高橋委員 ソレハ直ダ許サレルノデスカ

○小金政府委員 探掘願ニ付キマシテハ、實地調査、其ノ他ヲスルコトガ一應原則ニナツテ居リマス、併シコツチカラ轉願命令ヲ出スヤウナ場合ニ於テハ、手續ニ遺漏サヘナケレバ直ダ許可サレマス

○高橋委員 其ノ内ニ試掘ガ切レテモ……

○小金政府委員 其ノ試掘期間存續中ニ探掘願ガ出シテアレバ、勿論其ノ間ハ切レテモ構ヒマセヌ

○山本委員 議事進行ニ付……、先日御話シタコトハ全ク聽キ損ヒ、言ヒ損ヒデ、議論ハ別トシマシテ、事實期限前ニ探掘權ヲ出願シタ者ガ、試掘ノ期限後ニ不許可ニナツタ場合ハ試掘權ヲ失ツテシマフ、サウスルト今マデ四年間汗水流シテ設備ヲシタリ、探掘シテ販賣スル許可モ得テ、多少其ノ經費モ出シテ居ルト云フヤウナ、相當命懸デ設備ヲシタモノガ全滅ニナツテシマフ、サウシテ眞面目ニ四年間試掘ヲヤツテ探掘願ヲ出シタ人ガ全然失格者トナツテ、何デモナイ人ガヤツテ來テソコデ又ヤリ直ス、此ノ間モ質問ヲ致シマシタガ、兎ニ角サウ云フコトハ今能ク分ツタノデアリマスガ、中込入ツテ問答ヲ速記シテ貰ツテモ何デアリマスカラ、速記ヲ止メテ、散會シテ懇談的ニ傍ニ寄ツテ能ク話ヲセスト、切口上ニナツテ問答シテ居ツテモ中々分ラナイ、若シ皆サンノ御考ガ一致スレバ、サウシタガ宜イカト思ヒマスガ……、此ノ點議事進行上申上ゲテ置キマス

○澤田委員長代理 左様ニ取計ラツテモ宜シイカト思ヒマスガ、マダ高橋君ノ質問モ殘ツテ居リ、ソレカラ小柳君ノ質問モ殘ツテ居リマスカラ、ソレガ濟ミマシテカラ、

一時休憩シテ、今山本サンノ提議ニ依ル懇談會ニ移ツタラドウカト思ヒマスガ

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○澤田委員長代理 ソレデハ左様ナコトニ致シマス——高橋君、御繼續ヲ願ヒマス

○高橋委員 大分質問ヲ致シタイコトガアリマシタガ、時間ノ關係モアリマスカラ、極ク簡單ニ重要ナ點ダケ申上ゲマス、委員會ノ速記録ヲ讀ンデ見ルト、隨分鑛產局長ノ意氣込ノ盛ナコトガ窺ハレルノデアリマス、例ヘバ第三回ノ委員會ニ於テ「今後ハ官廳並ニサウ云フ方面ノ御世話ヲ申上ゲル爲ニ作りマシタ特殊會社ヲ動員シテ、御指導ト申シマスガ、御協力ヲ致スヤウニシタイト存ジマス」ソレカラ「隨テ發見シタ人ガ自分デ眞ニ其ノ試掘ヲ實行スルト云フヤウナ決意ヲ持タルナラバ、有ル國家機關、或ハ國家機關ガ之ニ協力シテ、サウシテ發見者自ラ開發スルヤウナ機會ヲ作ル、是ガ吾々ノ根本ノ指導方針デゴザイマス」是ハ第四回速記録三十九頁ニアリマスガ、詰リ發見シタ者ガ自分デアル時分ニハ大イニ助ケルト仰シヤル、所ガ其ノ發見者ト云フモノハ、多クノ場合極メテ資力ノ薄弱ナ者デアリマス、山ト云フモノハ決シテ千ヤ二千ノ金デ試掘ハ出來ルモノデハナイ、先ヅ恐ラク一萬ヤ二萬ハ少クトモ掛ケナケレバナラスト思フ、サウ云フモノニハ私ハ試掘ノ自作者ト申シマスガ、其ノ試掘ノ自作者ガ何等カノ指導ト資金其ノ他ノ援助ヲ得ナイ限りハ出來ルモノデハナイノデアリマス、私ガ法文ヲ讀ミ、或ハ速記録ヲ讀ンデ痛感致シマスコトハ、政府ハ試掘ト云フモノヲ極メテ簡單ニ扱ツテ居ラレル

〔澤田委員長代理退席、委員長著席〕

早ク試掘ヲ片付ケテ採掘ニ移レバ宜イデハナイカ、ソレガ試掘制度ノ本質的方面ダト思フ、斯ウ仰シヤルケレドモ、鑛山ニ手ヲ掛ケル者ハ命懸ケナノデス、自分ノ全財産ヲ賭シテヤル、アナタ方ガ與ヘラレタ豫算ヲ使ツテシマツテ涼シイ顔ヲシテ居ルノトハ全ク違フ、一家ノ浮沈茲ニ懸ツテ居ル、地方ヲ御廻リニナツタナラバ、地方ノ資産家ガ鑛山ニ金ヲ出シテ家モ屋敷モ失ツタト云フ例ハ澤山ニアル、然ラバ試掘自作者ニ對シテドシテ援助ヲ與ヘルノデアルカ、恐ラクハ是等ノ協力ト云フノハヤレヌノデヤナイカ、政治ノ貧困ト云フコトガアリマスガ、恐ラクハ是ハ協力ノ貧困デハナイカト思フ、ドウカ此ノ點ヲ能ク御認識ニナツテ、本當ニ試掘ノ獎勵、鑛山ノ開發ノ爲ニ格段ノ努力ヲ續ケテ戴キタイノデアリマス、ソレニハドウシテモ特殊會社ニ廣範圍ニ互ツテノ保護助成ヲスルコト、ソレカラ是等ノ會社ノ機構ノ擴大強化ヲ圖ルコト、是ガナケレバ速記録ノ隨所ニ散見スル鑛產局長ノ、今マデトハ達ツテ鑛業權者ニ協力スルト云フ實績ハ舉ラヌダラウト思フノデアリマスガ、是等ニ對スル政府ノ腹案ヲ伺ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 ソレ等ノ點ニ付キマシテハ官廳ノ分課規程等モ必要ガアレバ改正スベク今要求シテ居リマス、ソレカラ又特殊會社ノ事業振リニ付キマシテモ、具體的ニ今發表ヲ申上ゲル所マデハ未ダ至ツテ居リマセヌガ、是モ考ヘテ居リマス、尙ホ先程高橋サンカラ日本産金振興株式會社ノ政府補償ノ範圍ナシニ付テモ十分考ヘロト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、此ノ點

ニ付キマシテモ十分考ヘテ居リマス

○高橋委員 最後ニ是ダケ伺ヒタイト思ヒマス、獎勵金制度ノ問題デアリマス、大分政府ハ石炭其ノ他ニ對シテモ獎勵金制度ヲ思切ツテヤラレルヤウデアリマスガ、獎勵金制度ト云フモノヲ能ク業者ニ聽イテ見マスト云フト、獎勵金デハ困ルノダ、是ハ仕事ガ出來上ツテカラ下サル金デアル、而モ相當年月ヲ要スル——手續其ノ他ガ面倒ナノハ暫ク措キマス——所ガ鑛山ヲ經營スル者ハ現金ガ欲シイ、前金ガ欲シイノデアリマス、後金デハイケナイ、俗ニ言フ雪駄デハイケナイ、煙管デナケレバナラナイト云フコトニナルノデアリマス、此ノ獎勵金制度ノ缺點ハ雪駄デアルコトニ在ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、獎勵金ヲ出サルナラバ餘程簡便ニ早ク出シテヤラレマシテ、明日ノ百ヨリ今日ノ五十ト云フヤウナ風ノ御裁キヲヤラナケレバ、獎勵金制度ノ實效ハ期セラレナイト思フノデアリマス、尙ホ採掘獎勵金ノ如キモ、私モアレバ一寸イデクツテ見タノデアリマスガ、慣レナイ者ニハ隨分ヤヤコシクテアレナイノデアリマス、結局採掘獎勵金ヲ貰フ者ハ大キナ鑛山會社ガ貰フノデアリマシテ、群小ノ鑛山家ト云フモノハアノ恩典ニ浴セナイ、恐ラク採掘獎勵金ノ目的カラ申シマスト云フト逸脱シテ居ルト思ヒマス、ドウカ此ノ意味デ獎勵金ヲ早く簡單ニ下付セラレ、又坑道ノ掘鑿等ニ於キマシテモ、政府ノ指定通り掘ツテカラデナケレバ獎勵金ヲ下付シナイト云フヤウナコトデハナクシテ、掘ツタモノハソレヲ認メテ下付シテヤラウ、ドウセ業者ガ獎勵金ヲ當テニ、掘ラナクテモ宜イ坑ヲ掘ツテ行ク譯ハアリマセヌカラ、サウ云フ風ニ極ク簡略

ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キタイコトハ、是ハ此ノ度ノ石炭共販會社案デモ問題ニナツテ居ルノデアリマスガ、互助會方面ノ炭鑛業者ハ其ノ企業資金ヲ銀行ニ求メテモ、或ハ金融資本家ニ求メテモ貸シテ呉レナイ、結局石炭ヲ使用スル事業會社ト結ビ合ヒ、抱合ツテ、利害ヲ同ジウシ、危險ヲ同ジウシテヤツテ行ク、ソレヨリ外ニ途ガナイ、隨テ掘出シタ石炭ハ事業會社ニ納メル、是ガ石炭備在ノ一ツノ理由トナルノデアリマス、此ノ事ハ總テノ小鑛山モサウデアリマス、特殊會社ヘ行キマシテモ中々オイソレト資金ヲ融通シテ下サイマセヌ、結局ハ斯ウ云フ特殊ノモノニ興味ヲ持ツ人カ、或ハ何カ金ヲ融通シテ其ノ鑛業權ヲ捲上ゲヤウトスル野心家カ、サウ云フ者ノ手ニ掛カル外今ハ途ガナイノデアリマス、是ハ重要鑛物増產ノ一大障害ヲ爲スモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウカ政府ハ此ノ點ニ御留意アツテ、本當ニ試掘ヲ早ク行ヘルヤウニ御指導ヲ願ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 今ノ御言葉ハ至極御尤モデアリマシテ、私共モ決シテ今ノ儘デ十分ダトハ思ツテ居リマセヌ、只今ノ點ニ付キマシテハ特ニ留意致シテ今後ノ事務遂行ニ資シタイト思ヒマス

○櫻井委員長 小柳牧衛君

○小柳委員 段々同僚ノ御質問ガアリマシテ、私ノ疑問ニ思ツテ居ル點ハ大體氷解致シタノデアリマス、殊ニ試掘權制度ノ改正ニ付キマシテ、或ハ増産獎勵ノ問題デアルトカ、或ハ又財産ノ價值アルモノノ取扱等ニ付キマシテ色々疑問モアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、各方面ヨリ質問ガア

リマシタノデ、私ハ重ネテ申上ゲルコトヲ
差控ヘマシテ、唯一ツ極メテ簡單ナコトヲ
御聽キ致シタイト思フノデアリマス、ソレ
ハ此ノ鑛業法ノ可ナリ大キイ改正ノ機會
ニ、石油鑛業法トモ言フベキ單行法ヲ御出
シニナルコトヲ御考ニナラナカッタカドウ
カ、又其ノ必要ニ付テドウ御考ニナツテ居
ルカト云フコトヲ御尋致シタイト存ズルノ
デアリマス、我國ノ石油ガ世間デ想像シテ
居ルヨリモ可ナリアルヤウニ言ハレテ居リ
殊ニ又時局柄極メテ重要ナ鑛産デアリマス
ガ爲ニ、其ノ探掘ニハ先般大臣モ御話ノア
リマシタヤウニ十分力ヲ入レナケレバナラ
ナイノデアリマスガ、此ノ際ニ石油鑛業法
トモ言フベキ單行法ヲ作ルト云フコトガ或
ハ時宜ニ適シタモノデハナイカト云フコト
ヲ考ヘサセラレルノデアリマス、其ノ理由
ハ、石油探掘ノ仕事ハ、其ノ業態ニ於キマ
シテ、他ノ鑛業ト頗ル違ツテ居ル部分ガア
ルノデアリマス、殊ニ先程來、色々問題ニ
ナリマシタ試掘權ノ點ニ於キマシテ、其ノ
重要性ハ——何レノ鑛業ニ於テモ重要性ハ
アリマスガ——石油探掘ニ於キマシテハ、
探掘權トノ關係ニ於テ殊ニ試掘權ガ重要ナ
ル地位ヲ占メテ居ルト思フノデアリマス、
殊ニ其ノ鑛區ノ廣イコトヤ、又漸次深度
ノ深マルコトヤ、サウ云フヤウナ立場カ
ラ致シマシテ、或ハ豫備的ノ調査ヲ要ス
ルトカ、試験的ノ掘鑿ヲ必要トスルトカ、
サウ云フヤウナ方面ニ於キマシテハ、他ノ
試掘權以上ニ其ノ業態ニ於テノ重要性ヲ
持ツテ居ルト思フノデアリマス、ソレデア
リマスカラ從來モ此ノ點ニ付キマシテハ法
制上ニ於キマシテ其ノ重要性ヲ認メラレテ
居リ、今度ノ改正案ニ於キマシテモ其ノ點

ヲ認メテ居ルヤウデアリマスルガ、一層其
ノ必要ガ認メラレルノデアリマス、殊ニ米
國ノ如キニ於キマシテモ試掘權ノ重要性ヲ
認メマシテ、或ハ會社ノ會計制度並ニ課税
制度等ニ於キマシテ、所謂「デプリシエーシ
ン・システム」ヲ執ツテ居ルト云フコトモ聞
イテ居リマス、又此ノ試掘權ノ探掘權トノ關係
ニ於キマシテモ、他ノ鑛業ト著シク違フノデ
アリマシテ、石油鑛業ニ於キマシテハ探掘
權ハ單ニ收獲ヲ得ルト云フ點ニ止マリマシ
テ、殆ド試掘權ニ總テノ準備ガ懸ツテ居ル
ト云ツテモ宜シイノデアリマス、試掘權ト
探掘權トノ關係ニ於キマシテ、他ノ鑛業ト
違フト云フコトヲ考ヘサセラレルノデアリマ
シテ、現ニ或人ハ石油鑛業ニ於キマシテハ、
試掘權ト探掘權ヲ區別スルノ必要ガナイト
マデ論ジテ居ル人ガアル位デアリマシテ、
是等ノ點カラ考ヘマシテモ、他ノ鑛業ト其
ノ根本デアアル試掘權、探掘權ニ於テ著シク
違フト云フコトガ考ヘラレルノデアリマス、
更ニ又鑛區ノ關係ニ於キマシテ、他ノ鑛業
者トノ錯綜ヲ防グト云フコトヲ考ヘマスレ
バ、所謂背斜軸ヲ本トシテ經營スルト云フ
關係カラ考ヘマシテモ、又今日ノ石油探掘
ガ坑道掘ト云フコトモ提唱サレテ居リマス
モノノ、現在ニ於キマシテハ、他ノ鑛業ト
著シク作業ニ於テ違ヒガアルノデアリマス、
斯ウ云フヤウナ業態ノ差異カラ申シマスレ
バ、或ハ石油鑛業ト云フモノヲ別ニ法制ノ
上ニ於テ整備スルコトノ必要ガアルヤウニ
考ヘラレマスシ、殊ニ行政法規モ時代ノ進運
ニ依ツテ段々其ノ主眼トスル點、或ハ規定
ノ範圍ガ變ツテ居ル所ヲ考ヘテ見マス、
是ハ時代ノ要求デハナイカトモ思ハレル節
モアルノデアリマス、申スマデモナク行政

法規ハ或ハ場所ニ依リ、或ハ人ノ行爲ニ依
ツテ、ソレハ纏メテ取締リ、或ハ獎勵ス
ルト云フコトニナツテ居リマスガ、今日ノ
經濟政策ガ謂ハバ立體的トモ申シマセウ
カ、一ツノ業態ヲ關聯シテ見テ居ルト云フ
ヤウナ傾向ガ極メテ強クナツテ居ルノデア
リマス、例ヘバ生産ニ於キマシテモ一貫作
業ト云フコトガ提唱セラレテ居リマスル
シ、總テ業態ヲ一ツニシテ考ヘルコトガ大
分要求サレテ居ルト思フノデアリマス、話
ハ少シ違ヒマスルガ、先般商工省ノ機構ヲ
改正シタ場合ニ於キマシテモ、生産品ノ部
門ニ依リ、或ハ業態ニ依ツテ、部課ヲ定メ
タヤウナコトモ、是等ノ必要カラ出テ來タ
ノデハナカラウカト思ハレルノデアリマス、
左様ニ考ヘテ見マスルト、例ヘバ石油ノ如
ク生産カラ消費マデ特殊ノ統制ノ下ニアル
モノニアリマシテハ、普通ノ商品ガ生産デ
以テ一應普通市場ニ働キ出サレルモノトハ
大變違フノデアリマシテ、生産カラ消費マ
デ一ツノ法制ノ下ニ取締ヲ獎勵スルコトガ
必要デハナイカト考ヘルノデアリマス、話
ガ少シ横ニ入ルヤウデアリマスガ、役所ノ
取扱ニ於キマシテモ、斯様な立場カラ申シ
マスナラバ、成ベク一ツノ役所ニ總テノ業
態ヲ保護シ、取締スルコトガ必要デアアルヤ
ウニ思ハレルノデアリマシテ、此ノ石油探
掘鑛業ニ於キマシテモ、鑛産局ニ於テハ一
部ヲ取扱ヒ、他ノ一部ハ燃料局デヤツテ居
ルト云フヤウナコトモ見テ居ルノデアリマ
スガ、斯ウ云フヤウニナルト云フコトハ、
其ノ事業ノ保護獎勵、監督ト云フ點カラ申
シマス、如何カト存ズルノデアリマス、
斯様な行政法規モ時代ノ要求ニ依ツテ其ノ
狙ヒ所、其ノ範圍ガ動イテ居ルト云フ點ヲ

考ヘテ見マスルト、石油鑛業ノヤウニ、業
態ソレ自體ガ變ツテ居ルモノ、竝ニ其ノ業
態ニ付キマシテハ、消費マデ一ツニ統制ヲ
シテ居ルト云フ點カラ考ヘマシテ、鑛業法
ノ大キナ改正ノアル斯様な機會ニ、石油デ
アルトカ、或ハ又場合ニ依リマシテハ石炭
ト云フヤウナモノヲ別ニシテ、法制上ニ於
テ認メルコトガ適當デハナイカト考ヘルノ
デアリマス、斯様な石油若クハ石炭ノヤウ
ニ特別ノ關係ニ立チ、強イ統制ノアルモノ
ニ付キマシテハ、別ノ取扱ヲシテ、法制上
ニ於テ規正スルコトガ必要デアアルヤウニ思
ハレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシ
テ御研究ナリ、或ハ御意見ヲ承ルコトガ出
來マスレバ、洵ニ結構ト存ズルノデアリ
マス

○小金政府委員 御説ノ通り石油鑛業ハ他
ノ鑛業ト相當業態ヲ異ニ致シテ居リマス、
ソコデ色々點ヲ考慮致シマシテ、今回ノ
鑛業法ノ改正ニ於キマシテモ聊カ違ツタ部
分ガゴザイマス、此ノ石油或ハ「ピッチ」ヲ全
然此ノ鑛業法カラ離レタ法律デ支配スルト
云フコトニ付キマシテハ、私共意見モ聽イ
テ見マシタシ、又一二研究モ致シタノデア
リマスガ、現行鑛業法ハ鑛業ノ一般的基本
法規デアルト云フ意味ニ於テ、一應此ノ中
ニ置キマシテ、更ニ今後ノ根本的ナ研究ニ
俟ツト云フコトニ結論ガナツタノデアリマ
ス、併シ今御指摘ニナリマシタヤウニ、坑
道掘ト申シマシテモ、普通ノ鑛山ノ坑道ト
ハ全ク性質モ異ツテ居リマス、隨ヒマシテ
其ノ取締トカ色々監督トカ云フコトニ
付キマシテモ、難カシイ點モアルト思ヒマ
ス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ基本法規ハ
斯ウ云フ風ニ一纏メニシテ置キマシテモ、

其ノ運用トカ或ハ取締トカト云フヤウナコトニ付テ十分意ヲ加ヘテ行キタイト存ジマス、尙ホ石油ガ他ノ重要鑛物ト趣ヲ異ニスル點ガ相當顯著デアリマスノデ、昭和十三年ニ重要鑛物増産法ヲ制定致シマシタ際ニ、是ト並行シテ石油資源開發法ト云フモノヲ立法致シテ居リマス、是等ノ點ヲ色々綜合致シマシテ、根本的ナ檢討ヲ加ヘル必要ガアルト存ジマス、尙ホ行政上ノ色々取扱ノ問題ニ付キマシテモ、種々研究ヲ加ヘル必要ガアリハシナイカト存ジマスガ、尙ホ此ノ點ニ付キマシテハ、十分今後モ研究ヲ重ネテ行キタイト存ジマス

○櫻井委員長 此ノ場合御著席ノ儘暫時休憩致シマシテ懇談會ニ移リタイト思ヒマス

午後五時二十分休憩

午後五時三十分開議

○櫻井委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——山本厚三君

○山本委員 極ク簡單デスガ、補充的ノ質問ヲ二三致シマス、其ノ一ツハ相當ノ鑛區ヲ持ツテ居ル者ガ中心ノ稼行ヲシテ居ル鑛區ノ附近ニアルノハ、豫備鑛區ト申シマスカ本鑛區ト申シマスカアリマス、是ハ法規カラ言フトヤハリ四年デ取ラレテシマフノデスガ、之ニ對スル御答辯モアリマシタケレドモ、極メテ明瞭ヲ缺イテ居リマスカラ、之ニ對シテハ如何ニ御處理ニナルカト云フコトヲ、ヤハリ是モ三十三條ノ二ヲ削除シタコトニ依ツテ四年デ失權ニナルノデアリマスガ、何カ特別ノ御扱ガアルカラ改メテ伺ツテ置キマス

○小金政府委員 試掘或ハ採掘ヲ爲シテ居ル所謂中心鑛區ノ附近乃至ハ周圍ニアル鑛

區ニ付キマシテハ、其ノ鑛物ノ存在ノ狀態カラ推シマシテ、明瞭ナ場合ニ於キマシテハ採掘鑛區ニ編入シ得ルト存ジマス、是ハ調査ヲ成ベク簡單ニシテアトハ採掘獎勵金其ノ他ノ施設ニ依リマシテ、後デ鑛物ノ存在ヲハツキリサセレバ宜シイノデアリマスガ、大體見當ノ付タ所ハ四年間ノ中ニ採掘鑛區ノ願ガ出テ來レバ是ハ採掘鑛區ニナルダラウト思ヒマス

○山本委員 ソレナラバ申シマス、問題ハ試掘ガ進行シテ居ツテ鑛物ノ存在ヲ證明シナクトモ、政府ノ方デ調ベルカ認定ニ依ツテ、採掘權ヲ許可シテモ宜シイト云フ御方針ナノデスカ

○小金政府委員 採掘ヲ出願スル場合ニ於キマシテハ採掘出願人ハ出願地ニ其ノ鑛物ノ存在ヲ證明スルト云フコトニナツテ居リマスカラ、法律ノ建前カラハ採掘出願人ガ鑛物ノ存在ヲ證明シナケレバナラスト存ジマス、併シナガラソレニ付キマシテハ只今例ニ御舉ゲニナツタヤウナ場合ニ於テハ、是ハ實質上役所ガ協力シテ其ノ存在ヲ證明スルコトガ出來ルダラウト思ヒマス

○山本委員 要スルニ採掘權ニ變ヘテシマフト云フヤウナコトニ法文ガナルノデスガ、サウナツテ來ルト問題ハソレガ二十モ三十モアツタ場合ニ、全ク手ヲ著ケヌヤウナ所ガアリマス、サウ云フモノマデモ採掘權ニ變ヘルト云フヤウナコトデハ、非常ニ負擔ガ重クナルト思ヒマス、ソレダケノ問題ノヤウデアリマスガ、政府ノ御方針ダケハ分リマシタ

○篠原委員 一寸ソレト關聯シテ居ルト思フノデアリマスガ、採掘鑛區ノ保護鑛區ト重要鑛床地帯ニ於キマシテノ試掘鑛區ニ付

テ採掘願ヲ出シタト云フ場合ニ、從來政府ノ方デ中々ソレヲ許可セラレナイヤウナ事例ガアルノデアリマス、ソレニ付テ同ジク政府ノ方デハ相當考ヘラレルト存ジマスガ、如何デゴザイマスカ

掘權ガ取レナカツタ場合ニ於テ、或ル種ノ施設ヲ爲シタト云フ例ハ今日デモ現ニ起ツテ居リマス、即チ第三十三條ノ二ニ依ル優先權ヲ得損ネタ、而モ期間經過等ニ依ツテ得損ネタト云フヤウナ場合ハゴザイマス、此ノ場合ニ何カ特別ヲ設ケテ現實ニ其處ニ投資シタモノヲ競落ノ形デ後繼試掘權者ニ譲リ渡スト云フヤウナコトモ考ヘテ見マシタガ、是ハ中々其ノ計算トカ或ハ投資金額ノ査定トカ金利トカデ非常ニ面倒ニナリマス、又補償ノ問題ニ付テモ考ヘテ見マシタガ、是亦同様デアリマス、唯協ニ運搬シ得ルヤウナ機械器具其ノ他ノ設備ニ付キマシテハ、是ハ民法ノ原則ガ適用ニナルナリ或ハ其ノ他ノ適當ナ處置ガ取レルト存ジマス

○山本委員 ソレカラハ是ハ少シ面倒ナコトデスガ、必要上參考ノ爲ニ伺ヒタイノデスガ、此ノ改正案ニ依リマシテ試掘權ヲ喪失スル者ガ四年後ニハ非常ニ多數ニナルト思ヒマスガ、其ノ場合ニホンノ紙片一枚デ、而モ圖面ダケノ試掘權者ナラバ是ハ損害ト云フモノハ税金ダケデアリマスガ、優良ナ部類ニ入ラナイ中間ニアルモノデ、相當莫大ナ經費ヲ投資シ施設ヲシテ居ル者ガ相當アル、サウシテ色々事情デ採掘ニ至ラヌ者ガアリマスガ、斯ウ云フ者ガ四年目ノ末日ニ失格ニナリ、採掘權モ許可ニナラナイデ零ニナツタ場合、之ヲ何トカ救済スルト云フヤウナコトヲ御考ニナツタカドウカ、譬ヘテ見ルト是ハ少シ無理カモ知レマセスガ、其ノ試掘ヲ先願者ニ許可シナイデ、特例ヲ設ケテ相當ノ施設ノアルモノハ其ノ施設ヲ相當ノ値デ競落ヲシテ、一番高ク入札ヲシタ者ニ其ノ試掘權ヲ許ス、是ハ極端ナ一例デアリマスガ、サウ云フ風ナ制度デ、惡意デヤツテ居ル者ハ一人モナイノデアリマスカラ、又國家ニ對シテモ是非非常ナ功勞ガアルノデアリマスカラ、唯全損ト云フコトモ是ハ非常ニ問題ダト思ヒマスガ、ソナコトニ付テ御研究ニナツタコトハナイノデアリマスカ

掛ケ、又設備ヲスルヤウナ場合ニ於キマシテハ大體鑛物ガアル、或ハアルト認定シテカラデナイト、サウ云フ設備ハ餘リ大規模ノモノハナイ、併シナガラ極ク小規模ノモノニ付テドウスルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ現在デモ其ノ點ハ議論ノ種カト存ジマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ色々研究致シマシタガ、結論トシテハサウ云フ經費或ハ設備ノ相當ナモノハ、採掘ノ見込ガナケレバ今マデノ實際ノ所デハ大シテ實例ガナイヤウニ考ヘルノデアリマス

○小金政府委員 期間満了ノ爲ニ試掘權ガ消滅シテ、同一人ガ再び同一地區ニ付テ試掘

○山本委員 是ハ意見ノヤウナモノデアリマスカラ唯承ツテ置クコトニ致シマス、モウ採掘權ヲ持ツテ居ツテ眠ツテ居ルモノガ半分位アルヤウデスガ、試掘權ヲ採掘權ニ變換サセル箇條ハ第二十四條カト思ヒマスガ、此ノ採掘權者ガ眠ツテ居ル場合ニ沒收シナイデ本當ニヤラセヨウト云フノニハ採掘命令ト云フモノヲ出スコトガ宜カラウト

掘權ガ取レナカツタ場合ニ於テ、或ル種ノ施設ヲ爲シタト云フ例ハ今日デモ現ニ起ツテ居リマス、即チ第三十三條ノ二ニ依ル優先權ヲ得損ネタ、而モ期間經過等ニ依ツテ得損ネタト云フヤウナ場合ハゴザイマス、此ノ場合ニ何カ特別ヲ設ケテ現實ニ其處ニ投資シタモノヲ競落ノ形デ後繼試掘權者ニ譲リ渡スト云フヤウナコトモ考ヘテ見マシタガ、是ハ中々其ノ計算トカ或ハ投資金額ノ査定トカ金利トカデ非常ニ面倒ニナリマス、又補償ノ問題ニ付テモ考ヘテ見マシタガ、是亦同様デアリマス、唯協ニ運搬シ得ルヤウナ機械器具其ノ他ノ設備ニ付キマシテハ、是ハ民法ノ原則ガ適用ニナルナリ或ハ其ノ他ノ適當ナ處置ガ取レルト存ジマス

掛ケ、又設備ヲスルヤウナ場合ニ於キマシテハ大體鑛物ガアル、或ハアルト認定シテカラデナイト、サウ云フ設備ハ餘リ大規模ノモノハナイ、併シナガラ極ク小規模ノモノニ付テドウスルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ現在デモ其ノ點ハ議論ノ種カト存ジマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ色々研究致シマシタガ、結論トシテハサウ云フ經費或ハ設備ノ相當ナモノハ、採掘ノ見込ガナケレバ今マデノ實際ノ所デハ大シテ實例ガナイヤウニ考ヘルノデアリマス

言ツタ所ガ、是ハ改メタイトハ思フガ法規
ガ今ナイト云フノデアリマスガ、是ハ増産
ノコトニ付テ秘密會デエライ強イ御意見ガ
アツタノデアリマス、サウ云フ工合ノ強イ
御考ナラバ、法規ヲ改正シマシテ探掘命令
ヲ出シテ、之ニ應ジナイ場合ハ云々ト云フ
位ノコトヲ御規定ニナラヌト效果ガアルマ
イト思フノデス、是ハ其ノ意味ノ改正ヲ致
シテモ合理的デアリマスガ、御意見ヲ伺ヒ
タイ

○小金政府委員 只今統計上ニ表ハレテ居
リマスル探掘區ノ數及ビ其ノ探掘區中
稼行中ノ數トノ比率デゴザイマスガ、是ハ
探掘區ハ概ネ百万坪以下デアリマシテ、之ヲ
稼行スルノニ、鑛脈ノ順序トカ或ハ開發ノ
計畫カラ行キマシテ、相當所謂保護鑛區或
ハ豫備鑛區ト云フヤウナモノガゴザイマス、
概ネ此處ニ舉ツテ居テ著手ガシテナイト
云フヤウナ形ノ鑛區ハサウ云フモノニ屬ス
ルモノデアリマシテ、探掘鑛區デ全然稼行
ヲシテ居ラナイモノハ非常ニ少イノデアリ
マス、品位ガ落チタ爲ニ探掘ヲ一寸中止シ
テ居ルト云フヤウナモノモアリマスガ、概
ネ豫備鑛區トカ保護鑛區ト云フヤウナモノ
ガ通常デアルト申上ゲテ宜イト思ヒマス、
之ニ對シテハ探掘命令ハ隨テセズモ宜シ
イ、併シ當然是ハ此處マデ探掘ヲシナケレ
バナラヌト云フコトヲ認定シタ場合ニ於キ
マシテハ、命令致スコトニ相成ツテ居リマ
ス

命令ヲ出シテ促進サレナケレバ目的ハ達シ
マセヌ、又試掘權ヲ強制的ニ探掘權ニド
ン御ヤラセニナツタ所デ、實力ノナイ者
ガ探掘權者ニナツテ探掘シナイ、サウ云
フモノニ付テハドウシテモ命令シナケレバ
出來ナイ、命令ニ應ジナイナラバ、四十條
ノヤウナ規定ヲ改正シテ非常ニ嚴重ニ取締
ルト云フコトニナラナケレバナラヌガ、サ
ウスルト、今ノ答辯ニ依ルト、本改正案ニ
ハソレヲ出サレナクテモ處置ガ出來ルト御
考ヘデアルト解釋シテ宜シイノデアリマス
カ、サウデスネ、ソレカラモウ一ツハ是ハ
又別ナ話デスガ、非常ニ熱烈ナ諸願ノ問題
デスガ、此ノ際極ク簡單ニ伺ツテ置キタイ
コトハ、硬質粘土ノ「ベントナイト」ヲ鑛業法
ノ種目中ニ追加シテ貫ツテ斯業ノ發達ヲ圖
ツテ貫ヒタイ、即チ鑛業權ガナイ爲ニ權利
ガ不確實デアルト云フノ請願ガ出テ居ツ
テ、是非聽イテ貫ヒタイト云フコトデアリ
マス、是ハ御伺スルダケデアリマスガ、一
寸簡單ニ伺ヒタイノデアリマス

○小金政府委員 鑛業法第二條ニ掲ゲマシ
タ所ノ所謂法定ノ鑛物ハ、大體直接金屬ヲ
製鍊シ得ルモノトカ、又ハ主トシテ坑道掘
ヲ爲スモノヲ取入レルコトヲ一應ノ原則ト
致シテ居リマス、只今山本サシカラ御舉ゲ
ニナリマシタ所ノ、粘土ノ一種ガサウデア
リマスガ、「ベントナイト」ハ、或ハ坑道掘ヲ
爲スヤウナ狀態ニアルモノモアルト云フヤ
ウナ御話ヲ伺ツテ居リマスガ、調査ガマダ十
分出來テ居リマセヌノデ、今回ハ之ヲ鑛業
法ノ鑛物ノ中ニ入レナカツタ次第デゴザイ
マス

○山本委員 私は是デ宜シウゴザイマス
○櫻井委員長 手代木隆吉君

○手代木委員 極ク簡單ニ頂戴シタ資料ニ
付テ御尋ヲ致シタイト思フノデアリマス、
此ノ間私ハ日本產金振興會社及ビ帝國鑛業
開發會社ノコトニ付テ私共ノ見ル所ヲ申上
ゲタノデアリマスガ、頂戴シタ資料ニ依ツ
テ見マスルト、此ノ產金會社ノ方ノ事業ノ
概要ノ中ニアル探掘資金ノ融通額ト云フモ
ノガ二十二日二十三萬二千二百圓トアリ
マス、私共ノ考ヘル所カラ行クト、至ツテ
是ハ少イヤウデアリマス、此ノ點ニ付テ私
共ノ此ノ會社ニ期待スル所カラ見ルト、洵
ニ物足りナイ感ジガスルノデアリマス、他
ノ大キイモノニ對スル融額ナドニハ相當
ナ額ガアルヤウデスガ、詰リ中小ノ所謂未
開發ノ鑛區ノ開發ト云フ點カラ言ヘバ、此
ノ探掘資金ノ融通ト云フモノモ、此ノ前申
上ゲタ通り、モツト放膽ニヤラナケレバ
ナラヌノデハナイカト云フ點カラ、甚ダ是
ハ期待薄ナノデスガ、之ニ對シテ將來何カ
又御監督上ニ特ニ力ヲ入レラレルヤウナ御
意見デモアリマスレバ、伺ヒタイト思ヒマ
ス

○小金政府委員 御指摘ニナリマシタ探掘
資金ノ融通額ハ二十三萬二千二百圓デ二十
二日、是ハ昨年ノ十二月末日現在ノモノデ
アリマス、之ニ付キマシテ取調ベマシタ所、
マダ處分ニ至ラズシテ十二月末日ヲ經過シ
タモノモ相當アリマシテ、此ノ資金ノ活用
如何ハ相當重大ナ效果ヲ齎スモノト心得テ
居リマス、ソコデ補償制度ヲ十分活用スル
ヤウニ今後活潑ニ此ノ點ヲ勵カセタイ、斯
ウ云フ心構ヘデ居リマス

○手代木委員 ソレカラ此ノ產金會社ノ方
ノ事業項目ノ中ノ一番後ノ方ニハ、委託ニ
依ル金鑛山ニ關スル調査又ハ鑑定トアル、

所ガ此ノ事業概要ノ報告ノ中ニハ左様ナモ
ノガーツモ現ハシテナイノデアリマスガ、
是等ハ全然ヤラヌノデアルカ、又ハヤツテ
モ極ク少イノデアルカ、是モ今申上ゲタ趣
旨ト同ジデ、是ハ全ク力ノナイモノガ金鑛
山ニ關スル調査ヲシテ貫ヒ、鑑定ヲシテ貫
フ譯デアリマスカラ、是モヤハリ大イニ機
能ヲ發揮スルト云フ點カラ言ヘバ、積極的
ニ行カナケレバナラヌコトダト思フノデス
ガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイノデアリ
マス

○小金政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、
委託ニ依ル鑛床ノ調査等ハ資金ノ融通ノ申
込ガアツタ場合トカ、探掘資金ノ融資ノ申
込ガアツタ場合ニ兼テヤツテ居リマスガ、
此ノ點ニ付キマシテモ御指摘ニナリマシタ
ヤウニ、此ノ仕事ヲ相當活潑ニヤルコトガ
大切デアルト存ジマスノデ、今後モ成ベク
技術者等ヲ増加致シマシテ、十分活用致シ
タイト存ジマス

○手代木委員 今ノ御話ニ依ルト、融資ノ申
込トカ或ハ投資ノ何トカ云フヤウナ時ニ附
帶スルコトハ、是ハ此ノ項目ニ當ルモノデ
ナイト私ハ考ヘルノデスガ、是ハ單獨要求
シテ來ル場合ヲ指シテ居ルノダ、ドウモ局
長ノ御話ハ、其ノ附帶シタ場合ハ當然之ハ
爲スベキコトデアリマスカラ、サウ云フモ
ノデハナカラウト思ヒマス、私ノ見解ニ基
キタ點ニ於テ、十分ニ此ノ點ハ御督勵ヲ願
ヒタイト考ヘルノデアリマス、ソレカラ此
ノ產金會社及ビ鑛發會社ノ事件處理ナンカ
ノ問題ニ付テ茲ニ資料ヲ頂戴シタノデアリ
マスガ、產金會社ノ方ハ今申上ゲタ通り、
委託ニ依ル調査トカ鑑定ナドモ規定ニアリ
ナガラ、ヤツテ居ルカモ知レヌガ、居ツタ所

デ知レタモノト見ルノデアリマス、所ガ帝國鑛業開發會社ノ方ハ、大體此ノ法律ニ規定サレテアル各項目ニ付テソレモ、仕事ヲヤツテ居ラレルヤウデアリ、私ノ見ル所ハ二ツノ會社ノ方ノ比較カラ言ヘバ、此ノ鑛發會社ノ方ハ餘程積極的ナ所ガアルヤウニ見エルノデアリマス、尤モ一方ハ產金専門デアリ、片方ハ各種鑛物ノ關係モアリマセウケレドモ、其ノ點カラ言ヘバ此ノ開發會社ノ方ガ積極的ニヤツテ居ルヤウニ見エルノハ、私共トシテ聊カ其ノ點ニ付テハ期待スル點ガアルノデアリマス、此ノ兩會社ノ問題ニ付テハ屢、此處デモ問題ニナリ、局長カラモ大イニ此ノ機能ヲ活用スルト云フ話モアツタノデアリマスガ、此ノ處理ノ件數ノ所ヲ見マスルト、融資決定済ナルモ未貸付ノモノ、ソレカラ撤回セラレタルモノ、ソレカラ兩方ノ會社デ各、廻付セルモノ、產金ノ方ハ帝國鑛發ニヤリ、ソレカ帝國鑛發ハ產金ノ方ニ廻付、拒絕セルモノヲ含ム、斯ウ云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ兩方ノ會社デオ互ニ廻付スルト云フヤウナコトガアリ、是ハ頻繁ニ行ハレテハ却テ此ノ會社ノ機能ヲ妨ゲルコトニナル、一體產金ノ方ハ產金専門ノ立場ガアルノデスカラ、ソレヲ無暗ニ帝國鑛發ニ廻シテヤル、又帝國鑛發ハソレヲ產金ノ方ニ廻スト云フコトニナルト、是ハ初ノ事件ヲ受付ケル時ニ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリ、徒ニ日ヲ費ヤスヤウナコトデ營業者ガヤハリ不利益ニナル、茲ニ事件處理ノ平均ノ日數ヲ見マス、產金ノ會社ハ約二箇月半、最長半箇月、最長六箇月、鑛發會社ハ約二箇月最長半月、最長四箇月斯ウ云フコトニナツテ居ルガ、此ノ點カラ見デ

モ、此ノ興發ノ方ハヤル期間ガ半月デモ短イノデス、廻付スベキモノハ廻付シナクテモ、初メカラ受付ケル時ニ區別ヲスレバ宜イダラウト思フ、色々其處ニ何カ單純ニ行カナイ點モアリマセウケレドモ、兎ニ角事務ヲ出來ルダケ簡捷ニシテ貰ヒタイ、而シテ產金會社ハ前ニ申シマシタ通り銀行化シテ居ル點モアリ、又或ハ役所カラ來タヤウナ人ガ會社ニ多ク居ラレルノデ聊カ役所式ニナツテ居ル點ガアルヤウデアリマスカラ、出來ルダケ斯ウ云フ點ハ簡捷ニシ所謂能率ヲウント上ゲルヤウニシテ行カネバイカスコトダト思ヒマス、殊ニ色々各種鑛山ヲ帝國興發ナンカガ相手ニシテ居リマスガ、人ニ接スル場合ガ多イト思ヒマスカラ、此ノ會社ニ對シテハ現在デモ相當其ノ點ニ付テハ注意シテ居ラシク見エマスガ、一層今後サウ云フ點ニ付テ注意ガアリタイモノダト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テハ當局トシテモ相當注意シテ戴カナイト、前カラ御話ノアルヤウニ、商工省ノ力ノ足りナイ所、其ノ缺陷ヲ此ノ兩會社デ以テ補フ非常ナ働ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ特ニ御注意ヲ御願シタイト思フノデアリマス、之ニ對シテハ別ニ御答辯ヲ求メル程デモアリマセヌカラ、其ノ點ニ付テ唯御注意ヲ願ツテ置キマス

最後ニ本法案ヲ決定スル上ニ於テ參考ノ爲ニ伺ヒタイノハ、鑛業法改正ノ手續上委員會ヲ設ケラレタ、此ノ委員ノ額觸レハ私ハ見マシテ、ドウモ是等ノ額觸レハ、適切ナ改正ハ容易ニ出來ナイモノデアツタト、過去ヲ顧ルヤウナ氣ガスルノデアリマス、法律ノ理論ヲ質ストカ、或ハ法律技術ヲ十分ニ堪能ニスルヤウナサウ云フ點ニ於テハ宜イデセウ、又各省ノ間ノ連絡ノ上ニ於テハ至レリ盡セリデアリマセウガ、實際鑛業ニ關係ノアル人、經驗ノアル人ハ此ノ中ニハ私ハ少イト思フノデアリマス、假ニアツタトシテモ或ハ所謂大事業家、大財閥、サウ云フ所ヲ代表スル額觸レノヤウニ考ヘルノデアリマス、隨テ今度ノ改正ガ所謂中小ノ資力ノ少イ者ヲ考ヘル點ガ甚ダ薄カツタト云フヤウナ感ジガスル、サウ云フコトガ起ツタナラバ、斯ウ云フヤウナ委員ノ額觸レカラ來テ居ルノデハナイカト云フヤウナ感ジモスルノデアリマス、一體是等ノ委員ノ中ニハ中小ノ鑛業家、或ハ實際ニ鑛業方面ニ付テ知識經驗等ノアル人、サウ云フ人ガ殆ドナイヤウナ感ジガスルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ當局ハ御覽ニナツテ居ルノデアアルカ伺ヒタイ

○小金政府委員 是等ノ人々デ十分御審議ヲ下サツタナラバ、各方面ノ實情其ノ他ヲ參酌シテ御審議ヲ願ヘルモノダト私共ハ信ジテ居リマス、併シナガラソコデ全部ノ方面ノ方々ヲ御願スル譯ニモ、定員其ノ他ノ費用ノ關係、又色々ノ事情カラ出來マセヌノデ、出來ルダケ各方面ノ御意見ヲ參酌スルヤウニ致シマシテ、場合ニ依リマシテハ實際家ノ「ヒヤリング」等モ行ツタノデアリマス、審議ノ途上ニ於キマシテハ今手代木サンノ御舉ゲニナリマシタヤウナ中小ノ鑛山ニ付テモ、出來ルダケ其ノ立場ヲ考ヘタ積リデゴザイマス

○手代木委員 私ノ質疑ハ是デ打切りマス

○川俣委員 時間ガアレバ留保シテ置イタ鑛業警察ノ鑛害ノ點ト鑛夫ノ點ニ付テ問ヒ質シタイノデアリマスガ、是ハ何レ他ノ機會ニ譲リマシテ、極ク簡單ナ問題ダケ御答辯ヲ願ヒタイ、試掘鑛區ヲ實際稼行致シマスニハ毎月所謂試掘工程表ト云フモノヲ出スコトニナツテ居リマス、此ノ試掘工程表ヲ毎月出シテ居リマスカラ、當然試掘工程ノ内容ガ判明致シテ來ル筈デアリマス、隨テ之ニ基キマスルナラバ採掘以外ニ付キマシテモ、今マデト違ツテモツト早く採掘權ノ設定ガ私ハ出來ルモノト信ズルノデアリマス、若シソレガ見透シガ付カナイトスレバ、試掘工程表ト云フモノノ規定ガアリナガラ、ソレヲ出サセテ居ナカツタト云フ所ニ私ハ寧ロ缺陷ガアルト思ヒマスノデ、此ノ點ニ付テ將來如何ニ御考ニナルカ、伺ヒタイ

○小金政府委員 試掘ヲ爲スニハ、試掘設計書ヲ出シマシタ、ソレカラ更ニ試掘工程表ヲ毎月出スヤウニナツテ居ルノデアリマス、其ノ試掘工程表ヲ見テ、ソレハ採掘ニ適スルモノデアアル、採掘權ヲ設定シテ然ルベキモノデアアルト云フ風ニ考ヘマシテモ、現行法ニ於キマシテハソレガ出願ノ形デ出ナイ限リハ、採掘權ノ設定ノ手續ヲ執ラセルコトガ出來ナカツタノデアリマス、併シナガラ今後法律ヲ改正致シマシテ、試掘權存續期間中ト雖モ、採掘權出願ヲ命ズルコトガ出來マスノデ、今後試掘工程表等ニ依リマシテ、迅速ニ事務ヲ處理スルコトガ出來ルヤウニシテ行キタイト存ジマス

○櫻井委員長 是ニテ鑛業法中改正法律案及ビ砂鑛法中改正法律案ニ對スル質疑ノ通告ハ全部終了致シタノデアリマス、是ニテ質疑ヲ打切りタイト存ジマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○櫻井委員長 御異議ナシト認メマス、仍テ左様ニ決定ヲ致シマシタ、尙ホ討論ノ採決ハ各派ノ態度決定マデ留保致スコトニ致シタイト存ジマス、次會ハ明七日午後二時ヨリ開會致シマシテ、有機合成事業法案ニ對スル質疑ヲ開始シタイト存ジマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十分散會

昭和十五年三月七日印刷

昭和十五年三月八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局